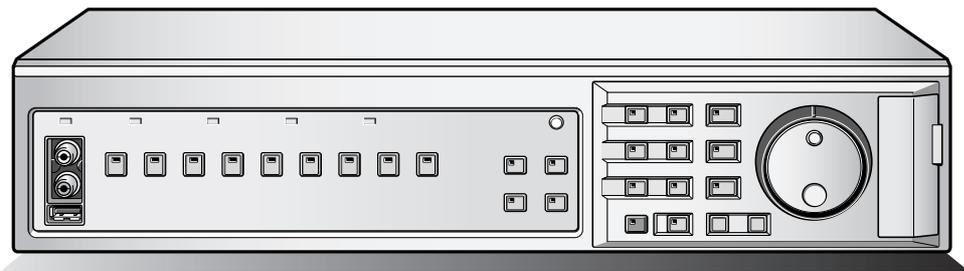


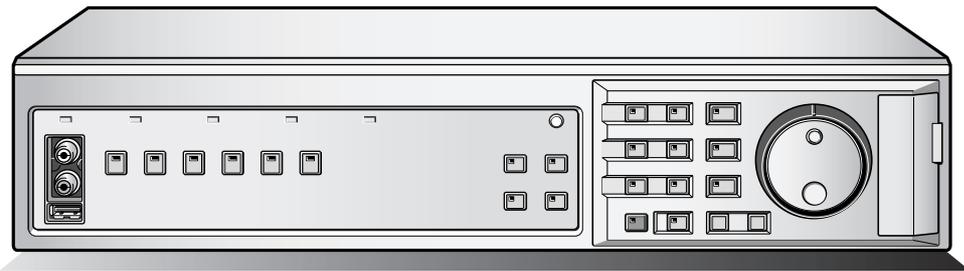
V-HORIZON

フレームスイッチャー機能付き ハードディスクデジタルレコーダー 取扱説明書 EDR-F920 / EDR-F620

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。



EDR-F920



EDR-F620

- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

はじめに

安全上のご注意	3
安全のため必ずお守りください	3
正しくご使用いただくために必ずお守りください	5
主な特長	7
付属品	7
各部のなまえとはたらき (前面部)	8
各部のなまえと接続 (後面部)	10
一般接続	10
アラームとRS-485接続	11
ネットワーク端子の接続 (LAN)	11
コントロール端子	12

使いかた

操作前の準備	13
本機の電源を入れる	13
時刻設定	13
操作表示部	14
ライブ映像を色々な分割画面で見る	15
他の1画面に切り換える	15
4画面にして、切り換える	15
マルチ画面にする	15
■ プラス画面を再生状態にする	15
分割画面で必要な画面を拡大する	15
画面を自動的に切り換える	16
モニタ2端子に接続したモニターで見る	16
ハードディスクに映像を録画する	17
記録フォーマットの確認	17
通常録画 (通常記録領域)	17
録画した映像を見る (通常記録領域)	18
再生について	18
1画面で見る	18
再生中に早送り/早戻しをする	18
再生スピードを変えて見る	19
静止画で見る	19
コマ送り (正逆) で見る	19
映像を拡大して見る	20
4画面で見る	20
マルチ画面で見る	20

録画した映像を日時などで指定して見る	21
A アラームサーチ	22
B アラームサムネイルサーチ	22
■ プリアラームの映像を見るには	22
C 日時サーチ	23
■ プレビュー画面を再生する	23
D バックアップ領域のサーチ	24
E モーション検出サーチ	24
■ プレビュー画面で確認する	26
■ 通常の再生画面で見る	26
録画した映像をメディアなどにコピーする	27
A 通常記録領域またはアラーム記録領域の映像を バックアップ領域にコピー (例: 10秒) する	28
B 内蔵ハードディスクの映像をメディアにコピーする	29
C USBメモリ、CFカードまたはマイクロドライブの 映像をパソコンで見たり印刷したりする	30
CFカード、CD-R/RW、USBメモリのフォーマット	31
メディアにコピーした映像をパソコンで見る	31

設定のしかた

メインメニュー構成	32
基本設定	33
メニュー構成	33
■ 初期設定画面の表示のしかた	33
A 外部時刻設定	34
B カメラ検出	34
C タイトル設定	35
D 休日設定	35
E 時刻周期設定	36
■ 各操作の時刻周期を変更する場合	37
■ 時刻周期の時刻設定について	37
記録設定	38
メニュー構成	38
■ 記録設定画面の表示のしかた	38
A 簡易記録のメニュー説明	39
A-1 簡易記録設定1	40
A-2 簡易記録設定2	41
B 記録領域画面のメニュー説明	42
■ ネットワークのダウンロードについて	42
■ 記録領域の容量を確認する	42
B-1 通常記録領域とアラーム記録領域の変更	43
B-2 バックアップ領域の記録再開許可	44

C 記録条件設定のメニュー説明	45	G カメラコントロールの Protokol 設定	70
■ ディスク残量警告について	45	G-1 アラーム記録連動設定	71
C-1 記録領域の上書き記録設定	46	G-2 カメラコントロールの操作 (ライブ映像の1画面のときのみ可能).....	72
C-2 記録領域の保存期間の設定	46	画面設定	73
D 通常記録設定のメニュー説明	47	メニュー構成	73
D-1 通常記録領域の設定	47	■ 画面設定画面の表示のしかた	73
E プログラム記録設定画面のメニュー説明	48	A 分割画面を並び換える	74
E-1 プログラム記録設定	48	B メインモニターとモニター2のライブ映像を同じ 時間間隔 (例: 5秒) で自動的に切り換える	75
F タイマー設定のメニュー説明	49	B-1 メインモニターとモニター2のライブ映像を 個別の時間間隔で自動的に切り換える	75
■ タイマー録画について	49	B-2 メインモニター (1画面) のライブ映像を個別の 時間間隔、モニター2のライブ映像を同じ 時間間隔 (例: 3秒) で自動的に切り換える	76
■ タイマー設定が重なった場合	49	B-3 時刻周期設定の時間帯でモニターを 表示させないカメラを設定する	76
■ 各曜日、毎日が重なった場合	49	C 特定のライブ映像を見えなくする	77
■ タイマー予約の削除	49	D ライブ映像の色調を調整する	78
F-1 曜日 (毎日、同時間、同記録レート) 毎の タイマー録画	50	停電情報/使用時間	79
■ タイマー録画をプログラム設定する	50	A 停電情報/使用時間画面のメニュー説明	79
F-2 毎日 (24時間以上) のタイマー録画	51	A-1 情報を確認する	79
■ タイマー録画をプログラム設定する	51	初期化履歴	80
F-3 外部タイマー (アラーム) 録画	52	A 初期化履歴画面のメニュー説明	80
■ タイマー録画をプログラム設定する	52	A-1 履歴を確認する	80
G アラーム記録設定のメニュー説明	53	メニューコピー	81
G-1 アラーム記録設定	54	A メニュー設定コピーの説明	81
G-2 プリアラーム記録設定	55	A-1 CFカードにメニュー内容を保存する	81
G-3 アラームトリガーの設定	55	A-2 CFカードに保存されたメニュー内容を 他の同機に読み込む	82
■ 外部アラームの対象入力信号について	55	その他	
G-4 モーションセンサーの説明	56	インターフェース (RS-485) 仕様	83
G-5 モーションセンサー設定	57	仕様	84
H アラーム動作/表示設定のメニュー説明	58	記録レートと録画時間一覧表	85
H-1 アラーム動作設定	59	記録レート設定/プリアラーム録画時間一覧表	87
H-2 アラーム表示設定	59	プッシュロック端子仕様	88
■ アラームを解除する	59	カメラアドレス一覧表	89
一般設定	60	保証と修理サービスについて	90
メニュー構成	60		
■ 一般設定画面の表示のしかた	60		
A データ表示設定/VIDEO LOSS設定	61		
B ブザー表示	62		
C セキュリティーロック画面のメニュー説明	63		
C-1 本機を管理者と使用者でパスワードを設定する	63		
C-2 セキュリティーロックの設定	64		
C-3 セキュリティーロックの解除	64		
■ パスワード設定後の操作表	65		
■ パスワード設定例	66		
D ハードディスク設定のメニュー説明	67		
■ ハードディスクの増設について	67		
D-1 ハードディスクの初期化	67		
E ネットワーク設定	68		
E-1 ネットワークのパスワードを変更する	68		
F RS-485設定	69		

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。

お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く



■ 分解したり、改造しない

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



分解禁止

■ ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。

風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での使用禁止

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落とししたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグをコンセントから抜く

警告

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



禁止

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



禁止

■ 電源電圧100V以外の電圧で使わない

火災、感電の原因となります。



禁止

■ 国外では使わない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)



禁止

注意

■ 搬送・持ち運びについて

- 通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。
- 搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようご注意ください。



電源プラグをコンセントから抜き

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜き

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



注意

■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

- 本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
- 上下間は1cm以上の隙間を開ける
- 左右・後面間は5cm以上を開ける



禁止

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

- 急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



禁止

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光が当たる場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 常に振動のある場所や車や列車など



禁止

■ 露つき（結露）のご注意

よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、本体内部にも水滴がつくことがあります。このような状態を露つき（結露）といいます。

■ 結露状態では動作させない

結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。急激な温度変化があった場合は、電源を切り、設置場所の温度が安定（約2時間）するまで待ってから動作させてください。通電時は露つきは起こりません。

露つきが起ころうなときは・・・

本機の電源を切って、1～2時間放置してからご使用ください。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ ハードディスクについて

本機にはハードディスクを搭載しております。本機に衝撃や振動が加わると、ハードディスクが故障し、データが破損する恐れがあります。

本機を設置・移動・操作を行なうときは、以下の事項を必ずお守りください。

警告

- 本機は横置き型です。絶対に縦置きはしない
- 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない
ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。
- 録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない
- 電源を切ってから約30秒間は動かさない
電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。
- 衝撃や振動を与えない
本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの4箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。
- 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること
本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの取り扱いについて

■ 磨耗・劣化する部品の交換時期

ハードディスクは、使用環境により寿命は異なりますが、磨耗劣化する部品です。
25℃の環境下でご使用された場合、通電時間が2年を越えるころより、書込みエラー等が発生しやすくなり、さらに経過するとヘッドやモータの劣化等により寿命に至る場合があります。
より安心してご使用いただくためには、機器周囲温度を25℃に保ち、2年を目安に交換することをおすすめします。
(ただし、この時間はあくまで目安であり、寿命を保証するものではありません。)

■ ハードディスク寿命について

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。

- ① 衝撃・振動はハードディスクの故障の原因になります。
- ② 電源をいれた時や電源を切った直後（30秒間）はハードディスクの動作が安定しておりませんので、移動や設置作業は絶対に行わないでください。
- ③ 放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

注意

□ ハードディスクと放熱ファンの自動動作確認

前面部のアラームランプ点滅状態で、機器の状態の確認ができます。点滅状態を確認してから販売店にご相談ください。

- 消灯：正常動作中
- 早い点滅：ハードディスク異常
- 遅い点滅：放熱ファン異常



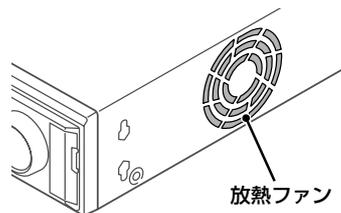
□ 主要部品の交換時期

本機を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるためにも下記の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

- **ハードディスク：2年**
ヘッドやモーターが摩耗・劣化します。交換時はダンパー（振動吸収部品）も同時に交換することをお勧めします。
- **放熱ファン：3年**
ファンが正常に動作しなくなると、内部温度が上昇し、ハードディスクが不具合となる原因となります。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ハードディスクは静電気に弱いので、必ず静電対策を行なってください。
- 梱包していないハードディスクは基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクを交換時に、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないようにしてください。交換後はしっかりとネジを締め付けてください。



■ バックアップバッテリーについて

- 本機にはリチウムバッテリーが内蔵（固定）されています。日付と時刻をセットしてから、48時間以上電源を入れますと、電源プラグを抜いた場合でも30日以内は時計機能が維持されます。
- バッテリーの寿命は充放電を繰り返し使用した場合で約5年です。
- バッテリーの液漏れ処置について
万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗ってから、医師にご相談ください。
液漏れの発生や寿命の場合は、次の症状になります。お取り替えについては、お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にお問い合わせください。
 - 電源が切れると、時計が自動的にリセットされる
 - 自動待機状態に戻らない
 - 見ていた映像の番号を覚えなくなる

本機を処分される場合は

リチウムバッテリーの処理方法もお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。

万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップを行なうか、ミラーリングをお勧めします。

■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…

水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 著作権について

- 本書およびソフトウェアは株式会社エルモ社の著作物です。
- 本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

著作権を有する映像などを記録する際は、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いは個人情報保護法によりシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

主な特長

■本機は、監視カメラ映像を内蔵のハードディスクに録画できます。録画中にカメラ映像を分割画面(4/6/9)で表示したり、録画した映像も分割画面で表示できます。

EDR-F620の分割画面表示は6、4画面のみです。

■大容量ハードディスク(250GB)の標準搭載により、長時間録画ができます。さらに、別売のハードディスク(80/160/250/300/500GB)の増設ができます。

EDR-F620には、160GBのハードディスクが標準搭載されています。

■充実した録画・再生機能を搭載

- 録画と同時に、再生が可能。
- タイマー録画により、曜日ごとに異なる録画が可能。
- 監視中および再生中の映像を拡大して表示するズーム機能。
- 不審者の行動を録画するアラーム録画。
- 特定のカメラの映像をグレーパターンで覆い、モニターできなくするマスク機能。
- 各カメラにモーションセンサー検知が可能です。さらに動きのある被写体を優先的に録画したりアラーム動作が可能。

■見たい映像が瞬時に表示できる検索機能(P21)

- アラームの発生順によるアラームサーチが可能
- アラームのサムネイルによるアラームサーチが可能
- 録画した日付・時間で検索する日時サーチが可能
- バックアップ領域のサーチが可能
- 侵入者の動きを検索するモーション検出サーチが可能

■2段階のセキュリティーロックにより使用者を制限して、データと機器の管理が可能(P63)

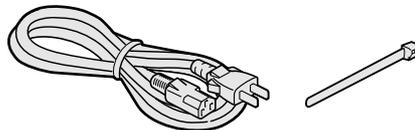
■拡張性が高いためコンピュータとの連携が可能

- 録画した画像を、コンパクトフラッシュ(CF)カードやUSBメモリ、CD-R/RWにコピーすることができます。
- CFカード、マイクロドライブまたはUSBメモリに保存された画像を、パソコンで見たり、印刷したりできます。
- 後面のLAN端子との接続により、ネットワークコントロールが可能です。本機のライブ映像監視、再生・サーチやメニュー設定ができます。
- メインモニターとモニター2端子により2台のモニターで同時に監視することができます。メインモニターでは分割画面表示が可能ですが、モニター2では1画面でしか監視することができません。
- 本機からドームカメラをコントロールできます。

付属品

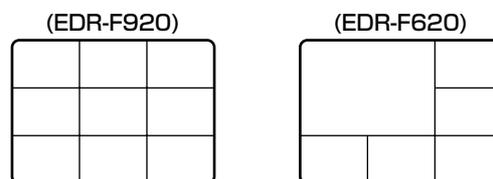
次の部品が入っているかをご確認ください。

- 簡易操作説明書
- 本体取扱説明書
- ネットワーク接続による遠隔操作説明書
- 電源ケーブル/フィクサー



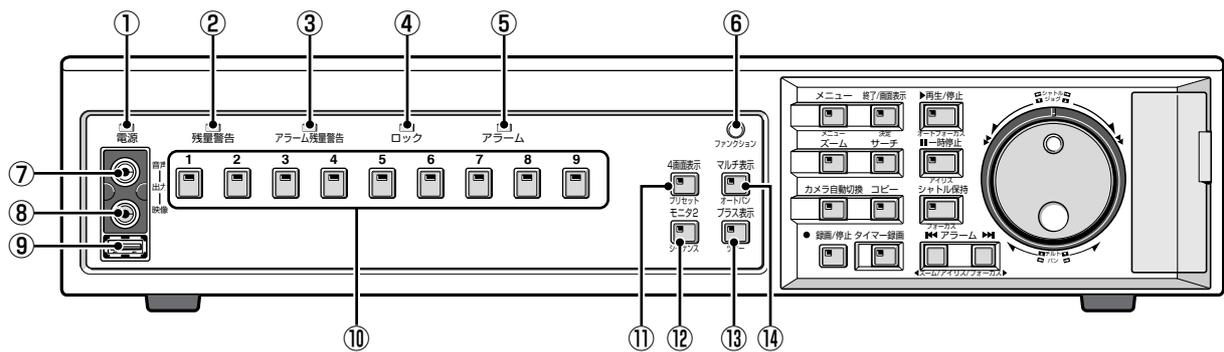
■分割画面表示について

本説明書は2機種併用で制作しています。2機種の大きく異なる箇所は、前面部はカメラ選択ボタン数、後面部では映像の入出端子数です。それにより、下記のようにモニター画面に表示される分割画面数も異なります。



各部のなまえとはたらき (前面部)

EDR-F920



① 電源ランプ

付属の電源コードを後面の電源ソケットに接続してください。

点灯：本機後面の電源スイッチを「入」にしたとき

消灯：本機後面の電源スイッチを「切」にしたとき

② 残量警告ランプ (通常記録領域用) (P45)

点灯：ハードディスクの記録ができなくなったとき

点滅：ハードディスク残量が指定した数値以下になったとき

消灯：ハードディスクの初期化や上書き許可でディスク残量をリセットしたとき

③ アラーム残量警告ランプ (アラーム記録領域用) (P45)

点灯：ハードディスクの記録ができなくなったとき

点滅：ハードディスク残量が指定した数値以下になったとき

消灯：ハードディスクの初期化や上書き許可でディスク残量をリセットしたとき

④ ロックランプ (セキュリティー用) (P64)

点灯：セキュリティーロックにより、操作がロック状態になっているとき

消灯：ロック解除のために正しい管理者のパスワードを入力したとき (ブザーがなります)

⑤ アラームランプ

早い点滅：ハードディスク異常時

遅い点滅：放熱ファン異常時

消灯：正常動作中

点滅の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑥ ファンクションボタンとランプ (P72)

点灯：ファンクションモード中 (ドームカメラ操作への切換)

消灯：本機操作モード中

⑦ 音声出力端子

後面部の音声出力端子と同じ音声を出力します。

⑧ 映像出力端子

後面部のメインモニタ出力端子と同じ映像を出力します。

⑨ USB端子 (P27)

記録型CDドライブやUSBメモリを接続します。

後面のUSB端子と両方に接続している場合は、前面端子が優先されます。

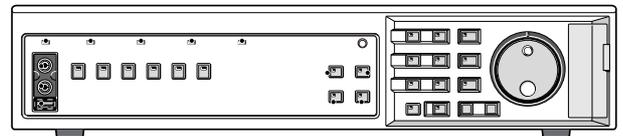
CDドライブの対応機種については弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.elmo.co.jp/>

⑩ カメラ選択ボタンとランプ

点灯：カメラを選択したとき (マルチ画面を選択したときは複数点灯)

点滅：VIDEO LOSSの検出やアラームを検出したとき (EDR-F620)



⑪ 4画面表示ボタンとランプ (P15)

点灯：4画面を表示中

消灯：他の操作を選択したとき

⑫ モニタ2ボタンとランプ (P16)

点灯：モニタ2を監視中

消灯：他の操作を選択したとき

⑬ プラス表示ボタンとランプ (P15)

点灯：マルチ画面 (9) を表示中に、1台のカメラ映像だけを4画面分のサイズに拡大したとき (EDR-F620は6画面だけです。)

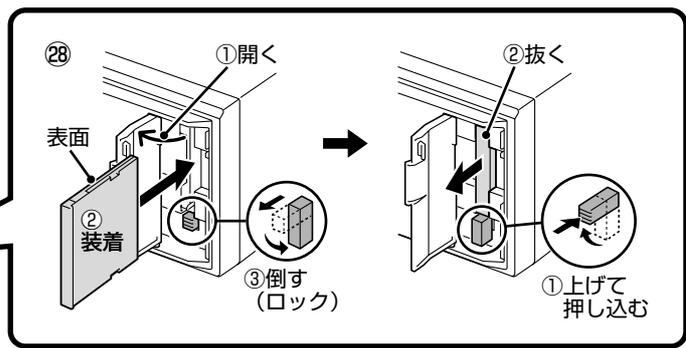
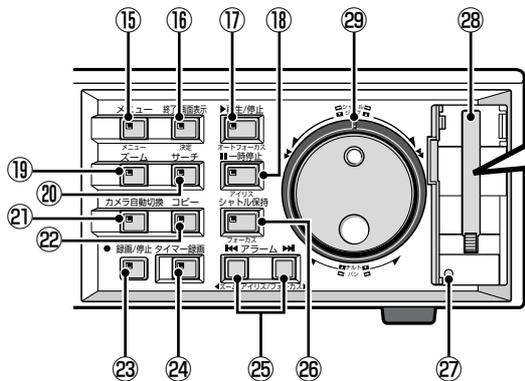
消灯：もう一度、プラス表示ボタンを押したとき

⑭ マルチ表示ボタンとランプ (P15)

点灯：6画面、9画面表示中

消灯：他の操作を選択したとき

各部のなまえとはたらき (前面部)



15 メニューボタンとランプ

点灯：メニュー画面を表示中
消灯：終了/画面表示ボタンを押したとき

16 終了/画面表示ボタンとランプ

点灯：メニュー画面などからライブ映像や再生画面に切り換えたときや、ライブ映像や再生画面でCH (チャンネル) 情報や動作情報を画面に表示中
消灯：メインメニュー画面などを表示中やチャンネル情報や動作情報が非表示のとき

17 再生/停止ボタンとランプ (▶)

点灯：ハードディスクなどに記録された映像を再生中
消灯：再生を停止したとき

18 一時停止ボタンとランプ (⏸)

点灯：静止画にしたとき
消灯：もう一度押したとき (解除)

19 ズームボタンとランプ

点灯：デジタルズーム操作中
消灯：デジタルズーム操作を解除したとき

20 サーチボタンとランプ

点灯：録画した映像を検索中
消灯：検索画面を終了したとき

21 カメラ自動切換ボタンとランプ

点滅：ライブ映像を自動的に切り換え中
消灯：もう一度押したとき (解除)

22 コピーボタンとランプ

点灯：録画した映像をバックアップ領域や他の記録メディアにコピー中
消灯：コピー終了および解除したとき

23 録画/停止ボタンとランプ

点灯：通常の録画中 (3秒以上押すと録画/停止ランプが消灯)
消灯：録画を終了したとき

24 タイマー録画ボタンとランプ

点灯：タイマー録画中または待機中
消灯：もう一度押したとき (解除)

25 アラームボタン (⏮/⏭)

再生中、または一時停止中に押すと、直前または直後のアラーム映像にスキップします。

26 シャトル保持ボタンとランプ

点灯：シャトルダイヤルの回転角度を固定中
消灯：もう一度押したとき (解除)

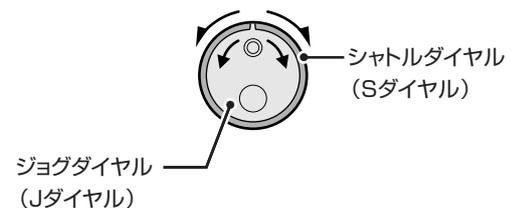
27 メニューリセットボタン

メニュー設定後にボタンを押すと、表示中のメニュー数値を初期値に戻します。

28 コンパクトフラッシュカードスロット

コンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブの挿入方向を確認し、正しく装着してください。

29 操作ダイヤル



再生中

- ジョグダイヤルで再生速度を変更できます。
- シャトルダイヤルで早送り、早戻し再生ができます。

メニュー画面表示中

- ジョグダイヤルでカーソルの移動や設定値を変更できます。
- シャトルダイヤルで設定の確定ができます。

各部のなまえと接続（後面部）

一般接続

① クリアボタン

本機に設定している時刻などを初期値に戻すときに押します。

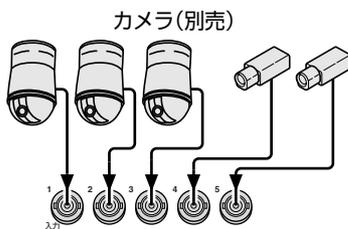


② 映像出力端子

映像入力端子の映像を出力します。

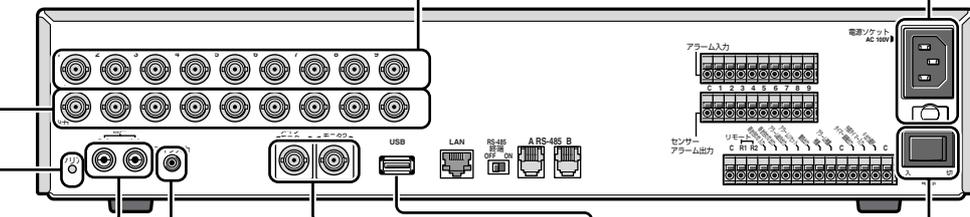
③ 映像入力端子

当社のプロトコル搭載カメラ（ドームやズームカメラ）や一般のカメラを接続します。



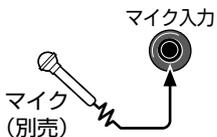
④ 電源ソケットとケーブルフィクサー

電源ケーブルを電源ソケットにしっかりと差し込み、フィクサーでケーブルフィクサーに固定してください。



⑥ マイク入力端子

外部の音声を入力できます。



⑧ USB端子

記録型CDドライブやUSBメモリを接続します。前面のUSB端子と両方に接続している場合は、前面端子が優先されます。CDドライブの対応機種については弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.elmo.co.jp/>

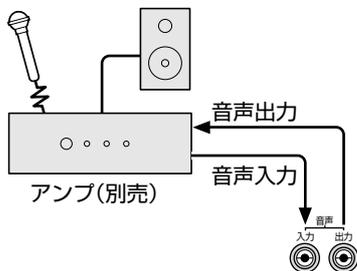
⑨ 電源スイッチ

「入」または「切」側を押してください。



⑤ 音声入出力端子

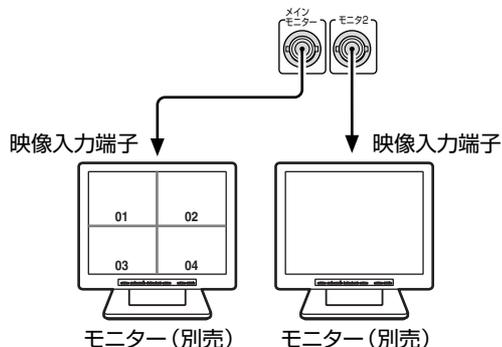
アンプを通して、マイクロフォンから外部音声の入力や、外部スピーカで音声を聴くときに接続します。



音声入力端子とマイク入力端子からは、同時に音声を入力することはできません。同時に接続した場合は、マイク入力端子が有効となります。

⑦ モニター接続端子

- メインモニター端子：通常のライブ映像を1画面や分割画面などで見るときに接続します。
- モニタ2端子：ライブ映像を1画面で見るときに接続します。



モニタ2端子に接続したカメラ映像の同期が不安定な場合は、カメラ映像を切り換えると縦揺れが発生します。

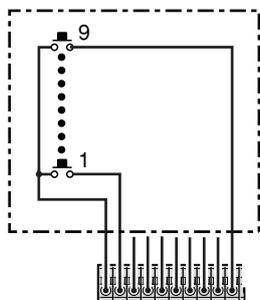
各部のなまえと接続 (後面部)

アラームとRS-485接続

① アラーム入力端子

本端子にスイッチや防犯センサーなどを接続すると、ドアなどの開閉で侵入者などを検知することができます。

- 検知するにはアラーム入力の設定が必要です。(P54)



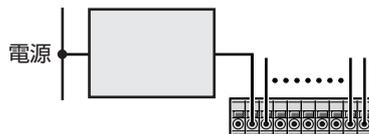
アラーム入力端子に外部スイッチを接続する



② センサーアラーム出力端子

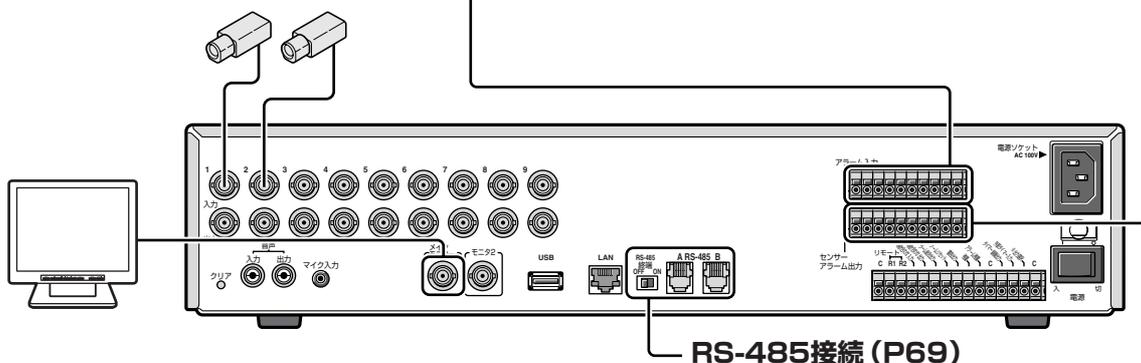
本機内蔵のモーションセンサーが検知すると、本端子から下記の信号が出力されますので、出力端子にランプなどを接続している場合は、警告灯などとなります。

- 使用するにはモーションセンサーの設定が必要です。(P57)



各端子ごとの定格値

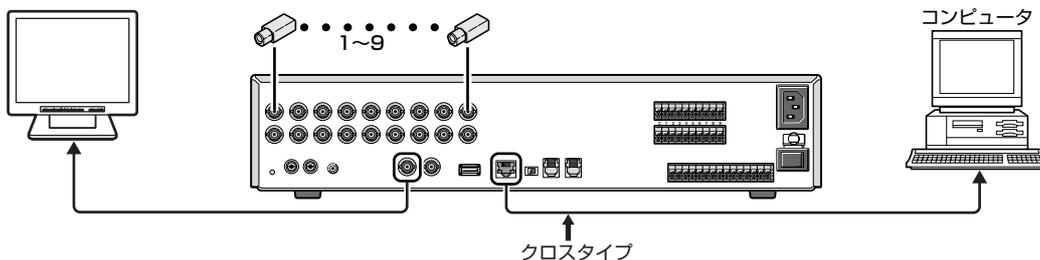
- 最大電流 10 mA (1/10W)
- 最大電圧 DC 20 V



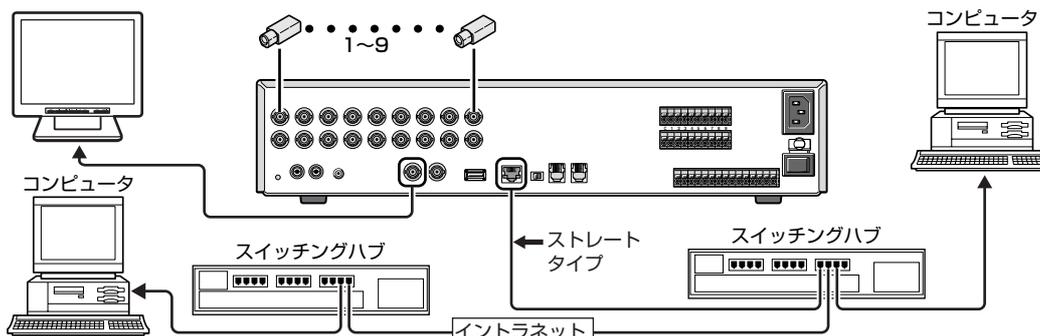
ネットワーク端子の接続 (LAN)

LANケーブルは10BASE-T/100BASE-TXカテゴリ5を使用してください。

A パソコンに直接接続する場合 (ハブを使用しない)



B イン트라ネットに接続する場合 (ハブを使用する)

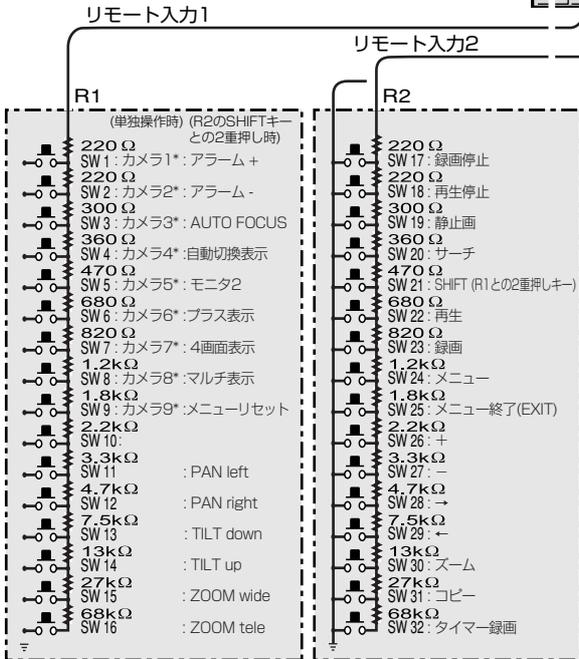
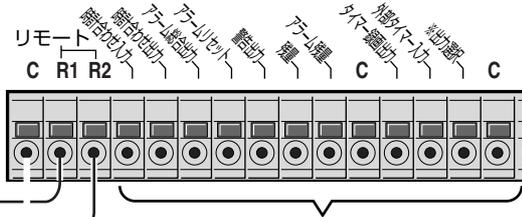
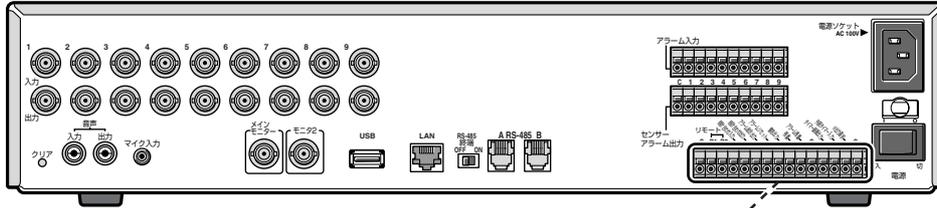


コントロール端子

■ リモート (R1、R2、C) 端子

本機をリモートコントロールするときは、下記のようにリモコン回路を製作して、リモート端子に接続してください。

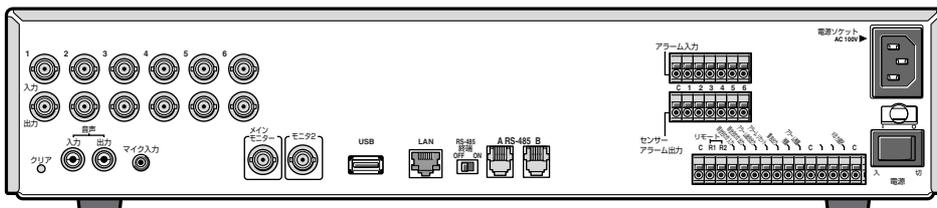
- 使用ケーブル：5m以下
- 使用抵抗：1/10Ω以上、Dランク (±0.5%以上)



ピン	信号
時計合わせ入力	他機器からの時計合わせ入力
時計合わせ出力	他機器への時計合わせ出力
アラーム総合出力	アラームの総合出力
アラームリセット	アラームリセット入力
警告出力	ハードディスクまたは放熱ファン異常警告出力
残量	通常記録領域の残量警告出力
アラーム残量	アラーム記録領域の残量警告出力
C	アース
タイマー録画出力	タイマー録画中に出力
外部タイマー入力	外部タイマーからの信号入力
出力選択	VIDEO LOSSまたは録画停止の出力選択
C	アース

⚠ EDR-F620ではカメラ6までのコントロール操作ができます。

■ EDR-F620 (後面)



操作前の準備

本機の電源を入れる

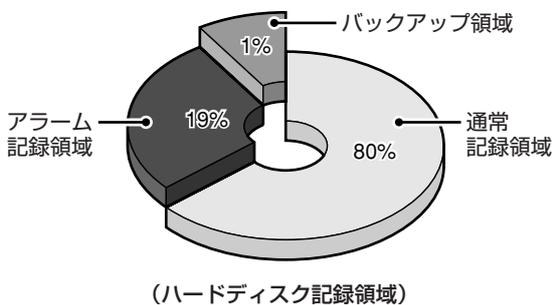
1 付属の電源ケーブルを接続して、電源を「入」にする

電源ランプが点灯し、モニターに“時刻を設定しないと記録できません！”と表示します。

本機は録画した日時で再生や検索をおこないます。必ず<時刻設定>で時刻を設定してください。

- 同時に内蔵ハードディスクには記録領域が自動的に設定されますので、録画/停止ボタンを押すと録画を始めます。

詳細は「記録領域画面のメニュー説明」を参照ください。(P42)



電源投入時や設定時などに、アラームランプが点滅をしている場合は、ハードディスクまたは放熱ファンに不具合が生じています。(P5、8)

- 早い点滅：ハードディスク異常
- 遅い点滅：放熱ファン異常

2 時刻設定が終了すると、モニターに「操作表示部」を表示する

操作表示部には、操作に必要な日付、時刻、操作記号などが表示されます。

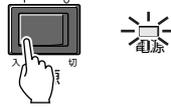
(P14)



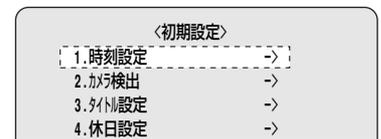
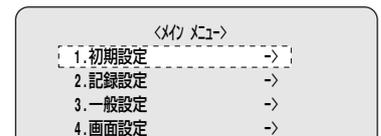
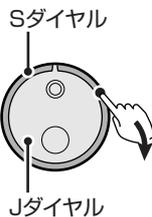
時刻設定

1 後面の電源スイッチを「入」にする

前面部の電源ランプが点灯します。



2 メニューボタンを押して、Sダイヤルを右に2回まわす



3 Sダイヤルを回して時刻を設定する

例：2007年10月26日の8時30分

Jダイヤルで数値を設定して、Sダイヤルを右に回す操作をくり返し設定してください。



「分」の設定が終了すると、カーソルが<外部時刻設定>へ移動し、00秒からスタートします。

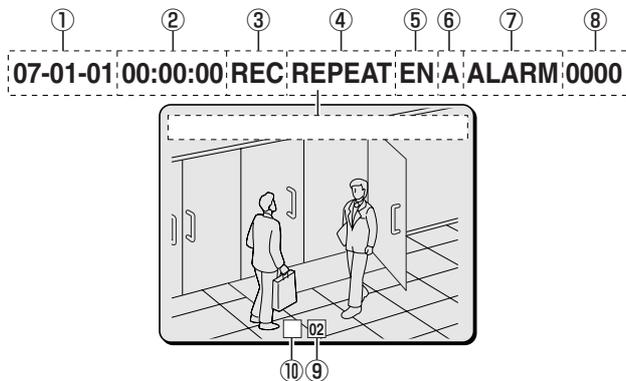
- 曜日は自動的に設定されます。
- 時計の設定中は、時刻が停止します。

4 終了するときには、終了/画面表示ボタンを押す



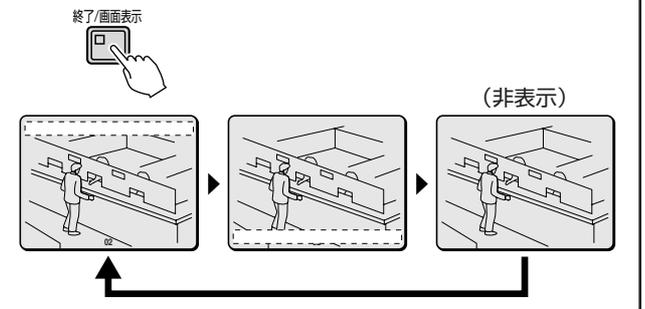
操作表示部

操作表示部には、操作に必要な日付、時刻、画質などを表示または非表示できます。



操作表示部の位置の変えかた

終了/画面表示ボタンを押すごとに、操作表示部の位置が変わります。



① 日付表示

07-01-01 (年月日)：初めて電源を入れたときは、必ず時刻設定で日付を設定してください。

② 時刻表示

00:00:00：初めて電源を入れたときは、必ず時刻設定で時刻を設定してください。

③ 操作シンボル

録画や操作中などに表示します。

- REC**：録画中 ▶▶：早送り再生中
- EXT**：外部タイマー録画中 ◀◀：早戻し再生中
- ◀：逆再生中 ▶▶▶：スロー再生中
- ||：一時停止中 ◀||：逆スロー再生中
- ▶：再生中（録画と再生を同時操作中も含む）

④ 記録領域の残量 (P42)

通常記録、アラーム記録中のみ表示します。

1%~100%：

ハードディスクの上書き禁止設定をした場合は、記録できる容量をパーセントで表示する

REPEAT：

ハードディスクの映像をくり返し上書きする

⑤ 画質表示

ハードディスクに記録される映像の画質を表示します。

- BA (Basic)**：ラフ画質、約15kB
- NO (Normal)**：標準画質、約22kB
- EN (Enhanced)**：準高画質、約30kB
- FI (Fine)**：高画質、約42kB
- SF (Super fine)**：最高画質、約50kB

⑥ 音声記録表示 (P47：② 音声記録)

A：音声記録がある場合に表示する

⑦ 記録種類

- **ALARM**：アラーム再生中および待機中
- **ALARM (点滅)**：アラーム記録中
- **PRE**：プリアラーム再生中および待機中
- **BACKUP**：バックアップ再生中

⑧ アラーム回数

アラーム回数を表示する。

⑨ カメラタイトル

● **01~09**：

当初はカメラ番号を表示します。カメラ番号をカメラ設置場所などの名称に変更できます。

● **VIDEO LOSS**：

カメラ映像が途切れたときにカメラ番号と交互に表示します。モニターの操作表示部が非表示状態で同じ位置で点滅します。

● **NO VIDEO**：

映像入力端子に映像信号が接続されていないときは、カメラ番号の代わりに表示する。

⑩ アラーム種類

● **EA**：

外部アラーム信号を検知したときは、カメラタイトルを交互に表示する

● **SA**：

モーションセンサーアラーム信号を検知したときは、カメラタイトルを交互に表示する

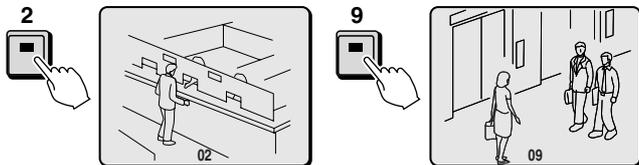
● **ES**：

外部アラームとモーションセンサー信号を検知したときは、カメラタイトルを交互に表示する

ライブ映像を色々な分割画面で見る

他の1画面に切り換える

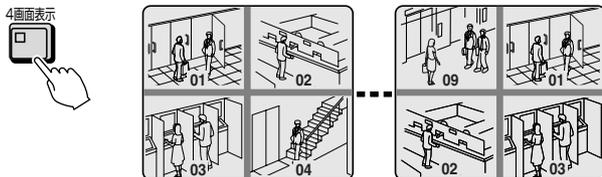
見たいカメラのカメラ選択ボタン(例2、9)を押す
カメラ2の映像になり、カメラ9の映像になります。



映像を拡大(ズーム画)するときはP20を参照ください。

4画面にして、切り換える

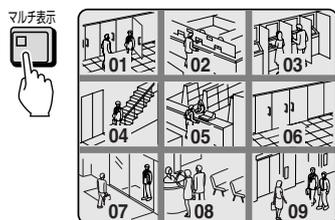
4画面表示ボタンを押し、くり返し4画面表示ボタンを押す
モニターの映像が4画面単位で切り換わります。
カメラ選択ボタンを押すと1画面に戻ります。
(1~4、5~8、9~3の4画面単位の順)



EDR-F620 : 1~4、5~2の4画面単位の順

マルチ画面にする

カメラ選択ボタンを押すと1画面に戻ります。



■ プラス画面を再生状態にする

再生中にプラス表示ボタンを押すと、プラス画面になりすべての画面は再生状態になります。もう一度プラス表示ボタンを押すと、左上部の画面のみが再生画面になります。さらにプラス表示ボタンを押すと、再生中の1画面に戻ります。

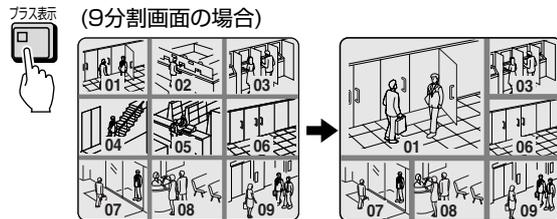


- プラス画面をライブ映像にして、カメラ自動切換ボタンを押すと、プラス画面を自動で切り換えることができます。

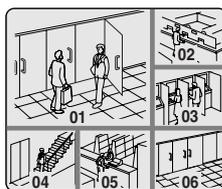
分割画面で必要な画面を拡大する

1 プラス表示ボタンを押す

カメラ映像が拡大されます。



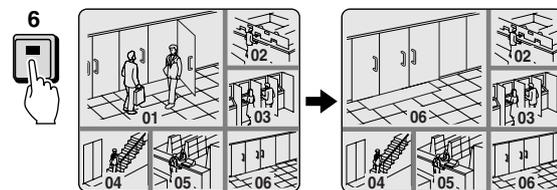
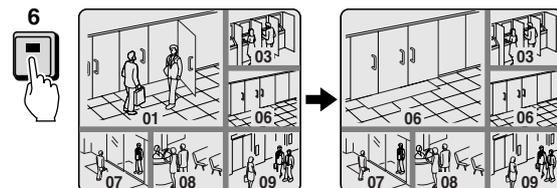
(9分割画面の場合)



(6分割画面の場合)

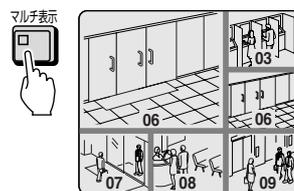
2 カメラ選択ボタン(例6)を押す

押したボタンの画面が拡大されます。



■ 分割画面を切り換えるときは、マルチ表示ボタンを押す

プラス表示ボタンを押すと、マルチ画面に戻ります。



×E

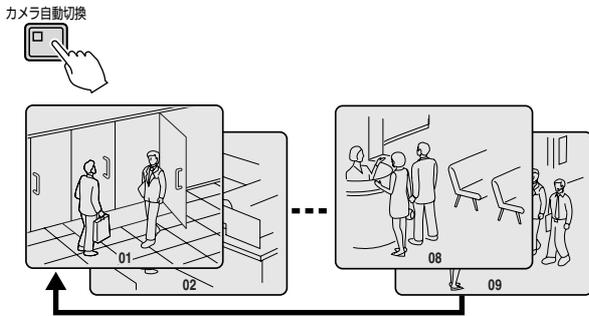
プラス表示はできませんが、分割画面の切り換えはできません。

画面を自動的に切り換える

A 1画面の自動切換

カメラ自動切換ボタンを押す

監視中のライブ映像から順番に自動的に切り換わります。もう一度、カメラ自動切換ボタンを押すと、自動切換がとまります。



☞ カメラ自動切換の間隔をかえるときはP76を参照ください。

B 4画面の自動切換

1 4画面表示ボタンを押す

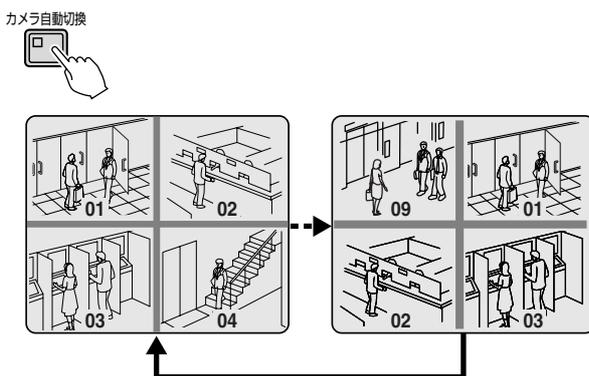
ライブ映像の4分割画面になります。



2 カメラ自動切換ボタンを押す

モニター映像が4画面単位で切り換わります。もう一度、カメラ自動切換ボタンを押すと、自動切換がとまります。

(1~4、5~8、9~3の4画面単位の順)



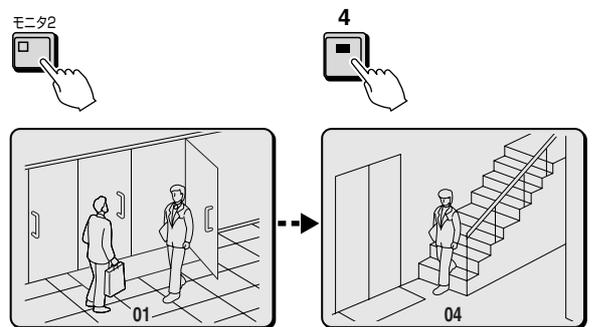
☞ EDR-F620 : 1~4、5~2の4画面単位の順

モニタ2端子に接続したモニターで見る

後面部のモニタ2端子にモニターを接続してください。画面は1画面でしか見ることができません。(P10)
メインモニター端子に接続したモニターを分割画面で監視し、モニタ2に接続したモニターでは、各ライブ映像を1画面または自動切換画面で見ることができます。

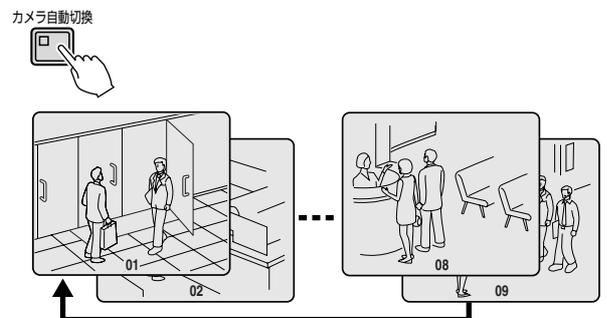
1 モニタ2ボタンを押して、カメラ選択ボタン(例4)を押す

4チャンネル(04)の映像が表示されます。もう一度、モニタ2ボタンを押すと、モニタ2のランプは消灯し、モニタ2に対する操作ができなくなります。



2 カメラ自動切換ボタンを押す

映像が1画面の自動切換画面になります。もう一度、カメラ自動切換ボタンを押すと、1画面の映像になります。



- メニュー画面を表示中はモニタ2ボタンの操作はできません。
- モニタ2端子に接続したモニターでは録画した映像を見ることはできません。

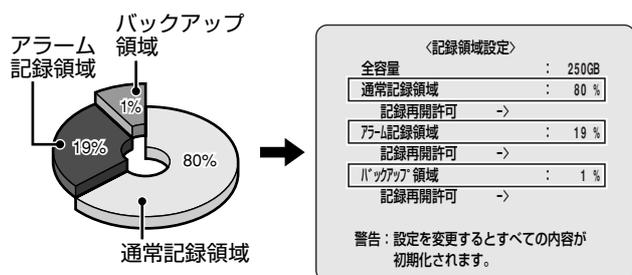
☞ アラーム検出したライブ映像は、モニタ2端子に接続したモニターで見ることができます。(P58)

ハードディスクに映像を録画する

内蔵ハードディスクは自動的に記録領域、通常記録、記録条件などがフォーマットされます。録画をおこなう前に通常記録で録画できる時間（記録レートと録画時間一覧表：P85）を確認しておいてください。

記録フォーマットの確認

A ハードディスクの全容量と各記録領域の確認ができます。（P42）



B 記録時の画質（ENHANCED：準高画質）、音声記録、記録レート、プログラム記録の設定内容が確認できます。（P47）

記録画質	: ENHANCED
音声記録	: 切
記録レート	: 15 FPS(129H)
プログラム記録	: 切

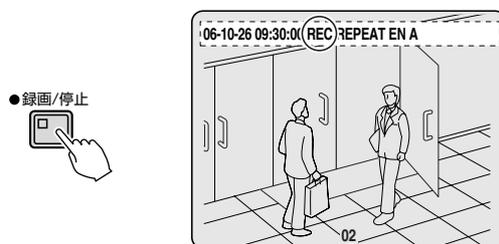
C 各記録領域の映像がいっぱいになると、古い順から上書きをおこなうかの確認ができます。初期設定は「上書き記録」が「入」設定ですので、映像がいっぱいになると、自動的に古い順から上書きをおこないます。（P45）

通常記録領域	上書き記録	: 入
アラーム記録領域	上書き記録	: 入
ディスク残量警告		: **
記録保存制限		: 切

通常録画（通常記録領域）

本機の映像入力端子に接続されている全カメラの映像をワンタッチで録画できます。

- 1 ライブ画面を表示中に録画/停止ボタンを押す
操作表示部に“REC”が表示され録画を開始します。



- 2 録画を終了するとき、録画/停止ボタンを約3秒間押す

“REC”表示が消えます。

- 再生/停止ボタンを押すと、再生が始まります。（P18）
- 録画中も再生できます。（P18）

■そのほかの録画について

録画の種類には、通常録画のほかに下記の録画方法がありますが、設定や設置などが必要です。該当ページをご参照ください。

☞ タイマー録画（P49）

通常記録領域に設定した時間内で自動的に録画をおこないます。

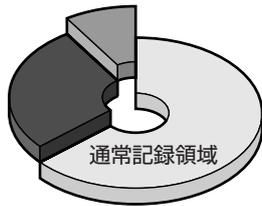
☞ アラーム録画（P54）

外部に設置したアラームスイッチや内蔵のモーションセンサーからアラーム入力があると、アラーム記録領域に自動的に録画をおこないます。

☞ プリアラーム録画（P55）

アラーム入力直前の映像・音声をアラーム記録領域に記録し、アラーム発生時の状況分析に役立てることが出来ます。

通常記録領域(通常録画、タイマー録画)の録画中または録画済みの映像を再生できます。



(ハードディスク記録領域)

再生について

録画の削除やリセットなどにより、再生の開始点が不明になった場合は、もっとも古く録画した映像から再生します。一度再生すると、前回再生した場面を記憶していますので、再生を終了した時点から再生をおこないます。

録画中でも再生できます。

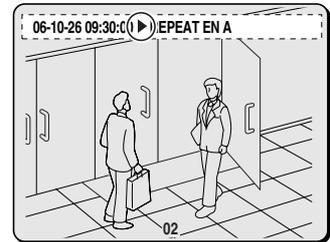
録画中に再生/停止ボタンを押すと、録画を開始した時点から再生を始めます。再生操作などにより録画している付近を再生しますと、再生中の画像が一時的に静止画になります。



1 画面で見る

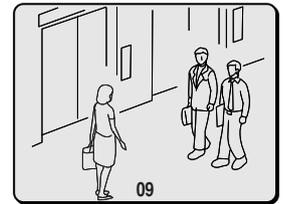
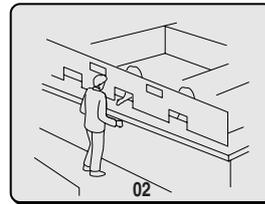
1 再生/停止ボタンを押す

操作表示部には“▶”を表示し、再生が始まります。



- 再生が終了すると、自動的に一時停止状態となり、一時停止ランプが点灯します。操作表示部には“||”が表示されます。

2 録画した映像を見るときは、カメラ選択ボタン(例2、9)を押す



3 終了するとき、再生/停止ボタンを押す

再生中に早送り/早戻しをする

Sダイヤルを右に回すと早送り

操作表示部に“▶▶”が表示します。



Sダイヤルを左に回すと早戻し

操作表示部に“◀◀”が表示します。



☞ Sダイヤルを離すと通常の再生になります。

早送り/早戻し速度を一定にするには

早送りまたは早戻し中にシャトル保持ボタンを押してください。操作中にSダイヤルを離しても速度は変わりません。

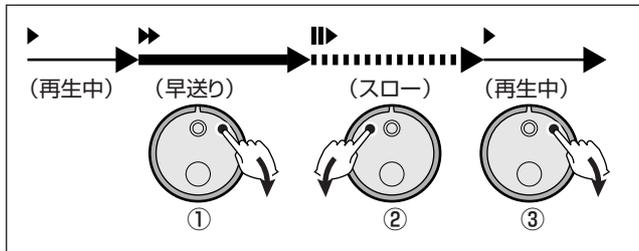


録画した映像を見る

再生スピードを変えて見る

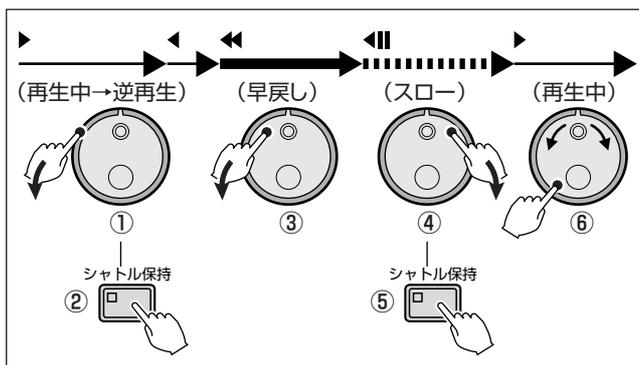
各操作中は操作表示部に操作シンボル(▶、▶▶...)が表示されます。再生スピードを変えているときは音声は再生されません。

A 早送り/スロー再生



- ① Jダイヤルを右に回す
早送り再生になる
- ② Jダイヤルを左に回す
スロー再生になる
- ③ Jダイヤルを右に回す
通常再生になる

B 早戻し/逆スロー再生



- ① Sダイヤルを左に回す
通常の逆再生になる
- ② シャトル保持ボタンを押す
逆再生で速度が固定される
- ③ Jダイヤルを左に回す
早戻り再生になる
- ④ Jダイヤルを右に回す
逆スロー再生になる
- ⑤ シャトル保持ボタンを押す
シャトル保持解除
- ⑥ Jダイヤルを右または左に回す
通常再生になる

静止画で見る

再生中に一時停止ボタンを押す

映像が静止画になります。操作表示部には“||”が表示されます。もう一度、一時停止ボタンを押してください。再生状態に戻ります。



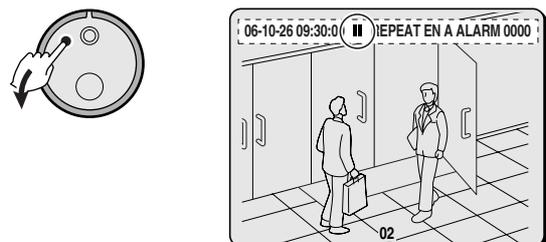
コマ送り(正逆)で見る

静止画中に操作します。

- Jダイヤルを右に回すと…
静止画が1コマ(1フィールド)進む



- Jダイヤルを左に回すと…
静止画が1コマ(1フィールド)戻る



通常記録領域とアラーム記録領域間を続けて再生したり、アラーム録画中に再生すると次のような症状になることがあります。

- 各記録領域の切り換わりに画像が乱れる。
- 通常再生や早送り/早戻しで、画像が静止したように見える。

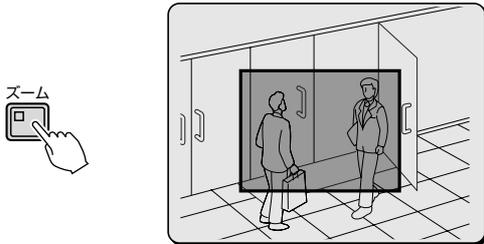
映像を拡大して見る

モニタ2の映像や、分割画面、プラス画面の映像はズーム操作はできません。

ズーム映像は画質が粗くなります。

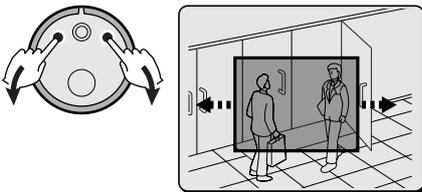
1 ズームボタンを押す

画面中央にズーム枠を表示します。
ライブ映像の監視中でも拡大できます。

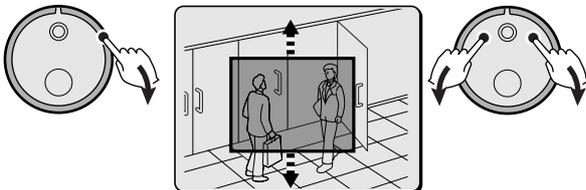


2 ズーム枠を拡大したい位置に移動する

① Jダイヤルを左右に回す：枠が左右移動する

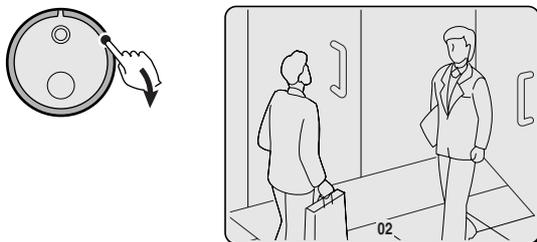


② Sダイヤルを右に回してJダイヤルを左右に回す：
枠が上下移動する



3 Sダイヤルを右に回す

ズーム枠の範囲が2倍に拡大されます。



4 ズーム画の解除は、ズームボタンを押す

4画面で見る

複数のライブ映像を録画すると、録画した映像を4分割画面で再生できます。

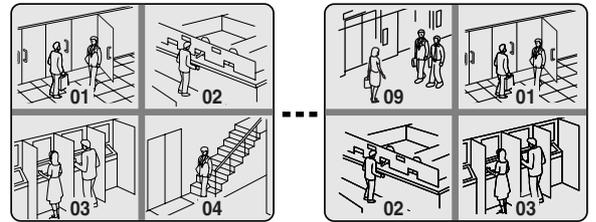
1 再生中に4画面表示ボタンを押す

記録領域に記録したカメラ番号1～4までの映像を4画面で表示します。

2 くり返し、4画面表示ボタンを押す

モニター映像が4画面単位で切り換わります。
1画面に戻すときは、カメラ選択ボタンを押してください。

(1～4、5～8、9～3の4画面単位の順)



EDR-F620：1～4、5～2の4画面単位の順

マルチ画面で見る

複数のライブ映像を録画すると、録画した映像をマルチ画面で再生できます。

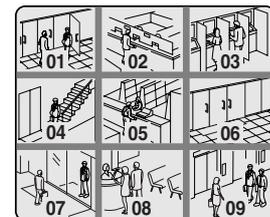
1 再生中にマルチ表示ボタンを押す

記録領域に記録したカメラ番号1～9までの映像を9画面で表示します。

2 マルチ表示ボタンを押す

9画面に切り換わります。

1画面に戻すときは、カメラ選択ボタンを押してください。



EDR-F620の場合は9画面に切り換えられません。

画面位置を並び換える場合はP74を参照ください。

録画した映像を日時などで指定して見る

通常記録領域、アラーム記録領域やバックアップ領域に録画されている映像を検索して再生することができます。検索は5種類の方法から選ぶことができます。

サーチボタンを押す：



<サーチ>画面を表示します。



再生中やメニュー表示中は検索できません。



再生した映像は、SダイヤルやJダイヤルまたは各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。

A アラームサーチ (P22)

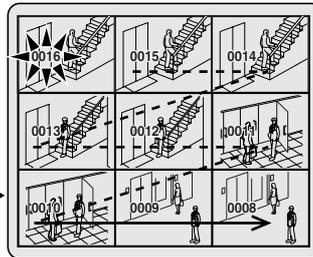
<アラーム サーチ>

NO	日付	時刻	CH	アラーム回数
0016	01-05	09:53	1	00016
0015	01-05	09:53	1	
0014	01-05	09:53	1	
0013	01-05	09:53	1	
0012	01-05	09:52	1	
0011	01-05	09:51	1	
0010	01-05	09:51	1	
0009	01-05	03:10	1	

ジョグで選択、シャトルで決定

アラーム記録領域のアラーム映像を記録リストから日時を検索して再生します。プリアラーム映像を録画している場合は、アラーム直前の映像も再生できます。

B アラームサムネイルサーチ (P22)



アラーム記録領域のアラーム映像をサムネイル(一覧)からアラーム番号を検索して再生します。

C 日時サーチ (P23)

<日時 サーチ>

記録開始 : 06-01-16 14:46
記録終了 : 06-01-19 13:32

チャンネル : 03

サーチ :
日付 時刻
06-01-16 14:46
アレビュー ->
再生 ->

ジョグで選択、シャトルで決定

通常記録領域(通常録画・タイマー録画の映像)とアラーム記録領域に記録した映像を日付と時間で検索して再生することができます。

D バックアップ領域サーチ (P24)

<バックアップ領域 サーチ>

NO	日付	開始	CH	使用容量
0001	01-01	01:48	1	全容量 - 816MB
0002	01-05	09:53	1	使用済 - 16MB
0003	01-01	02:41	1	
0004	01-02	03:10	1	
0005	01-02	04:25	1	
0006	01-04	02:40	1	
0007	01-04	01:25	1	
0008	01-04	01:25	1	

ジョグで選択、シャトルで決定

バックアップ領域に保存した映像を日時に検索して再生します。

E モーション検出サーチ (P24)

<モーション検出サーチ 1>

サーチ領域 : アラーム

開始 : 06-01-01 00:40
終了 : 06-01-05 10:17

チャンネル : --

サーチ開始 ->

ジョグで変更/移動、シャトルで設定

<モーション検出サーチ 2>

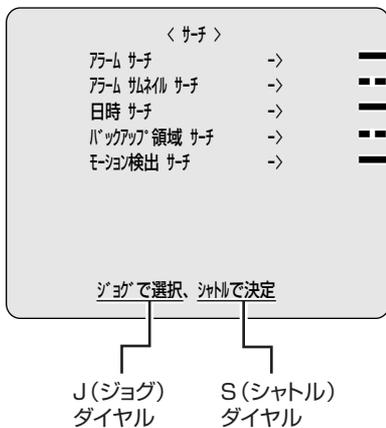
サーチ領域 : アラームと通常 / チャンネル : 4

開始 : 06-01-05 10:00
終了 : 06-01-05 10:17

モーションセンサー ->
アレビュー ->
再生 ->

ジョグで変更/移動、シャトルで設定

指定した領域やチャンネル(カメラ番号)などで録画した映像の中でモーションセンサーが検知した映像を検索して再生します。



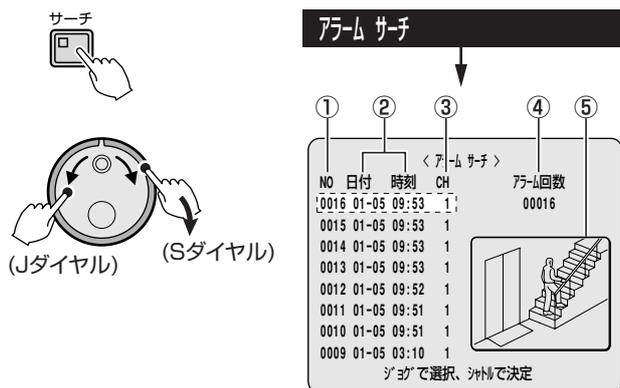
A アラームサーチ

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

2 Jダイヤルを回して、“アラームサーチ”を選択し、Sダイヤルを右に回す

＜アラームサーチ＞画面が表示され、最新のアラーム記録を8件表示します。

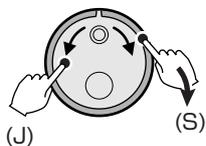
解除するときはサーチボタンを押す
通常の画面に戻ります。



(メニュー説明)

- ① NO :
アラームの番号を表示します。
- ② 日付/時刻 :
アラーム録画した日付・時間を表示します。
- ③ CH (チャンネル) :
アラーム録画したチャンネル (カメラ番号) を表示します。
- ④ アラーム回数 :
録画したアラーム映像の総数を表示します。
- ⑤ プレビュー画面 :
選択したアラーム映像を表示します。

3 Jダイヤルを回して、カーソルを再生したい「NO」に移動させ、Sダイヤルを右に回す



プレビュー画面に、アラームが発生した瞬間の画像を表示した後、選択した映像を1画面で再生します。終了すると静止画になります。

4 再生/停止ボタンを押す



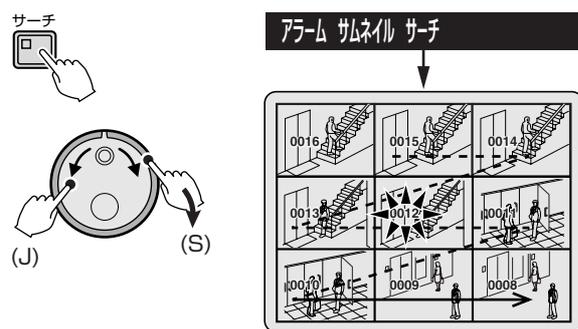
B アラームサムネイルサーチ

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

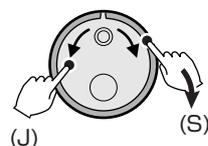
2 Jダイヤルを回して、“アラームサムネイルサーチ”を選択し、Sダイヤルを右に回す

最新のアラーム映像を9件表示します。
各アラーム映像にはアラーム番号が表示され、選択中の番号が点滅します。

解除するときはサーチボタンを押す
通常の画面に戻ります。



3 Jダイヤルを回して、再生したいアラーム番号を選択 (点滅) し、Sダイヤルを右に回す



選択した映像を1画面で再生します。終了すると静止画になります。

4 再生/停止ボタンを押す



■ プリアラームの映像を見るには

アラームサーチでアラーム発生した画像を再生させてから、Sダイヤルを左に回してください。



- アラームサーチと同様に各アラーム記録内でしか再生できません。前後のアラーム映像は、アラームボタンで再生してください。
- SダイヤルやJダイヤルまたは各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。



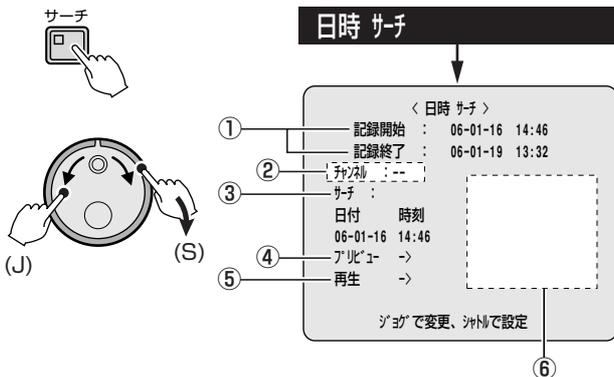
録画した映像を日時などで指定して見る

C 日時サーチ

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

2 Jダイヤルを回して、“日時サーチ”を選択し、Sダイヤルを右に回す

解除するときはサーチボタンを押す
通常の画面に戻ります。



(メニュー説明)

- ① 記録開始/記録終了：自動的に一番最初に録画した映像の日付・時刻と一番最後(最新)に録画した映像の日付・時刻を表示します。変更はできません。
- ② チャンネル：再生したいチャンネル(カメラ番号)を設定します。
- ③ サーチ：再生したい日付・時刻を設定します。
- ④ プレビュー：プレビュー画面を表示します。
- ⑤ 再生：プレビュー画面を再生します。
- ⑥ プレビュー画面

3 日時で検索する

例：カメラ3の2006年10月26日の午後8時30分

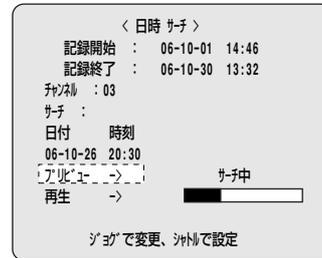


- ① Sダイヤルを右に回す。
- ② Jダイヤルで“03”を選択し、Sダイヤルを右に回す。
- ③ Jダイヤルで数値を設定して、Sダイヤルを右に回す操作をくり返し、日時を設定する。
カーソルが「プレビュー」に移動します。



4 Sダイヤルを右に回す

検索中はサーチ表示になり、入力した日付と時刻のプレビュー画面が表示されます。



時刻の一致する画像がない場合
選択した時間帯にもっとも近い映像が表示されます。

■ プレビュー画面を再生する

Jダイヤルを回して“再生”を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択した映像を1画面で再生します。

アラーム録画またはプログラム録画で録画した映像を、チャンネル指定して日時サーチ検索をおこなった場合は、記録条件により目的の画像が見つからないことがあります。この場合はチャンネルを指定せず、再度日時サーチを実行し、再生してから、早送りまたは早戻しで目的のチャンネル画像まで送ってください。

メモ

- プレビュー画面を表示させなくても、チャンネル、日付、時刻を入力し、「再生」を選択すると1画面で表示できます。
- SダイヤルやJダイヤルまたは各ボタン操作で、静止画や早送りなどの操作もできます。
- チャンネルの項を“-”にすると、マルチ画面での再生となります。

D バックアップ領域のサーチ

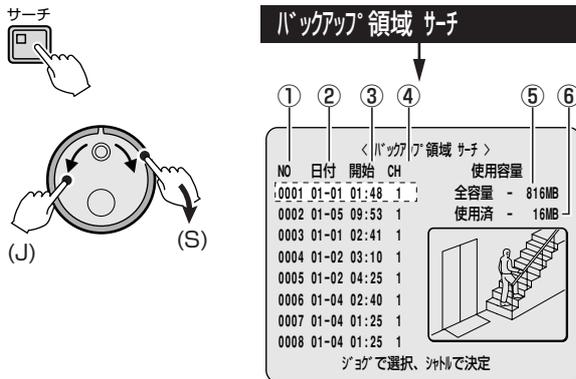
バックアップ領域の映像を再生します。

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す**2** Jダイヤルを回して、“バックアップ領域サーチ”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<バックアップ領域サーチ>画面が表示され、バックアップをおこなった順に、8件分の記録が画面に表示されます。

解除するときはサーチボタンを押す

通常の画面に戻ります。



(メニュー説明)

- ① NO :
バックアップの番号を表示します。
- ② 日付 :
録画した日付を表示します。
- ③ 開始 :
録画した開始時間を表示します。
- ④ CH (チャンネル) :
保存した映像の先頭チャンネル (カメラ番号) を表示します。
- ⑤ 全容量 :
バックアップ領域の全容量を表示します。
- ⑥ 使用済 :
バックアップ領域の使用容量を表示します。

3 Jダイヤルで再生したい「NO」を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択したナンバーの映像が1画面でプレビュー画面に再生されます。終了すると静止画になります。

4 再生/停止ボタンを押す

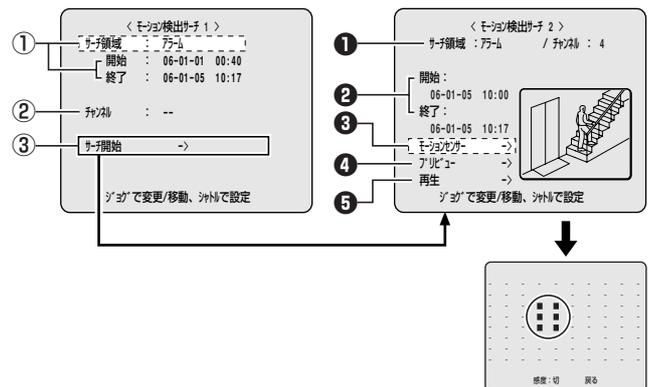
▶再生/停止

**E** モーション検出サーチ

モーションセンサー検出サーチは、記録した映像にモーションセンサーを設定し、侵入者などにより映像に変化があった場面を検出できます。

本設定は、まず検索する画面を<モーション検出サーチ1>の“サーチ領域”と“チャンネル”の項を設定してから“サーチ開始”を選択します。

画面は指定した<モーション検出サーチ2>の“サーチ領域”と“チャンネル”を表示しますので、“開始”と“終了”日時を設定し、“モーションセンサー”を選択してください。モーションセンサーを設定する画面が表示されます。



(メニュー説明)

モーション検索サーチ1画面

- ① サーチ領域/開始・終了
モーションセンサーの選択項目から選択すると、自動的に最初に録画した日時と最後に録画した日時を表示します。変更はできません。
選択項目 :
 - アラーム : アラーム記録領域の映像を検出します。
 - 通常 : 通常記録領域の映像を検出します。
 - アラームと通常 :
アラーム記録領域と通常記録領域の映像を検出します。
- ② チャンネル
モーションセンサーを設定するチャンネルを選択します。
- ③ サーチ開始
選択した領域とチャンネルを検索して、<モーション検索サーチ2>の検索画面になります。

モーション検索サーチ2画面

- ① サーチ領域・チャンネル
<モーション検出サーチ1>で指定した“サーチ領域”と“チャンネル”が表示されます。
- ② 開始・終了
サーチ領域と指定したチャンネルの開始と終了時間を設定します。
- ③ モーションセンサー
モーションセンサーの設定画面を表示します。
- ④ プレビュー
プレビュー画面を表示します。
- ⑤ 再生
検索した映像を1画面で再生します。

録画した映像を日時などで指定して見る

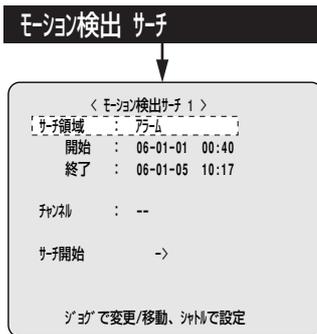
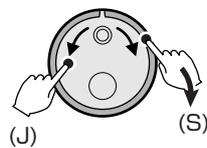
E モーション検出サーチ(つづき)

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

2 Jダイヤルを回して、“モーション検出サーチ”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<モーション検出サーチ 1>画面を表示し、“サーチ中”表示が点滅します。

解除するときはサーチボタンを押す
通常の画面に戻ります。



3 Sダイヤルを右に回す
“アラーム”が点滅します。

4 Jダイヤルで「例：アラームと通常」を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目：アラーム/通常/アラームと通常

再び「終了」の“サーチ中”が点滅し、検索が終了します。

チャンネル : --

5 Jダイヤルを回して「チャンネル」を選択し、Sダイヤルを右に回す

“--”が点滅します。

6 Jダイヤルで、チャンネル(例：カメラ番号4)を選択し、Sダイヤルを右に回す

「サーチ開始」にカーソルが移動します。

サーチ開始 ->

7 Sダイヤルを右に回す

<モーション検出サーチ2>画面になり、チャンネル4のプレビュー画面が表示します。

8 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルで数値を設定してSダイヤルを右に回す操作をくり返し、サーチ“開始”日時を設定する

例：2006年10月28日の午後8時30分

設定を終了後、Sダイヤルを右に回す。

開始 :
06-10-28 20:30

9 **8**と同じ手順をくり返しサーチ“終了”日時を設定する

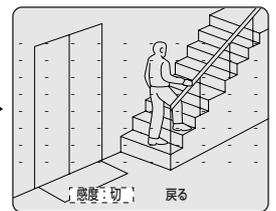
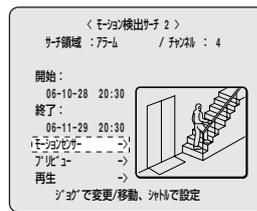
例：2006年11月29日の午後8時30分

カーソルが「モーションセンサー」に移動します。

終了 :
06-11-29 20:30

10 Sダイヤルを右に回す

モーションセンサー設定画面が表示されます。

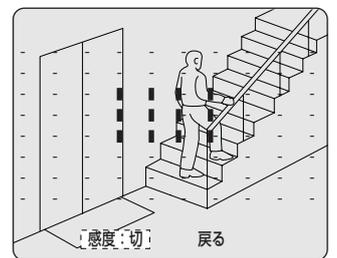
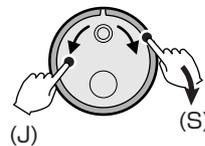


11 モーションセンサーを設定する

① Jダイヤルで、センサーを設定したい位置にカーソルを移動させて、Sダイヤルを右に回す

—：センサー未設定 ■：センサー設定

センサーが未設定から設定に切り換わりますので同じ手順で他の位置にセンサーを設定してください。



② Jダイヤルで、カーソルを「感度：切」まで移動させ、Sダイヤルを右に回す

“切”が点滅します。

選択項目：切/1/2/.../9/10(感度低い)

③ Jダイヤルで、「感度：切」を「5」に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

<モーション検出サーチ2>画面に戻ります。

「プレビュー」または「再生」を選択する場合は本サーチ画面を終了せずにP26へ進んでください。

12 終了するときは、サーチボタンを押す

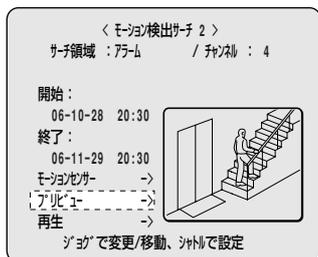
通常のライブ映像に戻ります。



モーション検出をチャンネル(カメラ番号)で指定すると、指定したチャンネルの映像を再生します。このとき、カメラタイトルや日時が部分的に画面表示されないことがあります。

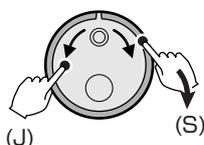
E モーション検出サーチ(つづき)

■ プレビュー画面で確認する



1 Jダイヤルで「プレビュー」を選択し、Sダイヤルを右に回す

検知した映像をプレビュー画面に表示します。



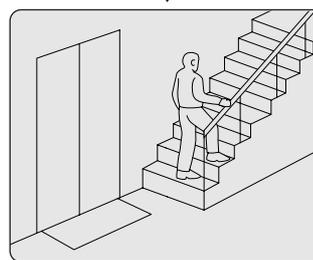
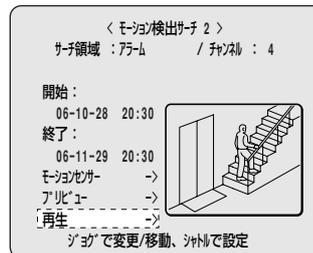
- ☞ “見つかりません” と表示した場合は、再度モーションセンサーの設定をおこなってください。
- ☞ Sダイヤルを右に回すごとに、モーションセンサーで検出した映像をプレビュー画面に表示します。

2 終了するときは、サーチボタンを押す

通常のライブ映像に戻ります。

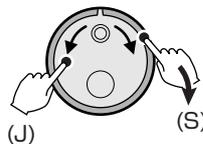


■ 通常の再生画面で見る



1 Jダイヤルで「再生」を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択した映像から通常の再生になります。終了すると静止画になります。



- ⚠ 他チャンネルを検索するときは、一度再生を停止し、最初から設定をおこなってください。

2 再生/停止ボタンを押す

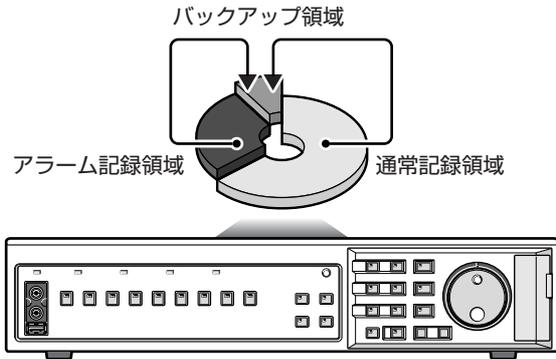


録画した映像をメディアなどにコピーする

通常記録領域やアラーム領域に録画した映像の中から、必要とする映像（1画面から）をコピーできます。

A 通常記録領域またはアラーム記録領域の映像をバックアップ領域にコピーする (P28)

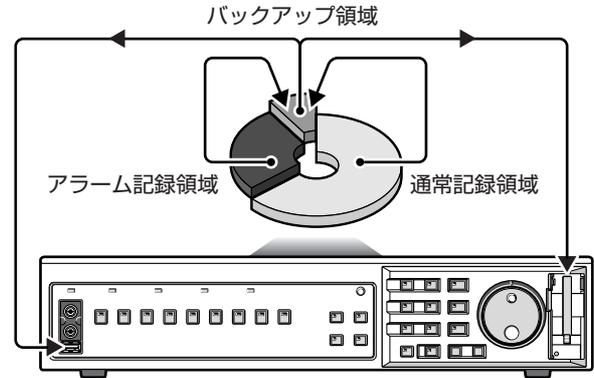
この領域は、必要な映像を一部保管して確認するなどの場合にお勧めします。
保存を目的とする場合は、CFカードなどのメディアにコピーしてください。



- バックアップ領域に映像をコピーする場合は、バックアップ領域の記録容量を確認してください。
- バックアップ領域の記憶容量が少なくなった場合は、CFカードなどのメディアにコピーしてからバックアップ領域を空にしてください。

B 内蔵ハードディスクの映像をメディアにコピーする (P29)

※使用可能なメディア：コンパクトフラッシュカード、マイクロドライブ、CD-R/RW、USBメモリ



- 通常記録領域やアラーム記録領域の映像をCFカードなどのメディアにコピーする場合
映像を一時的にバックアップ領域に保管してからコピーをおこなってください。その際は、必ずバックアップ領域の空き容量を確認してください。
- CFカードなどのメディアに画像をコピーする場合
1MB当たり約15秒間かかります。コピー中に記録容量がいっぱいになると、“コンパクトフラッシュ残量なし！”または“USBメモリ残量なし！”と表示し、コピーを終了します。何かの操作をおこなうと、通常画面に戻りますので、空き容量のあるメディアにコピーし直してください。

- メディアにコピーした映像は、改ざん検出用コードが埋め込まれています。改ざん検出については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- メディアにコピーした音声付きの映像は、“DVR Viewer 2”で再生できます。別冊の「ネットワーク接続による遠隔操作マニュアル」を参照ください。
- JPEG画像はフィールド画像となっています。市販の画像処理ソフトで見る場合は、“CF→PRINT”または“USBメモリ→PRINT”を選択してください。通常のコピーで見る場合は、縦方向が1/2に圧縮して表示されますので、必ず“DVR Viewer 2”で表示させてください。

C USBメモリ、CFカードまたはマイクロドライブの映像をパソコンで見たり印刷したりする (P30)

記録した映像をプリンターで印刷する場合は、本機でメディアをフォーマットしてください。

A 通常記録領域またはアラーム記録領域の映像をバックアップ領域にコピー (例：10秒) する

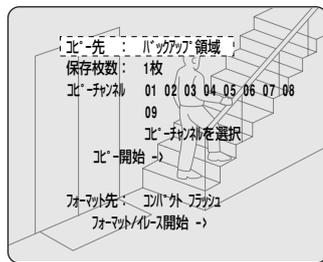
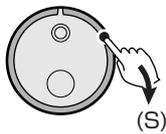
1 通常記録領域またはアラーム記録領域を再生する

2 コピーしたい映像で一時停止ボタンを押す
映像が一時停止になります。



3 コピーボタンを押す

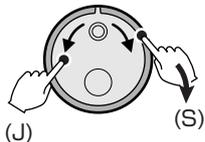
コピー設定画面を表示し、カーソルが「コピー先」に移動しています。



4 Sダイヤルを右に回す

“バックアップ領域” が点滅します。

5 Jダイヤルを回して、コピー先 (例：バックアップ領域) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
カーソルが「保存枚数」の“1”に移動し点滅します。



選択項目：

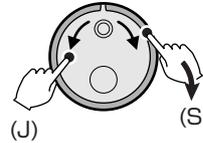
バックアップ領域、コンパクトフラッシュ、CF→PRINT

6 Jダイヤルを回して、保存枚数 (例：10) を選択し、Sダイヤルを右に回す

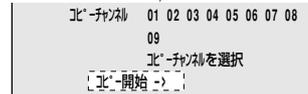
“枚” が点滅します。

7 Jダイヤルを回して、「秒」を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「コピー開始」に移動します。



保存枚数： 10秒



選択項目：

枚：指定枚数をコピーする (1~99)

秒：指定秒間をコピーする (1~99)

分：指定分間をコピーする (1~99)

8 カメラ選択ボタンでコピーするチャンネル (例：03、05) を選択する

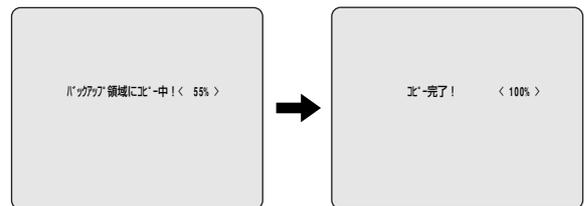
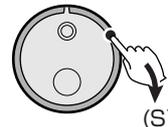
選択したチャンネルがグレーから白色になります。

- 初期チャンネルは緑色です。緑色のチャンネルは変更することはできません。

☞ コピーを中止するときは、コピーボタンを押す

9 Sダイヤルを右に回すとコピーを開始する

- バックアップ領域にコピーが開始され、コピー中は画面に“バックアップ領域にコピー中！”と表示されます。
- コピーが終了すると、“コピー完了！”と表示します。



音声付きの映像をバックアップ領域にコピーしても映像のみがコピーされます。

録画した映像をメディアなどにコピーする

B 内蔵ハードディスクの映像をメディアにコピーする

1 メディアを装着する

CFカードの装着のしかたは「各部のなまえとはたらき」を参照ください。(P9)

使用可能なメディア：コンパクトフラッシュカード、マイクロドライブ、CD-R/RW、USBメモリ

2 通常記録領域、アラーム記録領域またはバックアップ領域を再生する

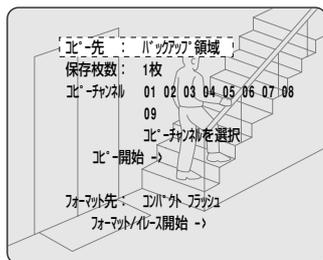
3 コピーしたい映像で一時停止ボタンを押す

映像が一時停止になります。



4 コピーボタンを押す

コピー設定画面を表示し、カーソルが「コピー先」に移動しています。

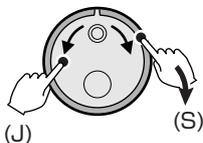


5 Sダイヤルを右に回す

「バックアップ領域」が点滅します。

6 Jダイヤルを回して、コピー先（例：コンパクトフラッシュ）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

カーソルが「保存枚数」の「1」に移動します。



選択項目：

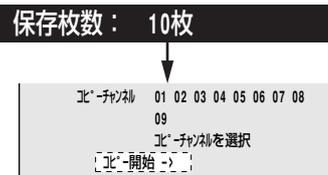
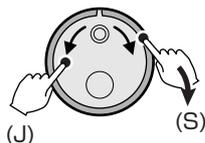
バックアップ領域、コンパクトフラッシュ、CF→PRINT、CD-R/RW、USBメモリ、USBメモリ→PRINT

7 Jダイヤルを回して、保存枚数（例：10）を選択し、Sダイヤルを右に回す

“枚”が点滅します。

8 Jダイヤルを回して、「枚」を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「コピー開始→」に移動します。



選択項目：

枚、秒、分（1～99）、イベント（1～99、>99）

- “イベント”はバックアップ領域のデータをイベント単位でコピーできます。“>99”を選択すると、イベント数に関係なくコピー先の容量がいっぱいになるまで、または最後のイベントまでコピーします。

9 カメラ選択ボタンでコピーするチャンネル（例：03、05）を選択する

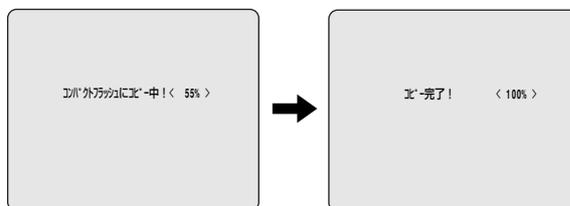
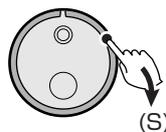
選択したチャンネルがグレーから白色になります。

- 初期チャンネルは緑色です。緑色のチャンネルは変更できません。

☞ コピーを中止するときは、コピーボタンを押す

10 Sダイヤルを右に回すとコピーを開始する

- CFカードにコピーが開始され、コピー中は画面に“コンパクトフラッシュにコピー中！”と表示されます。
- コピーが終了すると、“コピー完了！”と表示します。



☞ メディアにコピーした映像は“メディアにコピーした映像をパソコンで見る”を参照ください。(P31)



- コピー可能枚数は1回の操作で40000枚です。
- アラームサーチまたはアラームサムネイルから再生したアラーム記録をコピーする場合は、アラーム1イベントずつしかコピーできません。

- 使用メディアの最大容量は64GBまでです。但し、本機でメディアを再フォーマットすれば64GBのメディアとして使用可能です。

C USBメモリ、CFカードまたはマイクロドライブの映像をパソコンで見たり印刷したりする

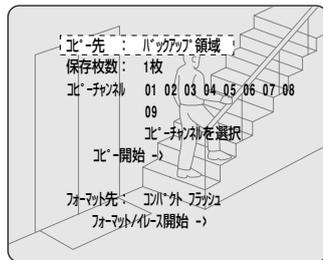
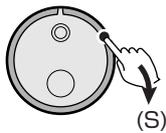
1 コンパクトフラッシュカードまたはUSBメモリを装着する
CFカードの装着のしかたは「各部のなまえとはたらき」を参照ください。(P9)

2 通常記録領域、アラーム記録領域またはバックアップ領域を再生する

3 保存したい映像で一時停止ボタンを押す
映像が一時停止になります。

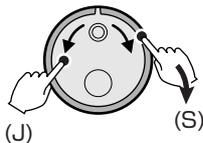


4 コピーボタンを押す
コピー設定画面を表示し、カーソルが「コピー先」に移動しています。



5 Sダイヤルを右に回す
“バックアップ領域”が点滅します。

6 Jダイヤルを回して、コピー先(例：CF→PRINT)を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
カーソルが「保存枚数」の“1”に移動します。



コピー先 : CF→PRINT

選択項目：
バックアップ領域、コンパクトフラッシュ、CF→PRINT、CD-R/RW、USBメモリ、USBメモリ→PRINT

7 Jダイヤルを回して、保存枚数(例：10)を選択し、Sダイヤルを右に回す
“枚”が点滅します。

8 Jダイヤルを回して、「枚」を選択し、Sダイヤルを右に回す
カーソルが「コピー開始→」に移動します。



選択項目：
枚：指定枚数をコピーする(1~99)
秒：指定秒間の映像をコピーする(1~99)
分：指定分間の映像をコピーする(1~99)
イベント：バックアップ領域のデータをイベント単位でコピーする(1~99、>99)

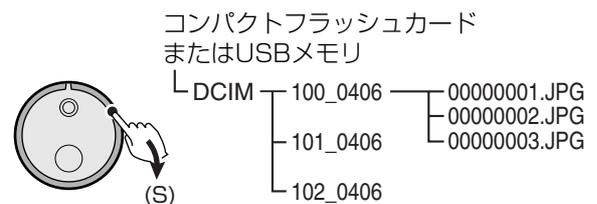
9 カメラ選択ボタンでコピーするチャンネル(例：03、05)を選択する

選択したチャンネルがグレーから白色になります。

●初期チャンネルは緑色です。緑色のチャンネルは変更できません。

☞ コピーを中止するときは、コピーボタンを押す

10 Sダイヤルを右に回す
ルートディレクトリの下にフォルダー“DCIM”が作成され、“DCIM”の下にコピーした映像の日付でフォルダーが作成されます。



- CF→PRINTでのコピー枚数は最大999枚に制限されます。例えば、10分を選択しても999枚でコピーが終了します。
- “CF→PRINT”を選択した場合は、“コンパクトフラッシュ”を選択した場合に比べてコピー時間は約2倍(1MB当たり約30秒間)必要です。

録画した映像をメディアなどにコピーする

CFカード、CD-R/RW、USBメモリのフォーマット

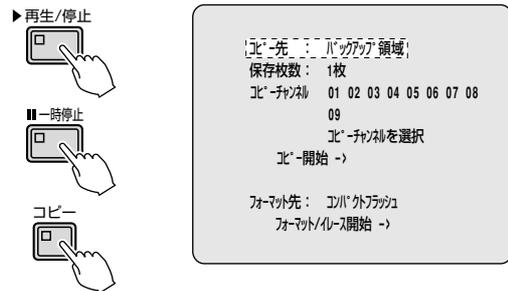
マイクロドライブも同様にフォーマットできます。

1 メディアを装着する

CFカードの装着のしかたは「各部のなまえとはたらき」を参照ください。(P9)

2 再生/停止ボタンを押して一時停止ボタンを押し、コピーボタンを押す

コピー設定画面が表示します。



3 Jダイヤルを回して、フォーマット先を選択し、Sダイヤルを右に回す

“コンパクトフラッシュ” が点滅します。

4 Jダイヤルを回して、メディア (例: コンパクトフラッシュ) を選択し、Sダイヤルを右に回す

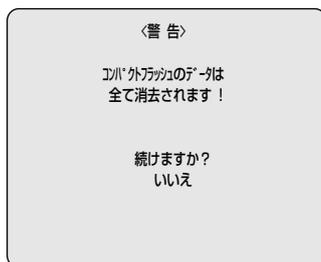
カーソルが [フォーマット/イレス開始 ->] に移動します。

選択項目:

コンパクトフラッシュ、CD-R/RW、USBメモリ

5 Sダイヤルを右に回す

警告画面が表示されます。

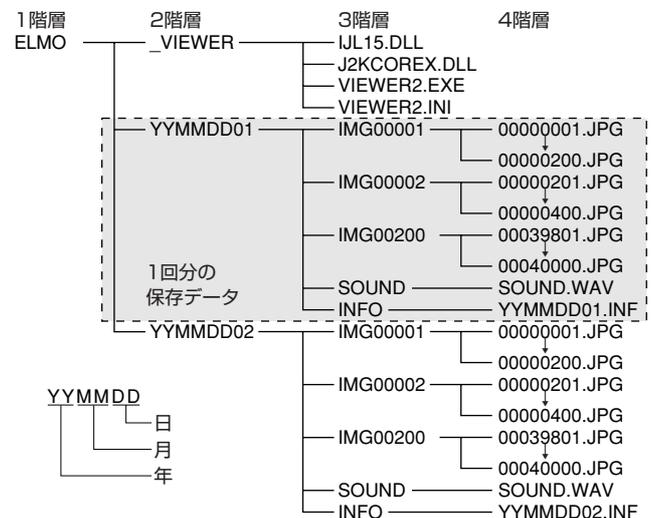


6 Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

フォーマット (初期化) を開始します。

メディアにコピーした映像をパソコンで見る

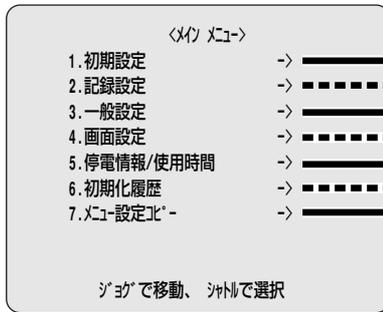
映像をメディアにコピーすると、画像が保存され、次のようにフォルダーが作成されます。



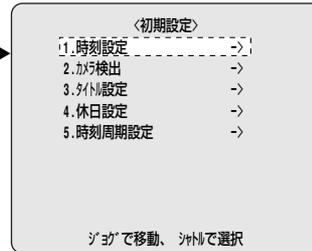
- 2GB以下のサイズのメディアの場合、FAT16でフォーマットされます。
- 2GBよりも大きいサイズのメディアの場合、FAT32でフォーマットされます。

メインメニュー構成

メインメニューは、7項目で構成されており、メニューボタンを押すと表示できます。



■ 初期設定に関する設定 (P33)



■ 録画とアラームなどに関する設定 (P38)



■ 一般的な設定 (P60)



■ 画面設定 (画面入換、自動切換、マスキング、色調) (P73)



■ 停電の日時やハードディスクなどの使用時間の確認 (P79)

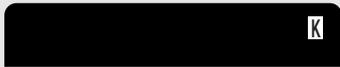


■ ハードディスクの初期化履歴の表示 (P80)



■ ボタン操作による数字入力のしかた

通常、数字やチャンネル (カメラ番号) はJダイヤルで設定しますが、画面右上に“K”が表示されると前面部のカメラ選択ボタンや4画面表示ボタンなどで設定できます。

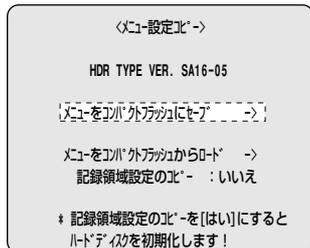


EDR-F920の場合

- カメラ選択ボタン1~9 : ボタンを押した数字が入力されます。
- 4画面表示ボタン : 0が入力されます。

EDR-F620の場合はP35の2項のメモ参照

■ 本機のメニューの設定内容をコピーし、他の同機も同じメニューで操作する (P81)



基本設定

メニュー構成

■ 初期設定画面の表示のしかた

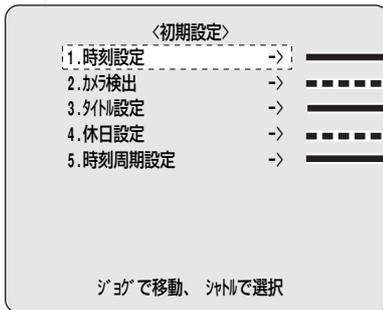
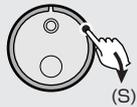
1 メニューボタンを押す

<メインメニュー>画面を表示します。



2 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す

<初期設定>画面が表示し、選択した画面(A~E)が表示されますので、設定は各項のページを参照ください。

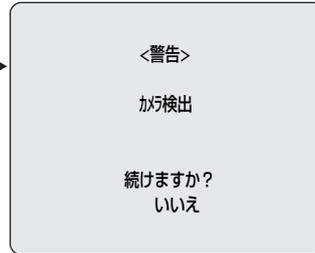


A 時刻設定



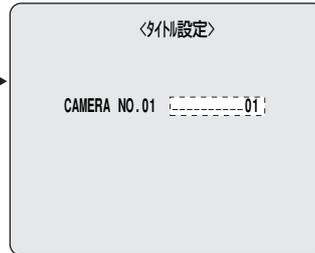
- 時刻設定 (P13)
通常の画面に表示される日付や時刻を設定します。「操作前の準備」を参照ください。
- 外部時刻設定 (P34)
複数の機器を接続したときは、すべての機器を同じ時刻に設定できます。

B カメラ検出 (P34)



本機に接続しているカメラを自動検出します。

C タイトル設定 (P35)



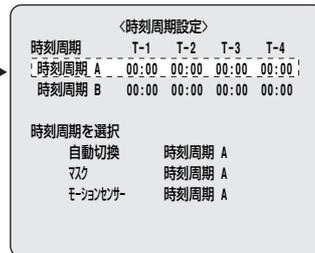
カメラを設置した場所のタイトル名を設定できます。設定後はモニターに表示されます。

D 休日設定 (P35)



特定の日を休日として設定できます。また、祝日や会社の記念日など、日曜日と同じタイマー動作をおこなうことができます。

E 時刻周期設定 (P36)



例えば、時刻周期Aの時間帯は自動切換画面に設定し、時刻周期Bの時間帯はカメラ映像にグレーパターン(マスク)で覆うなどの設定ができます。

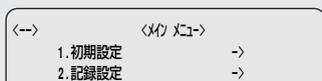
■ 録画中のメニュー設定変更

メニュー画面内の左上に<●>(録画中)が表示されている場合は、現在録画中のためメニュー変更はできません。メニュー設定を変更するときは、次の設定をおこなってください。



1 <メインメニュー>画面に戻り、シャトル保持ボタンを約3秒押す

画面左上に<--->(メニュー変更可)が表示され、録画は一時中断されます。



2 再びメニュー変更する画面を表示させる

録画中表示が<--->表示になり、メニューの変更が可能になります。メニュー画面を閉じると、自動的にメニュー変更可表示から<●>表示に戻り、録画状態になります。

A 外部時刻設定

本機後面のコントロール端子の「時計合わせ出力」と2台目の「時計合わせ入力」端子間を接続(図1)することで接続機器を同じ時間に設定できます。

- 1 Sダイヤルを右に回して、調整時刻の01を点滅させる



- 2 Jダイヤルを回して、調整時刻(例:05)を選択し、Sダイヤルを右に回す

⚠ “分”の設定はできません。



- 3 終了/画面表示ボタンを押す

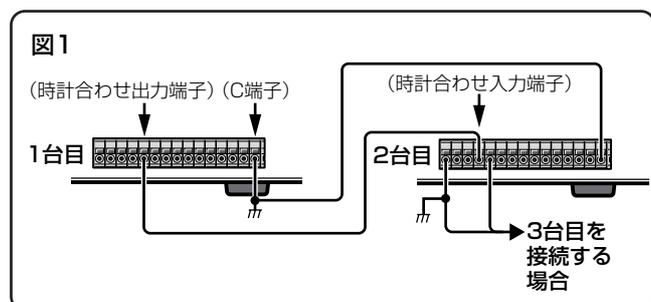
本機の設定が終了します。



- 4 接続した2台目も同じメニューを表示させ、同じ時刻に設定し、終了/画面表示ボタンを押す

1台目の機器が設定した時刻(5時)になると、双方とも5時に設定されます。

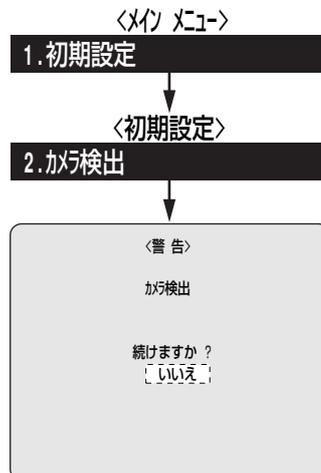
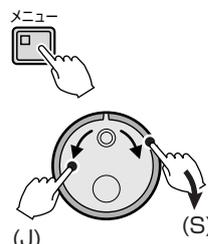
但し、2台目以降の機器は、4時30分から5時29分内では時刻調整ができます。



B カメラ検出

- 1 「初期設定画面の表示のしかた」で<警告>画面を表示させる(P33)

<警告>画面を表示し、“いいえ”が点滅します。



- 2 Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

接続しているカメラを検出後、<初期設定>画面に戻りますので、終了/画面表示ボタンを押してください。

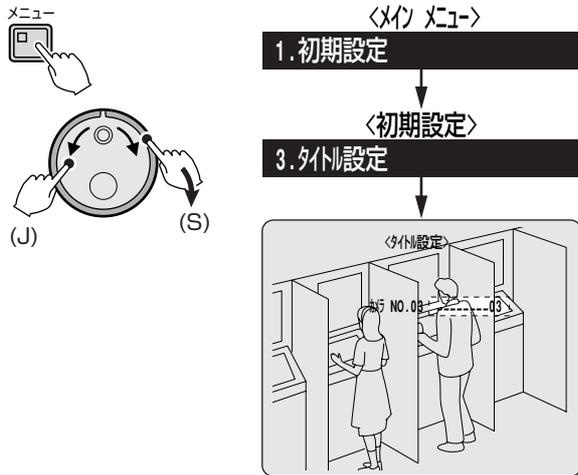


C タイトル設定

タイトル文字はカメラ毎に10文字まで設定できます。

1 「初期設定画面の表示のしかた」で<タイトル設定>画面を表示させる (P33)

ライブ映像になり、<タイトル設定>画面を表示します。



2 カメラ3の画面にタイトル (例：ATM-1F) を設定する

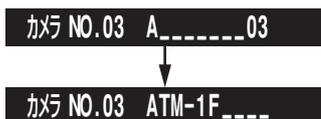
① カメラ選択ボタン3を押して、Sダイヤルを右に回す
タイトル設定の最初の“一”が点滅します。



② Jダイヤルを回して、“A”を表示させ、Sダイヤルを右に回す
“A”が確定され、カーソルが次に移動します。
同じ手順をくり返して、タイトルを入力してください。

メモ EDR-F620の場合、数字は[カメラ選択]ボタンの1~6、4画面表示(7)、マルチ表示(8)、モニター2(9)、プラス表示(0)ボタンを押しても入力できます。

タイトル文字の詳細は「カメラタイトル表示一覧」を参照ください。(P84)



タイトル文字を変更するとき、Sダイヤルを左右に回して文字を点滅させ、Jダイヤルで変更してください。

3 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す



D 休日設定

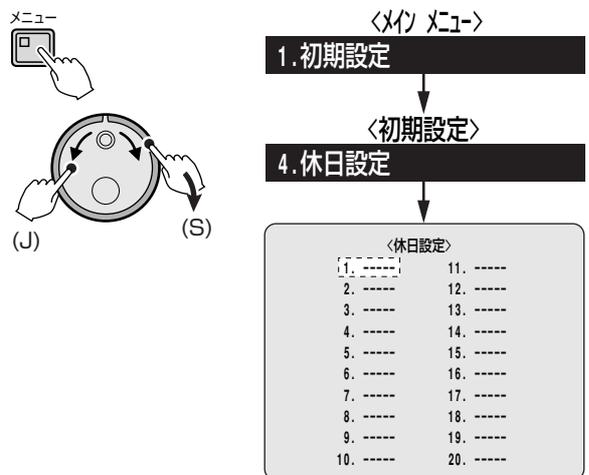
設定条件

<タイマー設定>の[日]の開始と終了時間を設定し、「入/切」を“入”に設定する (P50)



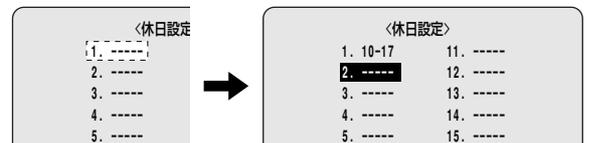
1 「初期設定画面の表示のしかた」で<休日設定>画面を表示させる (P33)

<休日設定>画面を表示し、カーソルが“1”に移動します。



2 休日設定したい日付 (例：10月17日) を入力する

- Sダイヤルを右に回して、Jダイヤルで10(月)を設定する
- Sダイヤルを右に回して、Jダイヤルで17(日)を設定する
他に休日設定する箇所に同じ手順をくり返して、日付を設定してください。



3 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す



E 時刻周期設定

時刻周期とは、1日を4つの監視時間帯（例：早朝、朝、昼、夜）に分けて、時間帯毎に画面自動切換、マスク設定、モーションセンサー検出の設定時間を変えて監視するシステムです。

時刻周期はAとBの設定が可能ですので、人の出入りなどにより、幅広い設定ができます。

(時刻周期Aの設定例)

- 6:30~11:30
画面自動切換

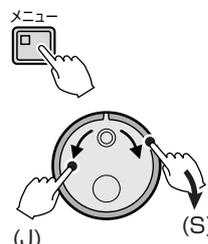
- 11:30~13:30
モーションセンサー設定

- 13:30~18:30
画面自動切換

- 18:30~6:30
モーションセンサー設定

1 「初期設定画面の表示のしかた」で<時刻周期設定>画面を表示させる (P33)

<時刻周期設定>画面を表示します。



<メニュー>

1. 初期設定

<初期設定>

5. 時刻周期設定

<時刻周期設定>

時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	00:00	00:00	00:00	00:00
時刻周期 B	00:00	00:00	00:00	00:00

時刻周期を選択

自動切換 時刻周期 A

マスク 時刻周期 A

モーションセンサー 時刻周期 A

2 時刻周期Aの時間帯を設定する

例：T-1：午前6時30分 T-2：午前11時30分
T-3：午後1時30分 T-4：午後6時30分

① Sダイヤルを右に回す
「T-1」の最初の「00」が点滅します。

時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	00:00	00:00	00:00	00:00

時刻周期 A (06) 30 11:30 13:30 18:30

- ② Jダイヤルを回して「T-1」の「06」を選択し、Sダイヤルを右に回す
- ③ Jダイヤルを回して「T-1」の「30」を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返し、「T-2」から「T-4」までの時間を選択してください。

3 時刻周期Bの時間帯を設定する

例：T-1：午前7時30分 T-2：午前10時30分
T-3：午後2時30分 T-4：午後7時30分

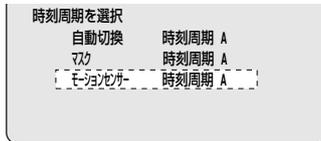
時刻周期 B	00:00	00:00	00:00	00:00
時刻周期 B	(07) 30	10:30	14:30	19:30

- ① Sダイヤルを右に回す
「T-1」の最初の「00」が点滅します。
- ② Jダイヤルを回して「T-1」の「07」を選択し、Sダイヤルを右に回す
- ③ Jダイヤルを回して「T-1」の「30」を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返し、「T-2」から「T-4」までの時間を選択して、Sダイヤルを右に回してください。
時刻周期が設定され、カーソルが「自動切換」に移動します。

E 時刻周期設定(つづき)

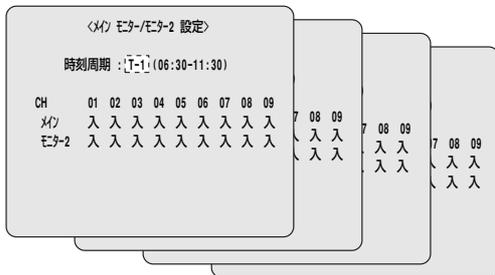
4 設定した時刻周期(A/B)で、自動切換、マスク、モーションセンサーを設定する

時刻周期設定の初期設定はすべて“A”に設定されています。時間帯になると各操作は時刻周期Aで動作しますが、時刻周期設定には次の設定が必要です。



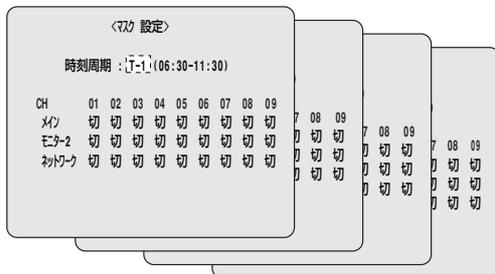
カメラ映像を自動切換にする (P76 : B-3)

時間帯 (T1~T4) 毎にメインモニターまたはモニター2の設定ができます。



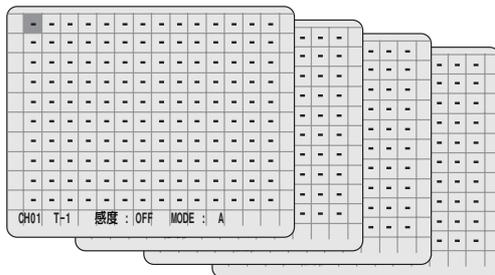
特定のライブ映像を見えなくする (P77)

時間帯 (T1~T4) 毎に指定のライブ映像を見えないように設定できます。



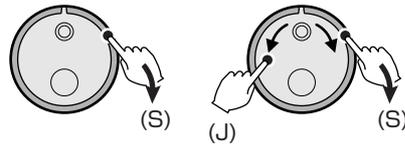
カメラ映像にモーションセンサーを設定する (P57 : G-5)

時間帯 (T1~T4) 毎にライブ映像にモーションセンサーを設定できます。



■各操作の時刻周期を変更する場合

- Sダイヤルを右に回す
自動切換の“時刻周期A”が点滅します。
- Jダイヤルで自動切換の「時刻周期B」を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返して、マスクとモーションセンサーの時刻周期を選択してください。



例：

自動切換	時刻周期 A	→	時刻周期 B
マスク	時刻周期 A	→	時刻周期 B
モーションセンサー	時刻周期 A	→	時刻周期 B

5 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。



■時刻周期の時刻設定について

- T-1からT-4間がすべて“00:00”のときは、T-1だけが有効となり、午前0時から翌日の午前0時までをT-1として動作します。
- T-3とT-4間で翌日にまたがるような設定はできません。このような場合は、T-4を“23:59”に設定してください。

時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	06:00	12:00	18:00	02:00

- T-4に“00:00”を設定すると、T-4が無効となりT-3からT-1にスキップします。動作は、T-3からT-1になります。

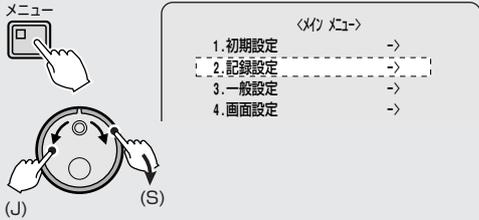
時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	06:00	12:00	18:00	00:00

記録設定

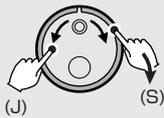
メニュー構成

■ 記録設定画面の表示のしかた

- 1** メニューボタンを押してJダイヤルで「2.記録設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す
 <記録設定>画面を表示します。



- 2** Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す
 選択した画面(A~H)が表示されますので、設定は各項のページを参照ください。



<記録設定>

- 1. 簡易記録設定 →
- 2. 記録領域設定 →
- 3. 記録条件設定 →
- 4. 通常記録設定 →
- 5. プログラム記録設定 →
- 6. タイマー設定 →
- 7. アラーム記録設定 →
- 8. アラーム動作/表示設定 →

ジョグで移動、ツマミで選択

<簡易記録設定>

簡易記録設定1 (P40)
 (記録したい日数を元に設定する)

簡易記録設定2 (P41)
 (カメラの記録レートを元に設定する)

注意!
 設定のままに、使用するカメラを接続し時刻設定をおこなってください

A 簡易記録設定

記録日数または記録レートを選択できます。
簡易記録設定1 (P40) :
 記録日数を基準にした設定方法
簡易記録設定2 (P41) :
 記録レートを基準にした設定方法

<記録領域設定>

全容量 : 250GB
 通常記録領域 : 80%
 プログラム記録領域 : 19%
 アラーム記録領域 : 1%
 記録再開許可 : >

警告 : 設定を変更するとすべての内容が初期化されます。

B 記録領域設定 (P42)

ハードディスクの全体容量を表示します。また、各領域(通常記録、アラーム記録、バックアップ)の記録容量の設定ができます。

<記録条件設定>

通常記録領域 : 入
 アラーム記録領域 : 入
 ファイル残量警告 : **
 記録保存制限 : 切

C 記録条件設定 (P45)

ハードディスクの通常記録領域と、アラーム記録領域がいっぱいになったときに、上書きするか停止させるかの設定ができます。

<通常記録設定>

記録画質 : ENHANCED
 音声記録 : 切
 記録レート : 15 FPS (129H)
 プログラム記録 : 切

D 通常記録設定 (P47)

画質、音声、記録レート、プログラム記録の設定ができます。

<プログラム記録設定>

プログラム : [P-1]

カメラ毎の記録レート選択 (FPS)
 01: 0.5 02: 0.5 03: 0.5
 04: 0.5 05: 0.5 06: 0.5
 07: 0.5 08: 0.5 09: 0.5

通常記録 : 243H

E プログラム記録設定 (P48)

記録する各カメラの記録レートの設定ができます。

<タイマー設定>

曜日 開始 終了 プログラム 記録レート 入/切
 [日] --- -- -- 切 15 FPS 切
 [月] --- -- -- 切 15 FPS 切
 [火] --- -- -- 切 15 FPS 切
 [水] --- -- -- 切 15 FPS 切
 [木] --- -- -- 切 15 FPS 切
 [金] --- -- -- 切 15 FPS 切
 [土] --- -- -- 切 15 FPS 切
 毎日 --- -- -- 切 15 FPS 切
 外部 ##### 切 15 FPS 切

F タイマー設定 (P49)

指定した曜日、時間で録画設定ができます。

G アラーム動作/表示設定 (P58)

アラーム入力時の動作と表示に関する設定ができます。

<アラーム動作設定>

アラーム動作 : 切

<アラーム表示設定>

メインモニター表示 : 1画面
 複数アラーム時表示 : フォト
 モニター2表示 : NC

<アラーム記録設定>

アラーム記録 : 切
 記録画質 : ENHANCED
 音声記録 : 切
 記録ボタン : ONLY
 記録レート : 15FPS 持続時間 : 20秒
 プログラム記録 : ***
 記録レート : **** FPS 持続時間 : **** => (05278 回 アラーム記録可能)
 アラーム動作 : 外部
 M センサー : >

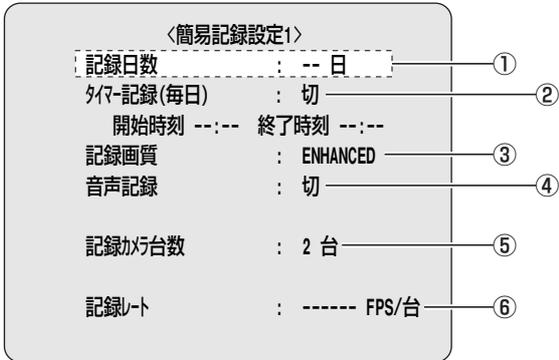
G アラーム記録設定 (P53)

アラーム記録、プリアラーム記録、モーション(M)センサーの設定ができます。

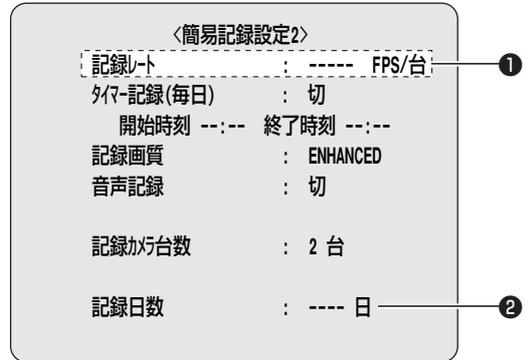
A 簡易記録のメニュー説明

簡易設定には、下記の2種類があります。

☞ 簡易記録設定1 (P40)



☞ 簡易記録設定2 (P41)



① 記録日数

1から99まで選択できます。初期値は1です。

② タイマー記録(毎日)

タイマー記録設定を入切できます。

“切”の場合は、開始時刻へはカーソルが移動しません。

③ 記録画質

選択項目：

- BASIC (BA)：ラフ画質、約15kB
- NORMAL (NO)：標準画質、約22kB
- ENHANCED (EN)：準高画質、約30kB
- FINE (FI)：高画質、約42kB
- SUPER FINE (SF)：最高画質、約50kB

④ 音声記録

音声記録を入切できます。音声記録は記録レートの60から1FPSの範囲で設定可能です。音声記録を“入”にすると記録レートの最初にAを表示します。音声は通常記録領域にも記録されるため記録容量は少なくなります。“記録レート”の音声記録可能範囲外を選択した場合は、音声記録は記録されません。(P85)

⑤ 記録カメラ台数

本機に接続しているカメラ台数を表示します。

⑥ 記録レート

本メニューの設定内容とカメラ台数から、カメラ1台当たりの最大記録レートを表示します。有効な数値が得られない場合は“エラー！”と表示します。その場合は設定内容を変更してください。

① 記録レート

選択項目：

- 60/30/20/15/10/7.5/6/5/4.286/3.75/3.333/3/2.727/2.308/2/1.667/1.429/1.25/1.111/1/0.5/0.333/0.25/0.2/0.1/0.05/0.033

音声記録は60から1FPSの範囲で設定可能です。

② 記録日数

本メニューの設定内容とカメラ台数から、カメラ1台当たりの最大記録日数を表示します。有効な数値が得られない場合は“エラー！”と表示します。その場合は設定内容を変更してください。



簡易記録設定は次の操作をすると設定内容が消えます。

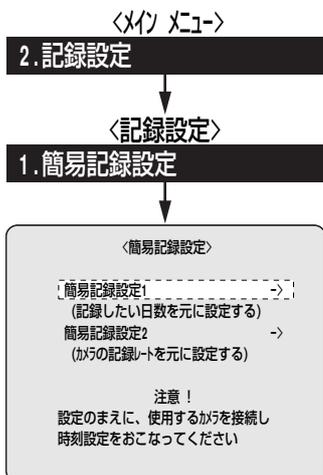
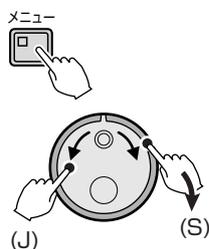
- 本機が検知しているカメラ台数に対して増減があったとき。
- <アラーム記録設定>でプリアラーム記録の設定を“入”に変更したとき。
- コンパクトフラッシュカードからメニュー設定をロードしたとき。
- 別の簡易記録設定をおこなったとき。
- 通常記録設定またはタイマー設定で設定値を変更したとき。
- ハードディスクの交換、各記録領域の変更、ミラーリングの設定変更、もう1台追加したとき。

A-1 簡易記録設定1

記録日数で録画設定をおこなう

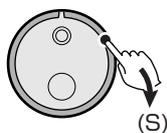
1 「記録設定画面の表示のしかた」で<簡易記録設定>画面を表示させる (P38)

<簡易記録設定>画面を表示します。



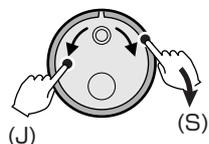
2 Sダイヤルを右に2回まわす

<簡易記録設定1>画面を表示して、「記録日数」の“1”が点滅します。



3 Jダイヤルを回して記録日数(例：10)を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「タイマー記録(毎日)」に移動します。



4 タイマーを設定する

タイマー設定をおこなわない場合は[5]に進んでください。

- ① Sダイヤルを右に回す
タイマー記録(毎日)の“切”が点滅します。
- ② Jダイヤルを回してタイマー記録(毎日)を“入”に選択し、Sダイヤルを右に回す
カーソルが全時刻設定に移動します。

開始時刻 --:-- 終了時刻 --:--

開始時刻 09:30 終了時刻 18:30

- ③ Sダイヤルを右に回す
カーソルが“開始時刻”に移動します。
- ④ Jダイヤルを回して09(例)を表示させ、Sダイヤルを右に回す
“00”が点滅します。
- ⑤ Jダイヤルを回して30(例)を表示させ、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返して、終了時刻を設定してください。カーソルが「記録画質」の“ENHANCED”に移動します。

5 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して記録画質を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「音声記録」の“切”に移動します。

6 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して音声記録を“入”選択し、Sダイヤルを右に回す

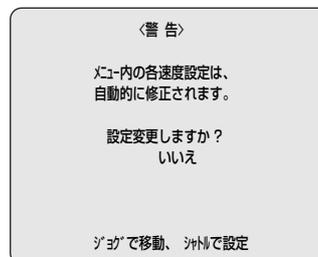
カーソルが「記録日数」に戻ります。

7 Sダイヤルを左に回す

<警告>画面が表示され、“いいえ”が点滅します。

- Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<簡易記録設定>画面に戻ります。



8 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す 通常の画面に戻ります。

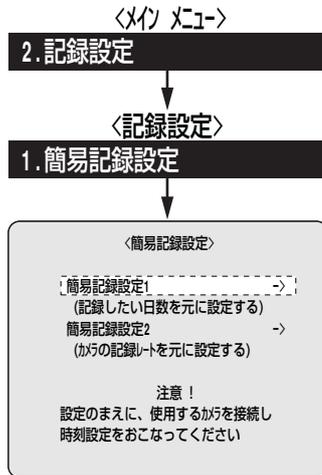
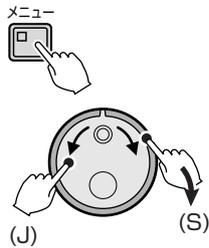


A-2 簡易記録設定2

記録レートで録画設定をおこなう

1 「記録設定画面の表示のしかた」で<簡易記録設定>画面を表示させる (P38)

<簡易記録設定>画面を表示します。



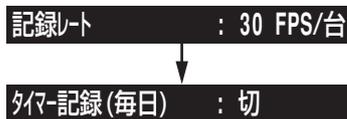
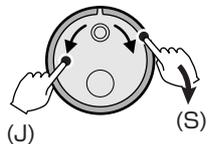
2 Jダイヤルを回して「簡易記録設定2」を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

<簡易記録設定2>画面を表示して、「記録レート」の数値が点滅します。数値はハードディスクの容量により異なります。



3 Jダイヤルを回して記録レート(例: 30)を選択して、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「タイマー記録(毎日)」に移動します。



4 タイマーを設定する

タイマー設定をおこなわない場合は[5]に進んでください。

- ① Sダイヤルを右に回す
タイマー記録(毎日)の“切”が点滅します。
- ② Jダイヤルを回してタイマー記録(毎日)を“入”に選択し、Sダイヤルを右に回す
カーソルが全時刻設定に移動します。

開始時刻 --:-- 終了時刻 --:--

開始時刻 09:30 終了時刻 18:30

- ③ Sダイヤルを右に回す
“開始時刻”の“00”が点滅します。
- ④ Jダイヤルを回して09(例)を表示させ、Sダイヤルを右に回す
“00”が点滅します。
- ⑤ Jダイヤルを回して30(例)を表示させ、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返して、終了時刻を設定してください。カーソルが「記録画質」の“ENHANCED”に移動します。

5 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して記録画質を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「音声記録」の“切”に移動します。

6 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して音声記録を“入”選択し、Sダイヤルを右に回す

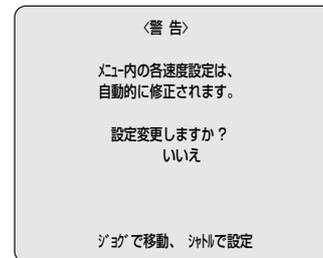
カーソルが「記録レート」に戻ります。

7 Sダイヤルを左に回す

<警告>画面が表示され、“いいえ”が点滅します。

- Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<簡易記録設定画面>に戻ります。

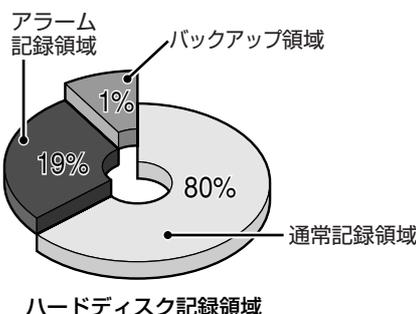


8 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す 通常の画面に戻ります。



B 記録領域画面のメニュー説明

ハードディスクの全記録容量と各記録容量の割り当てを確認することができます。各記録領域を変更すると、ハードディスクが初期化され、今までに録画した内容のすべてが消去されます。記録領域を変更する場合は、必要な映像は他の記録媒体に保存してください。

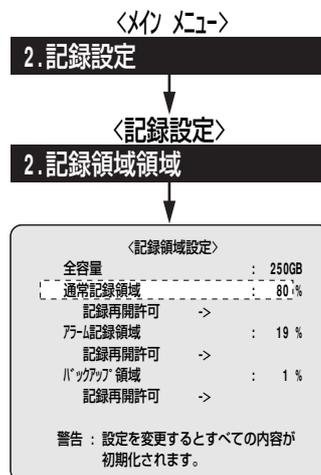
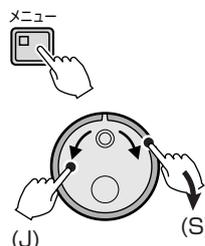


①	全容量	: 250GB
②	通常記録領域	: 80%
③	記録再開許可	->
④	アラーム記録領域	: 19%
	記録再開許可	->
⑤	バックアップ領域	: 1%
	記録再開許可	->

警告：設定を変更するとすべての内容が初期化されます。

■ 記録領域の容量を確認する

- 1 「記録設定画面の表示のしかた」で<記録領域設定>画面を表示させる (P38)



- 2 終了するときには、終了／画面表示ボタンを押す



- ① 搭載されているハードディスクの全容量を表示する
ハードディスクを交換すると全容量値は変わります。
- ② 通常記録領域の記憶容量を設定する
初期値は80%で、0%から99%まで手動で数値を変更できます。通常記録領域を0%に設定した場合は、アラーム記録領域のみに映像が記録されます。
- ③ ハードディスクの記録容量がいっぱいになった状態で、各記録領域に映像が記録される毎にハードディスクの最初から上書きされる
- ④ アラーム記録領域の記憶容量を設定する
初期値は19%で、0%から99%まで手動で数値を変更できます。
アラーム記録件数の制限は1台のハードディスク当たり16000件です。ハードディスクを増設した場合は、最大32000件まで可能です。ただし、各条件の設定により記録条件が異なります。
- ⑤ バックアップ領域の記憶容量を設定する
初期値は1%で、上限は99%です。当領域は手動での設定はできません。

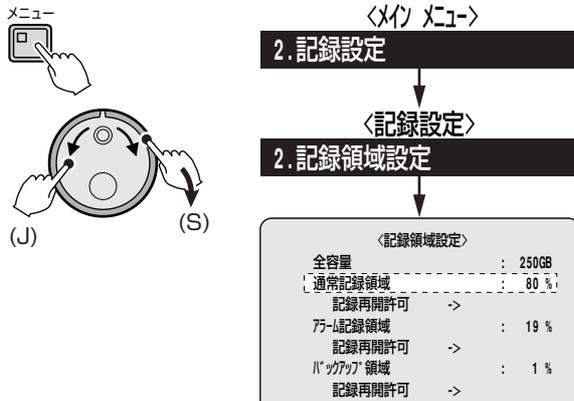
■ ネットワークのダウンロードについて

ネットワークを経由して、本機の画像データをダウンロードする場合は、バックアップ領域の容量は最高画質(40000枚：音声データなし)の場合で約2GB必要です。

B-1 通常記録領域とアラーム記録領域の変更

記録領域を変更するとハードディスクは初期化されます。

- 1 「記録設定画面の表示のしかた」で<記録領域設定>画面を表示させる (P38)



- 2 Sダイヤルを右に回す

「通常記録領域」の「80」が点滅します。

- 3 Jダイヤルを回して、通常記録領域 (例：50%) に変更し、Sダイヤルを右に2回まわす

「アラーム記録領域」の数値が点滅します。

アラーム記録領域 : 19%

メモ

本機の初期値は<記録条件設定>の通常記録領域またはアラーム記録領域の「上書き記録」では「入」に設定されていますので、通常記録領域を設定後は「記録再開許可」にはカーソルは移動しません。同様にアラーム記録領域にもカーソルは移動しません。通常記録領域とアラーム記録領域の記録再開許可は、<記録条件設定>の「上書き記録」を「切」に設定してください。(P46)

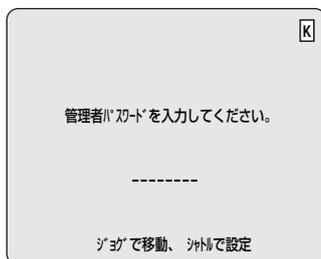


- 4 Jダイヤルを回して、アラーム記録領域 (例：49%) に変更し、Sダイヤルを右に回す

「バックアップ領域」の「記録再開許可」にカーソルが移動します。

- 5 Sダイヤルを左に回す

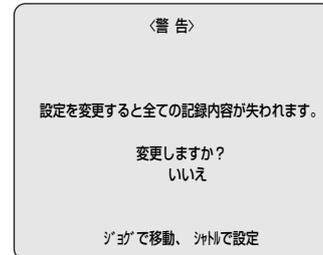
パスワード入力画面が表示されます。



- 6 パスワードを入力する

Jダイヤルを回して、Sダイヤルを右に回す操作を繰り返してパスワードを入力してください。

<警告>画面が表示し、「いいえ」が点滅します。



- 7 Jダイヤルを回して「はい」を選択し、Sダイヤルを右に回す

「ハードディスク初期化中！」の画面になり、初期化をおこないます。

初期化が終了すると、<記録領域設定>画面に戻ります。



- 8 終了/画面表示ボタンを押す

終了/画面表示



16000件以上のアラーム録画をおこなう場合

最初にアラーム記録領域を設定し、次に通常記録領域を*0%に設定してください。件数に関係なく、設定したアラーム領域がいっぱいになるまでアラーム記録をおこないます。次の場合は、ハードディスクが初期化されます。必要な画像はメディアに保存してください。

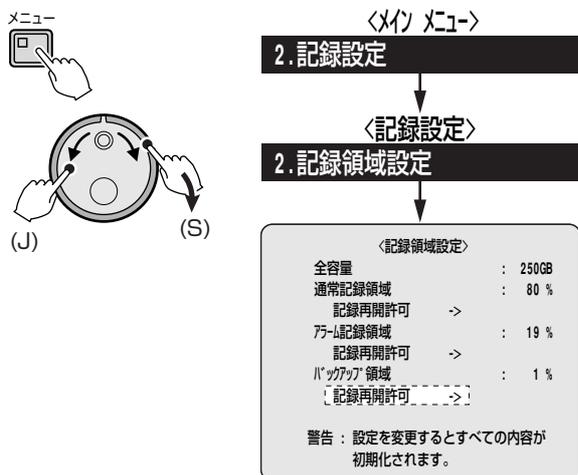
- 通常記録領域：
 - 1%～99%を*0%に設定した場合
 - *0%を0%～99%に設定した場合
- 通常記録領域、アラーム記録領域、バックアップ領域：
 - 割合を変更した場合

通常記録領域を*0%に設定して、記録した映像を検索するときは日時サーチのみ可能です。

B-2 バックアップ領域の記録再開許可

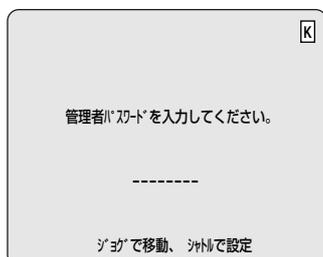
バックアップ領域は自動的に上書きをおこなうことができません。バックアップ領域の記録再開許可をおこなうとバックアップ領域の映像は消去されます。

- 1** 「記録設定画面の表示のしかた」で<記録領域設定>画面を表示させる (P38)

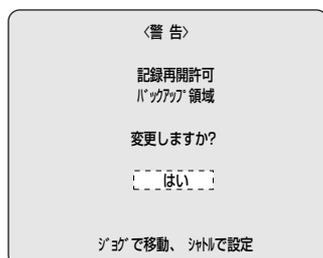


- 2** Jダイヤルを回して“記録再開許可”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<パスワード入力>画面が表示されます。



- 3** Jダイヤルを回してSダイヤルを右に回す



- 4** 終了するとき、終了／画面表示ボタンを押す



C 記録条件設定のメニュー説明

ハードディスクの通常記録領域とアラーム記録領域がいっぱいになったときに、上書き録画（録画済み映像は消去）する、または録画を停止させて上書き録画をしないなどを設定します。

〈記録条件設定〉		
①	通常記録領域 上書き記録	: 入
②	アラーム記録領域 上書き記録	: 入
③	ディスク残量警告	: **
④	記録保存制限	: 切

① 通常記録領域の「上書き記録」の選択をする

入：通常記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域の最初から上書き録画します。

切：通常記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域への録画を停止します。

② アラーム記録領域の「上書き記録」の選択をする

入：アラーム記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域の最初から上書き録画します。

切：アラーム記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域への録画を停止します。

③ ディスク残量警告

ハードディスクの記録残量が指定した残量になると**残量警告ランプ**が点滅します。

各記録領域の「上書き記録」を「切」に切り換えると、「ディスク残量警告」が「**」から「1%」に切り換わり、ディスクの上書き記録が禁止されます。

選択項目：1%、2%、・・・9%、10%

******：上書き記録可

④ 記録保存制限

通常記録領域またはアラーム記録領域に録画した映像の保存期間を設定できます。保存期間を過ぎると映像は自動的に消去されます。

必要な映像はバックアップ領域またはコンパクトフラッシュカードなどに保存してください。

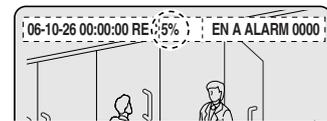
選択項目：切、1、2、3・・・98、99日

■ ディスク残量警告について

(モニター：操作表示部)

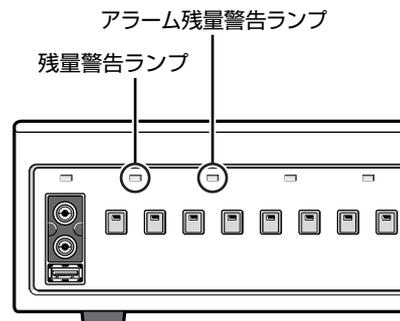
上書き記録が「切」のときは、録画中の操作表示部の表示は残量表示に切り換わります。

06-10-26 02:20:20 REC:REPEAT → 5%



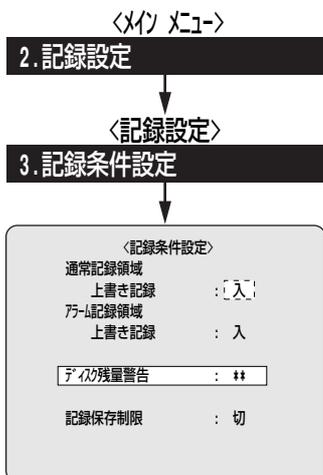
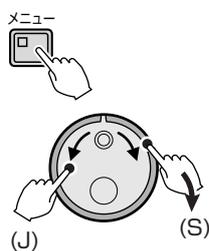
(本機)

例えば、残量表示を5%に指定した場合は、5%以下になると下記の警告ランプが点滅します。容量が完全になくなると、点滅から点灯になり録画を停止します。



C-1 記録領域の上書き記録設定

- 1 「記録設定画面の表示のしかた」で<記録条件設定>画面を表示させる (P38)

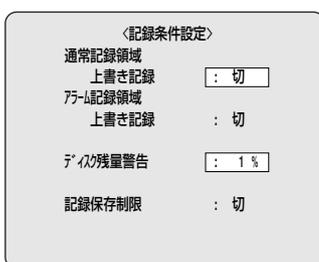
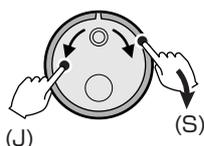


- 2 Jダイヤルを回して通常記録領域またはアラーム記録領域の「上書き記録」を選択し、Sダイヤルを右に回す

- 3 Jダイヤルを回して「切」を選択し、Sダイヤルを右に回す

「ディスク残量警告」が「**」から「1%」表示になり、ディスクの上書き記録が禁止されます。

通常記録領域またはアラーム記録領域のどちらかのディスクの残容量が1%になると、本機前面の残量警告ランプが点滅します。



- 4 ディスク残量警告の割合を変更する

- ① Jダイヤルを回して「ディスク残量警告」を選択し、Sダイヤルを右に回す
- ② Jダイヤルを回して残量表示 (例：5%) を選択し、Sダイヤルを右に回す
「記録保存制限」にカーソルが移動します。
選択項目：1%、2%・・・9%、10%

- 5 終了するときは、終了/画面表示ボタンを押す



C-2 記録領域の保存期間の設定

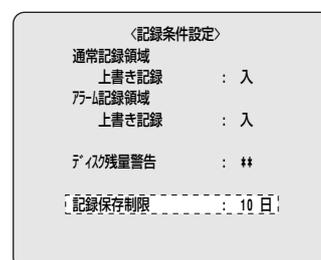
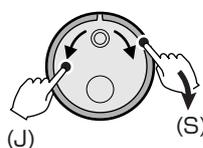
通常記録領域や、アラーム記録領域は保存期間を過ぎると映像は自動的に消えますので、必ず記録保存制限日を確認してください。

- 1 Jダイヤルを回して「記録保存制限」を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「切」に移動します。

- 2 Jダイヤルを回して保存期間 (例：10) を選択し、Sダイヤルを右に回す

- バックアップ領域は記録保存制限になっても映像は消去されません。

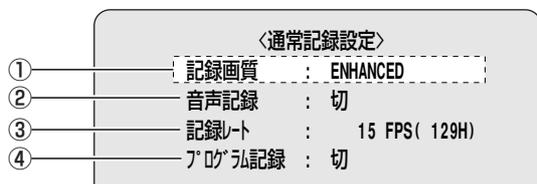


- 3 終了するときは、終了/画面表示ボタンを押す



D 通常記録設定のメニュー説明

通常記録領域の画質、音声記録、記録レートの設定ができます。さらに、プログラム記録では、グループ毎に設定した記録レートで録画されます。(P50)



① 記録画質

通常記録領域に記録する画質の選択ができます。画質の種類を選択すると、記録時間が変わります。

選択項目：

- BASIC：ラフ画像(BA)/15kB
- NORMAL：標準画質(NO)/22kB
- ENHANCED：準高画質(EN)/30kB
- FINE：高画質(FI)/42kB
- SUPER FINE：最高画質(SF)/50kB

② 音声記録

- 音声記録を“入”に切り換えると、記録レートの前に音声記録表示“A”を表示します。全カメラの記録レートの合計がA60からA1FPSの範囲のときに音声の記録ができます。
- 音声は記録したときと同じ速度の場合のみ再生されます。映像と音声の再生には若干のずれが発生します。

③ 記録レート

記録レートはプリアラーム記録やミラーリングの設定によって制限されます。(P85～P87)

④ プログラム記録 (P48)

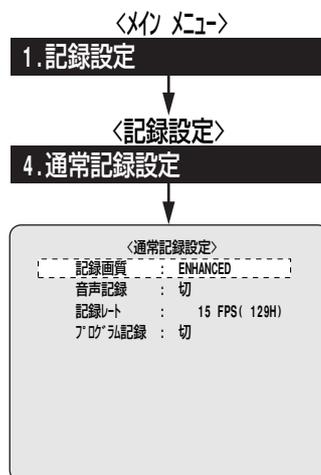
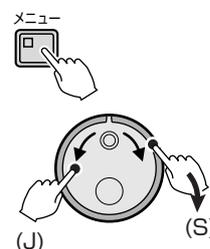
プログラム記録でグループ毎 (P-1～P-4) に録画したいライブ映像を指定して録画できます。グループを選択後、プログラム設定でグループを設定してください。

選択項目：切/P-1/P-2/P-3/P-4

D-1 通常記録領域の設定

- 1 「記録設定画面の表示のしかた」で<通常記録設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

記録画質の“ENHANCED”が点滅します。



- 2 Jダイヤルを回して記録画質 (例：FINE) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

「音声記録」の“切”が点滅します。

- 3 Jダイヤルを回して音声記録 (例：入) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

音声記録表示“A”が表示し、記録レート値が点滅します。

- 4 Jダイヤルを回して記録レート (例：7.5) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

「プログラム記録」の“切”が点滅します。

■ プログラム記録を設定する場合は

Jダイヤルを回してプログラム記録 (例：P-1) を選択し、Sダイヤルを右に回す

「記録レート」は***になります。

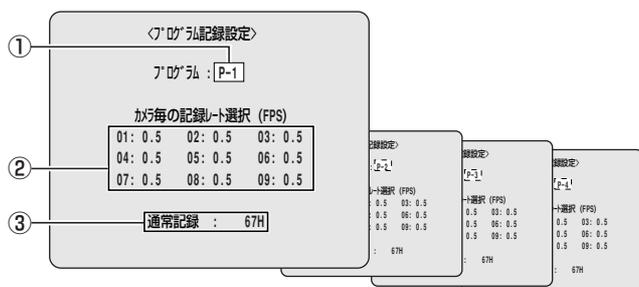
- 5 終了するときは、終了/画面表示ボタンを押す



E プログラム記録設定画面のメニュー説明

プログラム設定は、録画したいライブ映像をグループ (P-1、2、3、4) 毎に設定できます。各グループで録画する、または録画しないカメラを選択し、記録レートを設定することができます。

設定後は<通常記録設定>の「プログラム記録」でプログラム番号 (P-1~P-4) を設定します。



① プログラム番号

プログラム番号を選択できます。

選択項目 : P-1、P-2、P-3、P-4

② カメラ毎の記録レート選択

録画または録画しないカメラを選択し、記録レートを設定できます。

選択項目 : 30/15/7.5/3.75/1.875/1/0.5/
0.333/0.25/0.2/0.1/0.05/0.033/切



記録レートはプリアラーム記録やミラーリングの設定によって制限されます。(P87)

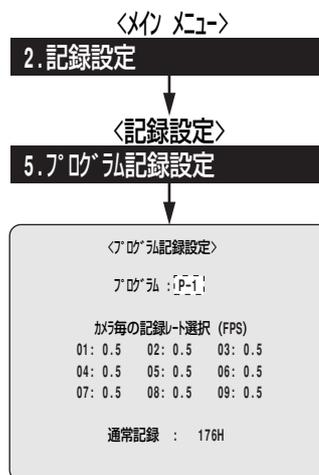
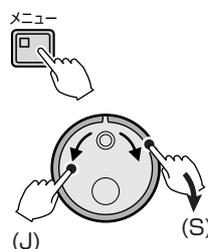
③ 通常記録

プログラム設定後に各グループの録画可能時間を表示します。

E-1 プログラム記録設定

- 1 「記録設定画面の表示のしかた」で<プログラム記録設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

“P-1” が点滅します。



- 2 Jダイヤルを回してプログラム番号 (例 : P-2) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

“0.5” が点滅します。

01: 0.5

- 3 Jダイヤルを回して、カメラ01 (例 : 7.5) を選択し、Sダイヤルを右に回す

- 4 Jダイヤルを回して、カメラ02を選択し、Sダイヤルを右に回す

- 5 Jダイヤルを回して、カメラ02 (例 : 15) を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順をくり返して、記録レートを選択してください。

01: 7.5 02: 15 03: 0.5 04: 0.5

通常記録に録画可能時間を表示し、カーソルがプログラムに移動します。

- 6 Jダイヤルを回して他のプログラム番号 (P-2~P-4) を選択し、録画するカメラの記録レートやプログラム記録などを設定させないカメラを設定する

- 7 終了するときは、終了/画面表示ボタンを押す



F タイマー設定のメニュー説明

タイマー機能を使用して、録画の開始や終了を設定できます。タイマー機能には、下記の方法があります。

①	②	③	④	⑤	⑥
曜日	開始	終了	プログラム	記録レート	入/切
[日]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
[月]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
[火]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
[水]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
[木]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
[金]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
[土]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
⑦ 毎日	--:--	--:--	切	15 FPS	切
⑧ 外部	*****	*****	切	15 FPS	切

- **曜日 (毎日、同時間、同記録レート) タイマー録画 (P50)**
日曜日から土曜日までの曜日を指定して、その日のみをタイマー録画する。
- **毎日 (24時間以上) のタイマー録画 (P51)**
- **外部タイマー (アラーム) 録画 (P52)**
外部タイマー端子からの信号を検知したときに映像を録画する。

① 曜日

タイマー設定をおこなう曜日を選択します。[日] から [土] までの曜日を点滅させると他の曜日に変更できます。24時間以上のタイマーを設定するときは、⑦の[土]と毎日を使用します。

選択項目：日/月/火/水/木/金/土/毎日

② 開始

タイマー録画の開始時間 (24時間制) を入力します。

③ 終了

タイマー録画の終了時間 (24時間制) を入力します。開始と終了の時間設定が24時を挟む場合は、終了時間の左側に「T」が表示されます。

④ プログラム

タイマー録画をするときに、プログラム番号 (P-1～P-4) を指定できます。(P51)

選択項目：切/P-1/P-2/P-3/P-4



⑤ 記録レート

タイマー録画時の記録レートの変更ができます。プログラム設定をおこなっている場合は、記録レートが選択されていますので、記録レートの入力はできません。

⑥ 入/切

タイマー設定の入切を選択します。

⑦ [土]/毎日

タイマー設定を24時間以上おこなうときに使用します。

⑧ 外部

後面部の「外部タイマー入力」端子に入力信号が検知 (パルス幅 1 秒以上) されると、ライブ映像を通常記録領域に録画します。

■ タイマー録画について

- 画質や音声記録の記録は、<通常記録設定>で設定した設定値になります。
- 音声記録をおこなう場合は、「記録レート」を1FPS以上に設定してください。

■ タイマー設定が重なった場合

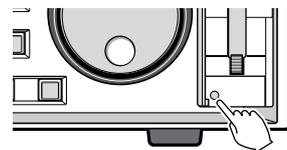
各曜日の予約 → 毎日予約 → 外部入力の順で録画します。

■ 各曜日、毎日が重なった場合

開始時間の早い方を優先して録画します。開始時間が同じ場合は、メニュー設定の上位を優先します。

■ タイマー予約の削除

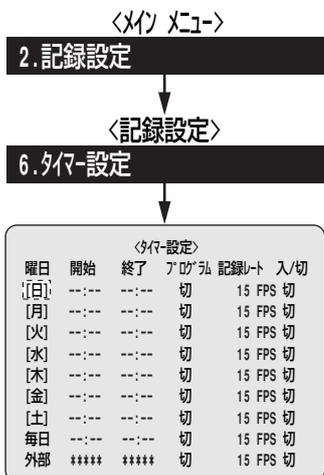
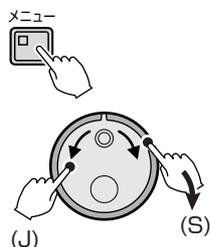
タイマー設定のメニューを表示している状態で、前面部のメニューリセットボタンを押してください。



F-1 曜日（毎日、同時間、同記録レート）毎のタイマー録画

1 「記録設定画面の表示のしかた」でくタイマー設定＞画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

曜日の「日」が点滅します。



2 タイマー録画を設定する

例： **毎日 08:30 18:30 切 1 FPS 入**

- 曜日：毎日を設定する
- 開始：午前8時30分に設定する
- 終了：午後6時30分に設定する
- 記録レート：1FPSに設定する
- 入/切：入に設定する

- Jダイヤルを回して「日」を「毎日」に設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の時間「--」が点滅します。
- Jダイヤルを回して「開始」を「08」に設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の分「--」が点滅します。
- Jダイヤルを回して「開始」を「30」に設定し、Sダイヤルを右に回す
終了の時間「--」が点滅します。
同じ手順をくり返し、タイマー録画設定例をおこなってください。
- Jダイヤルを回して「入/切」を「入」に設定し、Sダイヤルを右に回す
[月]の行へカーソルが移動します。

曜日	開始	終了	プログラム	記録レート	入/切
[日]	08:30	18:30	切	15 FPS	入
[月]	--:--	--:--	切	15 FPS	切
[火]	--:--	--:--	切	15 FPS	切

3 終了／画面表示ボタンを押す



4 タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯し、タイマー録画の待機状態になります。



- タイマー録画の指定した時間になると

録画/停止ランプが点灯し、操作表示部に“REC”を表示して録画を開始します。

- 録画/停止



- タイマー録画の終了時間になると

録画/停止ランプが消えて、録画を終了します。

- タイマー録画を途中で止めるときは

タイマー録画ボタンを押してください。録画を終了し、タイマー録画ランプも消えます。

- タイマー録画中に再生するには

「録画した映像を見る」を参照ください。(P18)

■ タイマー録画をプログラム設定する

タイマー録画を設定したあとで、プログラム設定をおこなう場合は、次のように設定してください。

例： **毎日 08:30 18:30 P-1 **** FPS 入**

1 Jダイヤルを回してプログラム（例：P-1）を選択して、Sダイヤルを右に回す

プログラム設定で任意に記録レートを設定していますので、記録レートは“****”となります。

選択項目：P-1、P-2、P-3、P-4

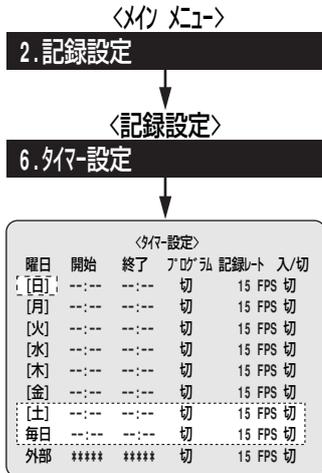
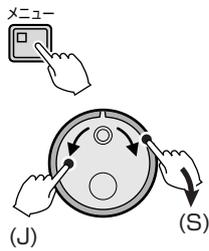
2 Jダイヤルを回して入/切（例：入）を選択して、Sダイヤルを右に回す

3 終了／画面表示ボタンを押す



F-2 毎日 (24時間以上) のタイマー録画

- 1** 「記録設定画面の表示のしかた」でくタイマー設定 > 画面を表示させる (P38)



- 2** タイマー録画を設定する

例: [月] 10:30 **:30 ** **** FPS **
 [水] **:30 20:30 切 5 FPS 入

- 曜日 (開始) : 月を設定する
- 曜日 (終了) : 水を設定する
- 開始 : 午前10時30分に設定する
- 終了 : 午後8時30分に設定する
- プログラム : 設定しない
- 記録レート : 5FPSに設定する
- 入/切 : 入に設定する

- ① Jダイヤルを回して[土]を選択し、Sダイヤルを右に回す
- ② Jダイヤルを回して[土]を“月”に設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の時間“--”が点滅します。
- ③ Jダイヤルを回して“10”を設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の分“--”が点滅します。
- ④ Jダイヤルを回して“30”を設定し、Sダイヤルを右に回す
終了の時間“--”が点滅します。
- ⑤ Jダイヤルを回して“**”を設定し、Sダイヤルを右に回す
終了時間以降が**となり、入力不可になります。
「毎日」のラインが自動的に[火]に設定されます。
- ⑥ Jダイヤルを回して“水”を設定し、Sダイヤルを右に回す
終了の時間“--”が点滅します。
- ⑦ Jダイヤルを回して“20”を設定し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返し、タイマー録画設定例をおこなってください。

- 3** 終了/画面表示ボタンを押す



- 4** タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯し、タイマー録画の待機状態になります。



- タイマー録画指定した時間になると
録画/停止ランプが点灯し、操作表示部に“REC”を表示して録画を開始します。



- タイマー録画の終了時間になると
録画/停止ランプが消えて、録画を終了します。
- タイマー録画を途中で止めるときは
タイマー録画ボタンを押してください。録画を終了し、タイマー録画ランプも消えます。
- タイマー録画中に再生するには
「録画した映像を見る」を参照ください。(P18)

■ タイマー録画をプログラム設定する

タイマー録画を設定したあとで、プログラム設定をおこなう場合は、次のように設定してください。

例: [火] **:30 20:30 P-1 **** FPS 入

- 1** Jダイヤルを回してプログラム (例: P-1) を選択して、Sダイヤルを右に回す

プログラム設定で任意に記録レートを設定していますので、記録レートは“****”となります。

選択項目: P-1、P-2、P-3、P-4

- 2** Jダイヤルを回して入/切 (例: 入) を選択して、Sダイヤルを右に回す

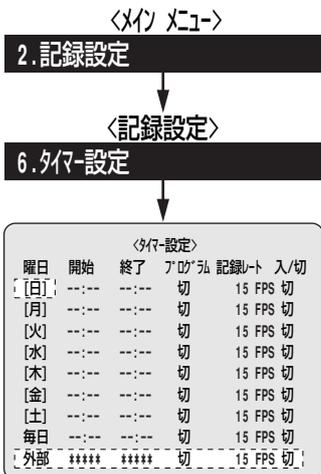
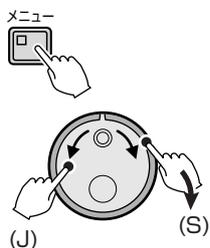
- 3** 終了/画面表示ボタンを押す



F-3 外部タイマー（アラーム）録画

1 後面部の外部タイマー入力端子に、外部タイマー用の部品などを接続する（図1）

2 「記録設定画面の表示のしかた」で<タイマー設定>画面を表示させる（P38）



3 タイマー録画を設定する

例：外部 ***** ***** 切 5 FPS 入

- プログラム：設定しない（切）
- 記録レート：5FPSに設定する
- 入/切：入に設定する

- ① Jダイヤルを回して「外部」を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「記録レート」の「15」が点滅します。
- ② Jダイヤルを回して「5」を設定し、Sダイヤルを右に回す
「入/切」の「切」が点滅します。
- ③ Jダイヤルを回して「入」を設定し、Sダイヤルを右に回す

4 終了／画面表示ボタンを押す



5 タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯し、タイマー録画の待機状態になります。



- タイマー録画を途中で止めるときは
タイマー録画ボタンを押してください。録画を終了し、タイマー録画ランプも消えます。
- タイマー録画中に再生するには
「録画した映像を見る」を参照ください。（P18）

■ タイマー録画をプログラム設定する

タイマー録画を設定したあとで、プログラム設定をおこなう場合は、次のように設定してください。

例：外部 ***** ***** P-1 **** FPS 入

1 Jダイヤルを回してプログラム（例：P-1）を選択して、Sダイヤルを右に回す

プログラム設定で任意に記録レートを設定しておりますので、記録レートは*****となります。

選択項目：P-1、P-2、P-3、P-4

2 Jダイヤルを回して入/切（例：入）を選択して、Sダイヤルを右に回す

3 終了／画面表示ボタンを押す

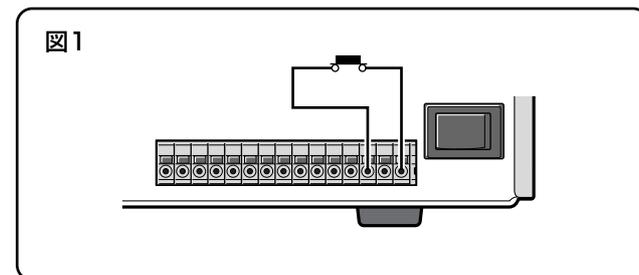
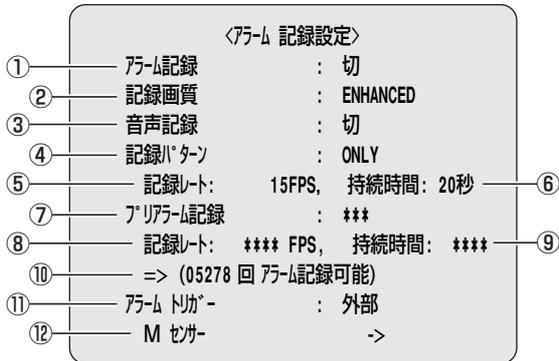


図1

G アラーム記録設定のメニュー説明

アラーム記録設定には次の設定があります。



● アラーム記録 (P54)

アラーム検出時に、アラーム記録領域の画質、音声記録、記録レートの設定をおこなう。

● プリアラーム記録 (P55)

プリアラーム時の記録レート、持続時間の設定をおこなう。

● アラームトリガー (P55)

アラームの検出方法を選択します。

● M (モーション) センサー (P57)

① アラーム記録

アラーム録画の入切の設定と、タイマー録画中などにアラーム録画をおこなうかを選択します。

“切”を選択した場合は、他の設定はできません。

選択項目：

切：アラーム録画をおこなわない。

入：タイマー録画に関係なく、常時アラーム録画をおこなう。

タイマー中アラーム：

タイマー録画中のみアラーム録画をおこなう。

タイマー外アラーム：

タイマー録画中以外のアラーム録画をおこなう。

タイマー中アラームのみ：

タイマー設定で設定した時間中のみアラーム録画をおこなう。本項目を選択した場合は、タイマー録画はできなくなり、タイマー録画ボタンの操作はできなくなります。

② 記録画質

画質を選択できます。

選択項目：

BASIC/NORMAL/ENHANCED/FINE/SUPER FINE

③ 音声記録

音声記録を入切できます。

音声記録は記録レートの30から1 FPSの範囲で設定可能です。その場合は記録レートの最初に**A**を表示します。音声はアラーム記録領域にも記録されるため記録容量は少なくなります。

記録レートの音声記録可能範囲外を選択した場合は、音声記録は記録されません。

④ 記録パターン

選択項目：

ONLY：アラームが入ったライブ映像のみを録画する。

SW：アラームが入ったライブ映像と接続されているすべてのライブ映像を交互に録画する。

⑤ 記録レート

下記のから選択できます。

選択項目：

30/20/15/10/7.5/6/5/4.286/3.75/3.333/3/2.727/2.308/2/1.667/1.429/1.25/1.111/1/0.5/0.333/0.25/0.2/0.1/0.05/0.033
音声記録は30から1 FPSの範囲で設定可能です。

⑥ 持続時間

アラーム1回当たりの記録時間を次から選択できます。

選択項目：

5秒/10/20/40/1分/2/3/4/5/10/15/CC
CC：1つのアラームが入っている期間に動作(最短5秒)します。

⑦ プリアラーム記録

切：プリアラーム録画をおこなわない

入：プリアラーム録画をおこなう

⑧ 記録レート

記録レート設定のプリアラーム録画時間を参照ください。(P87)

⑨ 持続時間

プリアラーム録画時間を参照ください。(P87)

⑩ アラーム記録可能回数

⑪ アラームトリガー

アラーム検出方法を次から選択できます。

外部：外部アラームが入ったときにアラーム録画する。

Mセンサー：

モーションセンサーが動きを検知したときアラーム録画する。(P57)

外部 AND Mセンサー：

外部アラームとモーションセンサーの両方が同時に検知するとアラーム録画する。

外部 OR Mセンサー：

外部アラームとモーションセンサーのどちらかを検知するとアラーム録画する。

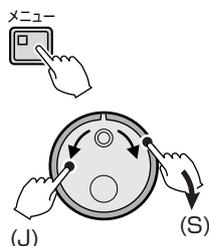
⑫ Mセンサー

モーションセンサーの設定画面を表示します。

G-1 アラーム記録設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」でくアラーム記録設定画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

「アラーム記録」の“切”が点滅します。



2 アラーム記録を設定する

- Jダイヤルを回してアラーム記録項目を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
 選択項目: 切/入/タイマー中アラーム/タイマー外アラーム/タイマー中アラームのみ

- Jダイヤルを回して記録画質を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
 アラーム記録可能回数(=>)を表示(目安)します。
 選択項目: BASIC/NORMAL/ENHANCED/FINE/SUPERFINE

=> (01387 回 アラーム記録可能)

- Jダイヤルを回して音声記録を“入”に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
 記録レートに“A(音声記録表示)”とアラーム記録可能回数(=>)を表示します。

記録レート: A 15FPS, 持続時間: 20秒

=> (01431 回 アラーム記録可能)

- Jダイヤルを回して記録パターンを選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
 選択項目: ONLY/SW

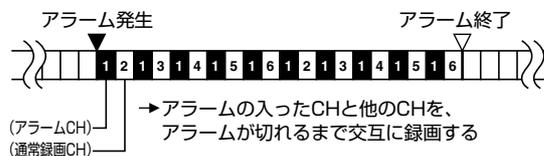
ONLYを選択した場合

アラームが入ったライブ映像のみ、アラームが解除されるまで録画します。



SWを選択した場合

アラームが入ったライブ映像と接続されているすべてのライブ映像を交互に録画します。

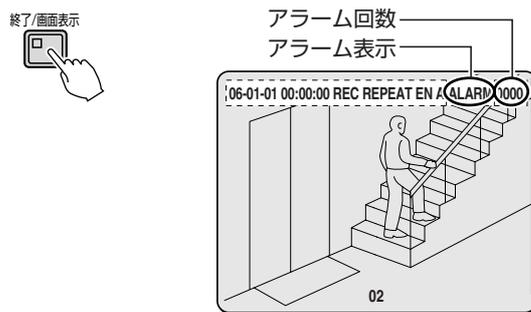


- Jダイヤルを回して記録レートを“5”に選択し、Sダイヤルを右に回す
 同じ手順で持続時間も選択してください。

3 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

- 操作表示部には“ALARM”とアラーム記録回数が表示されます。
- アラームを検知すると、“ALARM”表示が点滅します。

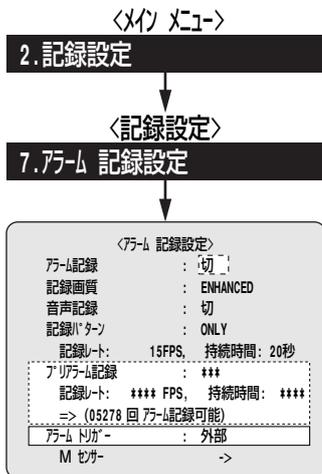
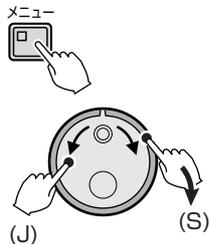


- 接続時間内に同じチャンネルに続けてアラームを検知した場合は、アラームトリガー設定で1つのアラームとしてカウントします。(P58)

G-2 プリアラーム記録設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」でくアラーム記録設定画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

「アラーム記録」の“切”が点滅します。



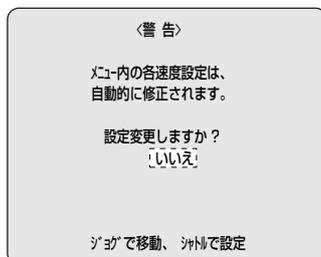
2 プリアラーム記録を設定する

- Jダイヤルを回してアラーム記録を“入”に選択し、Sダイヤルを右に回す
「プリアラーム記録」の“***”が“切”に切り換わります。

プリアラーム記録 : 切

- Jダイヤルを回してプリアラーム記録を選択し、Sダイヤルを右に回す
「プリアラーム記録」の“切”が点滅します。
- Jダイヤルを回してプリアラーム記録を“入”に選択し、Sダイヤルを右に回す
「記録レート」と「持続時間」の“****”が数値に変わり、<警告>画面を表示し、“いいえ”が点滅します。

記録レート : A 15FPS, 持続時間: 1分



- Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す
カーソルが「記録レート」に移動します。
- Sダイヤルを右に回す

- Jダイヤルを回して記録レート (例: 7.5) を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順で持続時間 (例: 20) も選択してください。
アラーム記録可能回数 (=) を表示 (目安) します。

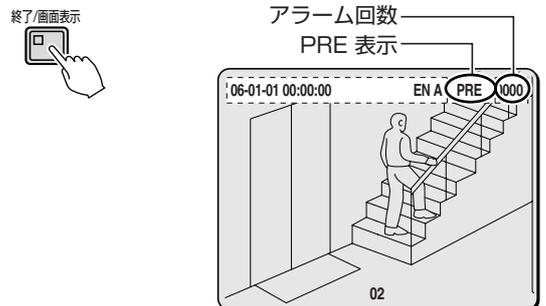
記録レート : A 7.5FPS, 持続時間: 20秒

=> (00694回 アラーム記録可能)

3 終了/画面表示ボタンを押す

操作表示部には“PRE”が表示されます。

アラームを検知すると、“ALARM”表示が点滅します。



G-3 アラームトリガーの設定

1 Jダイヤルを回してアラームトリガーを選択し、Sダイヤルを右に回す

“外部”が点滅します。

選択項目: 外部/Mセンサー/
外部 AND Mセンサー/
外部 OR Mセンサー

アラームトリガー : 外部

2 Jダイヤルを回して“外部”を選択し、Sダイヤルを右に回す

3 終了/画面表示ボタンを押す



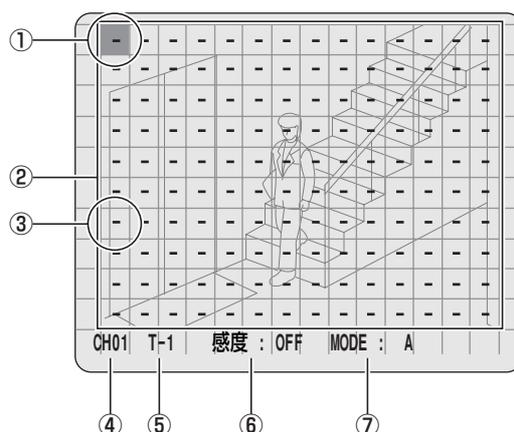
■ 外部アラームの対象入力信号について

後面のアラーム入力端子のスイッチ開閉により検出した場合と同軸重畳カメラからの同軸アラーム信号です。

G-4 モーションセンサーの説明

各ライブ映像上にモーションセンサーを設定し、侵入者などの動く被写体を検知するとアラームを鳴らすことができます。

モーションセンサーは、画面上の輝度変化によって動きを検知します。センサーを設定する場合は、映像を検知する場所や対象物に合わせた感度設定をおこなってください。



- ① **カーソル**
初期状態は左上部に表示します。Jダイヤルで左右へ移動できます。
- ② **センサー設定範囲**
この範囲内の映像にモーションセンサーの検知ができます。
- ③ **モーションセンサー**
検知箇所によりセンサーの種類を選択できます。Jダイヤルで変更できます。
- : センサーを切る
A : センサーAで検出する
B : センサーBで検出する
- ④ **カメラ番号表示 (CH01)**
モーションセンサーを設定するカメラ番号を選択します。カメラ選択ボタンを押すと切り換わります。
選択項目 : EDR-F920 CH01/CH02・・・CH08/CH09
EDR-F620・・・・・・CH05/CH06
- ⑤ **時刻周期 (T-1)**
本機は時間帯を時刻周期Aと時刻周期Bの2ブロックで設定でき、時間帯毎にセンサー設定ができます。時刻周期の設定を参照ください。(P36)
選択項目 : T-1/ T-2/ T-3/ T-4

時刻周期設定				
時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	00:00	00:00	00:00	00:00
時刻周期 B	00:00	00:00	00:00	00:00
時刻周期を選択				
自動切換	時刻周期 A			
マク	時刻周期 A			
モーションセンサー	時刻周期 A			

- ⑥ **感度**
モーションセンサーの感度を設定します。
OFF : 感度の設定をしない。
1 (高感度) ~ 10 : 感度を選択する。

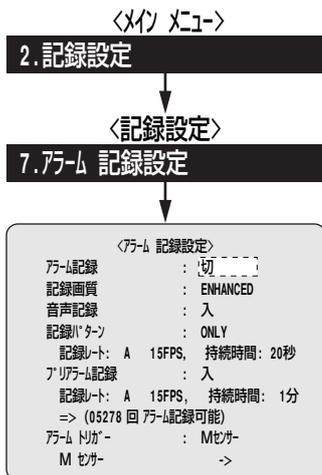
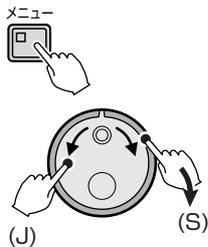
- ④ **モーションセンサーの感度チェック**
センサーが動きを検知すると、センサー(■)が緑色から赤色に変わり、ブザー<ピップ音>が鳴ります。感度の設定を高くすると、少しの光の変化にも反応しやすくなりますので、設定する場所に合わせて設定してください。
- ④ **モーションセンサーの録画を止める**
録画中に<アラーム記録設定>画面を表示させ、カーソルを「Mセンサー」に合わせてSダイヤルを右に回すと、モーションセンサー画面を表示しますので、選択中のカメラ選択ボタンを押して、「感度」を“OFF”にしてください。
- ⑦ **MODE**
モーションセンサーの検知方法を設定します。
選択項目 :
A : この表示の箇所で動きのある被写体を検知する
B : この表示の箇所で動きのある被写体を検知する
A AND B :
AとBとを設定した箇所で同時に動きのある被写体を検知する
A AND NB :
動きのある被写体をA、動きのない被写体をBに設定しておくと、同時に検出するような明るさの変化などには反応せずに、動きのあるAの被写体のみを検知する
A TO B :
AからBに通過する被写体を検知する (AとB間は2秒以内)
B TO A :
BからAに通過する被写体を検知する (BとA間は2秒以内)
C :
画面全体が均等な状態に変化した (スプレーなどのいたずら) 場合に検知する。モーションセンサー設定は必要ありません。

G-5 モーションセンサー設定

1 <時刻周期設定>で“時刻周期A”と“時刻周期B”の設定をおこなう (P36)

2 「記録設定画面の表示のしかた」で<アラーム記録設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

「アラーム記録」の“切”が点滅します。



3 Mセンサー画面を表示させる

① Jダイヤルを回してアラーム記録を“入”に選択し、Sダイヤルを右に回す

② Jダイヤルを回して“アラームトリガー”を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが“Mセンサー”に移動します。

選択項目: 外部/Mセンサー/
外部 AND Mセンサー/
外部 OR Mセンサー

③ Jダイヤルを回して“Mセンサー”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
モーションセンサー画面を表示します。

4 モーションセンサーを設定する

例: ●カメラ番号選択: 3チャンネル (CH03)

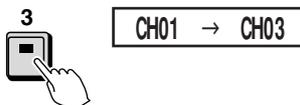
●時刻周期A: T-1

●感度: 2

●MODE (検出方法): A AND B

① カメラ選択ボタン3を押す

チャンネル表示が“CH03”になります。



② Jダイヤルを回してセンサーを設定したい位置にカーソルを移動させ、Sダイヤルを右に回す

③ Jダイヤルを回してセンサーを“A”に設定し、Sダイヤルを右に回す

Aを確定して、カーソルが右に1つ移動します。同じ手順でカーソルを移動させ、センサーを“A”または“B”に設定してください。

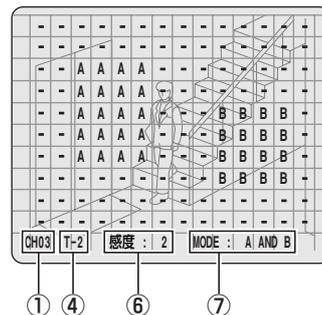


④ Jダイヤルを回してカーソルを時刻周期選択の“T-1”に移動させ、Sダイヤルを右に回す
“T-1”が点滅します。

⑤ Jダイヤルを回して“T-2”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「感度」の“OFF”が点滅します。

⑥ Jダイヤルを回して“感度”を“2”に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「MODE」の“A”が点滅します。

⑦ Jダイヤルを回して“MODE”の“A AND B”を選択し、Sダイヤルを右に回す
検知設定が確定され、カーソルが左上に移動します。

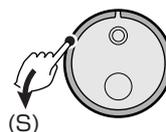


5 同じ手順で次の項目を設定する

- カメラ番号選択
- 時刻周期
- 感度
- MODE

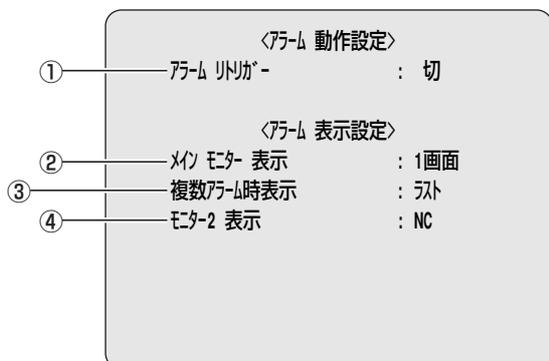
6 終了するときには、Sダイヤルを左に回す

<アラーム記録設定>画面に戻ります。



H アラーム動作/表示設定のメニュー説明

この設定では、アラーム録画時の持続時間の延長とアラーム時の表示方法を設定します。

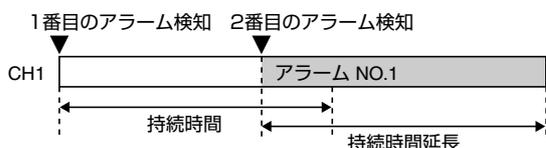


① アラームリトリガー

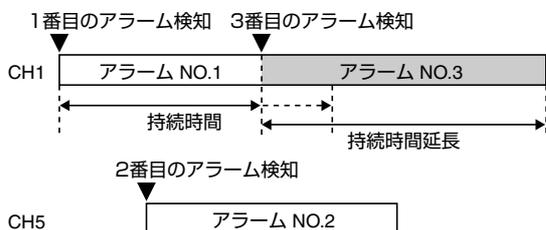
アラーム録画中に同じチャンネルにアラームを受けたときに、持続時間の延長あるいは、延長しないを選択できます。

「入」を選択した場合

(1) アラーム録画中に、同じチャンネルで2番目のアラームを検知した場合は、2番目のアラームを検知した時点から、設定している持続時間分の記録時間を延長します。



(2) アラーム1の持続時間中に、他のチャンネルで2番目のアラームが発生し、更に1番目のアラームと同じチャンネルで3番目のアラームが発生した場合は、3番目のアラームが発生した時点で、持続時間分の記録を延長します。
他のチャンネル (CH5) の場合は、設定している持続時間分で記録します。

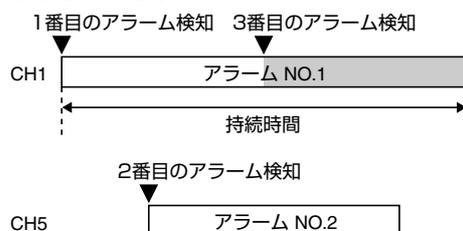


「切」を選択した場合

(1) 設定している持続時間内に同じチャンネルで発生したアラームは認識されません。但し、1番目のアラーム持続時間終了後に、同じチャンネルに2番目のアラームが発生した場合は、認識され記録されます。



(2) アラーム1の持続時間中に、他のチャンネルで2番目のアラームが発生し、更に1番目のアラームと同じチャンネルで3番目のアラームが発生した場合は、3番目のアラームは認識されません。但し、1番目のアラーム持続時間終了後に同じチャンネルに3番目のアラームが発生した場合は、認識され記録されます。他のチャンネル (CH5) の場合は、設定している持続時間分で記録します。



② メインモニター表示

アラームを検知したときに表示する画面を選択できます。
NC：アラームを検知しても、メインモニターは変化しません。

- 1画面：アラームを検出すると、メインモニターはアラームを受けたチャンネルの映像を1画面にする。
- 6画面：アラームを検出すると、メインモニター画面を6画面にする。(EDR-F620)
- 9画面：アラームを検出すると、メインモニター画面を9画面にする。(EDR-F920)

③ 複数アラーム時表示

複数のアラームが重なったときに、アラームを表示する優先権を選択できます。

- ラスト：複数のアラームが重なったとき、後から検知したアラームを優先して表示する。
- トップ：複数のアラームが重なったとき、最初に検知したアラームのみを表示し、後から検知したアラームは表示しない。
ただし、最初に検知したアラームの持続時間が超過すると、持続時間の残っているアラームでアラーム回数の若いアラームを表示する。
- 切換：複数のアラームが重なったとき、重なったアラームを1秒間隔で切り換えて表示する。

④ モニター2表示

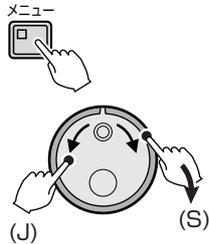
アラーム時にモニター2に接続したモニターにアラーム映像を表示させるかを選択できます。
NC：アラームを検知しても、モニター2にアラーム映像を表示しない。

- 切換：複数のアラームが重なったとき、重なったアラームを1秒間隔で切り換えて表示する。
- ラスト：複数のアラームが重なったとき、後から検知したアラームを優先して表示する。
- トップ：複数のアラームが重なったとき、最初に検知したアラームのみを表示し、後から検知したアラームは表示しない。
ただし、最初に検知したアラームの持続時間が超過すると、持続時間の残っているアラームでアラーム回数の若いアラームを表示する。

H-1 アラーム動作設定

- 1 「記録設定画面の表示のしかた」でくアラーム動作設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

「アラームトリガー」の“切”が点滅します。



- 2 Jダイヤルを回してアラームトリガー (例：入) を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「メインモニター表示」へ移動します。

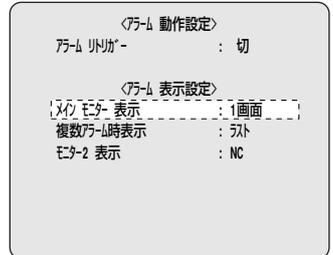
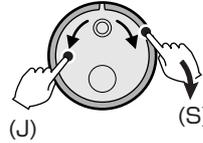
- 3 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す
通常の画面に戻ります。



H-2 アラーム表示設定

- 1 Jダイヤルを回してメインモニター表示を選択し、Sダイヤルを右に回す

「メインモニター表示」の“1画面”が点滅します。



- 2 Jダイヤルを回してメインモニター表示 (例：1画面) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

選択項目：1画面/9画面/NC (EDR-F920)
1画面/6画面/NC (EDR-F620)

「複数アラーム時表示」の“ラスト”が点滅します。

- 3 Jダイヤルを回して複数アラーム時表示 (例：トップ) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

選択項目：ラスト/トップ/切換

「モニター2表示」の“NC”が点滅します。

- 4 Jダイヤルを回してモニター2表示 (例：ラスト) を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目：NC/切換/ラスト/トップ

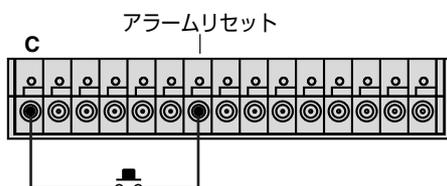
カーソルが「アラームリトリガー」へ移動します。

- 5 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す
通常の画面に戻ります。



■アラームを解除する

- アラーム動作中に強制的にアラーム解除する場合
アラームの入ったチャンネルのカメラ選択ボタンを約3秒間押す。
- アラーム検出時にスイッチで解除する場合
後面部のアラームリセット端子とC (アース) 間にスイッチを設置し、アラーム検出時にスイッチを入れる。



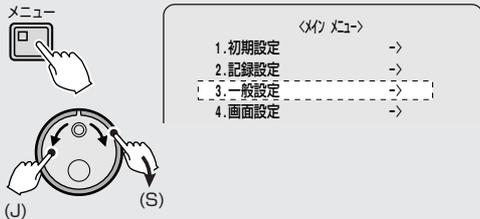
一般設定

メニュー構成

■ 一般設定画面の表示のしかた

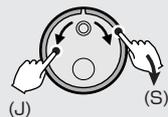
- 1** メニューボタンを押してJダイヤルで「3.一般設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す

<一般設定>画面が表示します。



- 2** Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す

選択した画面 (A~G) が表示されますので、設定は各項のページを参照してください。



<一般設定>

- 1. データ表示/VIDEO LOSS設定 ->
- 2. ブザー設定 ->
- 3. セキュリティロック設定 ->
- 4. ハードディスク設定 ->
- 5. ネットワーク設定 ->
- 6. RS-485 設定 ->
- 7. カメラコントロール設定 ->

ジョグで移動、ダイヤルで選択

<データ表示設定>

- 日付 : 入
- 時刻 : 入
- 記録画質 : 入
- 音声 : 入
- フレーム回数 : 入
- フレームサイズ : 入
- タイトル : 入
- <VIDEO LOSS設定>
- VIDEO LOSS : 入
- 出力選択 : 録画停止

A データ表示設定/ VIDEO LOSS設定 (P61)

<ブザー設定>

- フレーム入力 : 切
- ディスク残量警告 : 入
- ディスクエラー : 入
- ディスク警告 : 入
- キー : 切
- 録画停止 : 切

B ブザー設定 (P62)

<セキュリティロック設定>

- レベル : ハード (4-8) 入/切
- 管理者 : 0000 切
- 使用者 : 切
- 記録操作権限 : 管理者
- カメラコントロール権限 : 管理者

C セキュリティー ロック設定 (P63)

<ハードディスク設定>

- ディスク 1 : 250GB
- ディスク 2 : ---GB
- 初期化 : ->

警告 : 記録済み情報は全て消去されます

- ミラリング : 切
- 再生用ディスク : ***

注意 : ミラリングを入にすると
記録可能速度が制限されます。

D ハードディスク設定 (P67)

<ネットワーク設定>

- ネットワーク操作 : 切
- 接続表示 : 入
- IPアドレス : 192.168. 0. 1
- サブネットワーク : 255.255.255. 0
- ゲートウェイ : 0. 0. 0. 0
- ポート : 00080
- ID : ハード (4-8)
- ID1 : 1111----
- ID2 : 2222----
- ID3 : 3333----

E ネットワーク設定 (P68)

G カメラコントロール 設定 (P70)

<カメラコントロール設定>

- 1. フォトリフレクト設定 ->
- 2. フレーム記録連動設定 ->

<RS-485 設定>

- データレート : 19200
- ステータス : 切
- フレーム : 切
- アドレス : 001

F RS-485設定 (P69)

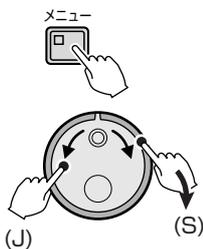
A データ表示設定/VIDEO LOSS設定

画面の操作表示部に日付、時刻などを表示させる設定です。通常はすべてを表示させていますので、必要に応じて非表示にしてください。

また、ライブ映像が不慮の事故などで途切れたときに、画面に“VIDEO LOSS”を表示させたり、後面のコントロール端子に取り付けたランプなどで異常時の確認ができます。

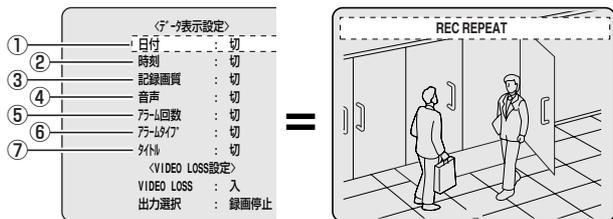
1 「一般設定画面の表示のしかた」でデータ表示設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)

「日付」の“入”が点滅します。

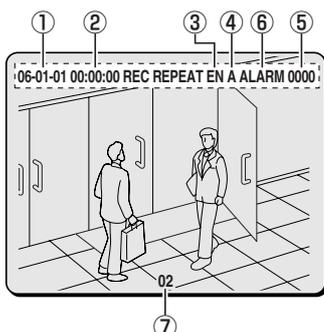


2 Jダイヤルを回して日付(例:切)を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順で非表示にする項を“切”に設定してください。



“入”に設定後の操作表示部

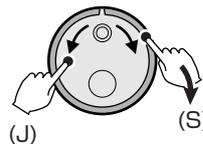


3 Jダイヤルを回して“VIDEO LOSS”を選択し、Sダイヤルを右に回す

“入”が点滅します。

通常は“VIDEO LOSS”を表示させる設定です。必要に応じてJダイヤルを回して、非表示(切)にしてください。

“切”を設定した場合は、出力選択は自動的に録画停止になり、カーソルは“出力選択”に移動できなくなります。



データ表示設定	
日付	: 入
時刻	: 入
記録画質	: 入
音声	: 入
フレーム回数	: 入
フレームサイズ	: 入
タイトル	: 入
VIDEO LOSS設定	
VIDEO LOSS	: 入
出力選択	: 録画停止

4 Sダイヤルを右に回す

カーソルが「出力選択」へ移動します。

5 Sダイヤルを右に回す

「出力選択」の“録画停止”が点滅します。

6 Jダイヤルを回して“録画停止”または“VIDEO LOSS”を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目:

録画停止: 録画が停止すると、コントロール端子の出力選択端子に信号を出力する。

VIDEO LOSS: ライブ映像が途切れると、コントロール端子の出力選択端子に信号を出力する。

7 終了/画面表示ボタンを押す



VIDEO LOSSを検出したときの解除

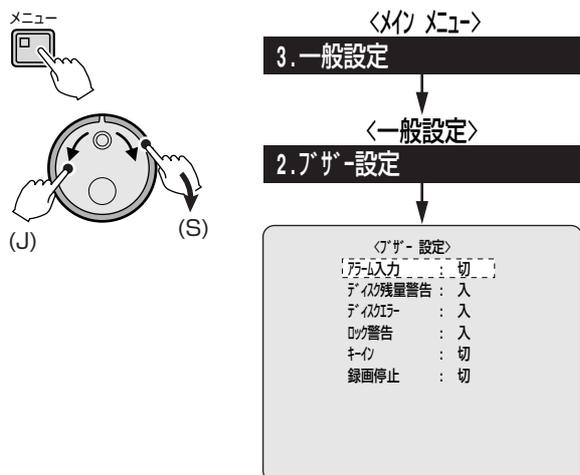
映像を入力する。または、映像を入力する必要がない場合は、VIDEO LOSSを検出したカメラ選択ボタンを押してから、再度、同じカメラ選択ボタンを約3秒間押す。

B ブザー表示

この設定は、ハードディスク容量の不足やアラーム時などに、警告をブザーで知らせる設定です。

1 「一般設定画面の表示のしかた」でくブザー設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)

「アラーム入力」の“切”が点滅します。



2 Jダイヤルを回してアラーム入力項目を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順で各項の設定を選択してください。

- **アラーム入力**
切：アラームが入ってもブザーは鳴らない
入：アラームが入るとブザーが鳴る
- **ディスク残量警告**
切：上書き禁止の状態で、ハードディスクの残量が不足してもブザーは鳴らない
入：上書き禁止の場合に、ハードディスクの残量が不足するとブザーが鳴る
- **ディスクエラー**
切：ハードディスクに異常が発生しても、ブザーは鳴らない
入：ハードディスクに異常が発生したときに、ブザーが鳴る
- **ロック警告**
切：セキュリティロック時にロックされたボタンを押しても、ブザーは鳴らない
入：セキュリティロック時にロックされたボタンを押すと、0.5秒程度の周期で2回ブザーが鳴る
- **キーイン**
切：前面部のボタンなどを押しても、ブザーは鳴らない
入：前面部のボタンなどを押すと、ブザーが鳴る

● **録画停止/VIDEO LOSS**

<VIDEO LOSS>設定の出力選択により表示内容が異なります。

録画停止の場合

- 切：録画を停止してもブザーは鳴らない
- 入：録画を停止するとブザーが鳴る

VIDEO LOSSの場合

- 切：カメラ映像が途切れてもブザーは鳴らない
- 入：カメラ映像が途切れるとブザーが鳴る

3 終了/画面表示ボタンを押す



☞ **ブザーを途中で止めたい場合**

何れかの操作ボタンを押す。または、SダイヤルやJダイヤルを回しても止まります。

C セキュリティーロック画面のメニュー説明

パスワードを設定することで、本機を操作できる人の制限や禁止をおこなうことができます。パスワードは、管理者と使用者ごとに設定できます。



① 管理者

管理者のパスワード（選択文字：0、1～9、A～Z）を入力します。セキュリティロックは「入/切」で設定します。

- パスワードは4文字から8文字で入力してください。
3文字以下を入力した場合は、入力したパスワードは取り消されますので、再度、入力をしてください。
- 「入/切」の設定で、“切”を選択した場合は、セキュリティロックの制限を必要としないので、「使用者」も自動的に「切」になりパスワード入力もできなくなります。
- セキュリティーロック状態で管理者のパスワードを入力すると、すべての操作ができます。ただし、ハードディスクの初期化やミラーリング（設定変更、記録領域設定、記録再開許可）などをおこなうと、再度、管理者のパスワード入力を要求されます。

② 使用者

使用者のパスワード（選択文字：0、1～9、A～Z）を入力します。セキュリティロックは「入/切」で設定します。

- パスワードは4文字から8文字で入力してください。
3文字以下を入力した場合は、入力したパスワードは取り消されますので、再度、入力をしてください。

③ 記録操作権限

記録操作の権限を設定します。

管理者：管理者のみ操作ができます。使用者は操作できません。

使用者：使用者も操作ができます。

④ カメラコントロール権限

ドームカメラなどの操作権限を設定します。

管理者：管理者のみ操作ができます。使用者は操作できません。

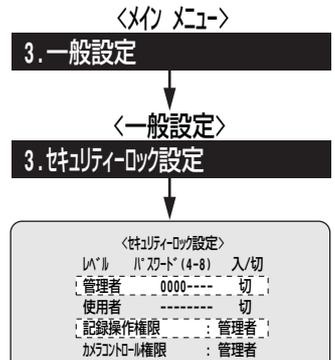
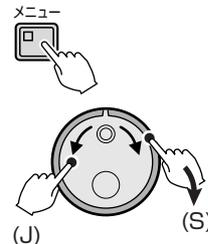
使用者：使用者も操作ができます。

C-1 本機を管理者と使用者でパスワードを設定する

パスワードを設定後の操作権限：P65参照

1 「一般設定画面の表示のしかた」で<セキュリティロック設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)

「管理者」の最初の“0”が点滅します。



2 管理者のパスワード (例：12345AB) に設定する

- ① Jダイヤルを回して“1”を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順でパスワードを入力してください。
カーソルが“切”に移動します。
- ② Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「使用者」のパスワード入力部が点滅します。



3 使用者のパスワード (例：AB12345) に設定する

- ① Jダイヤルを回して“A”を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順でパスワードを入力してください。
カーソルが“切”に移動します。
- ② Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「記録操作権限」の“管理者”が点滅します。



4 Jダイヤルを回して“管理者”または“使用者”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

カメラコントロール権限の“管理者”が点滅します。

5 Jダイヤルを回して“管理者”または“使用者”を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「管理者」に移動します。

6 終了/画面表示ボタンを押す

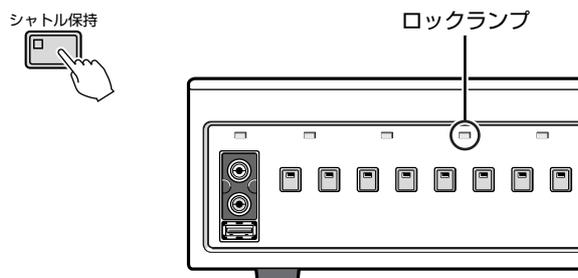


C-2 セキュリティーロックの設定

管理者または使用者レベルの設定が終了しましたら、セキュリティーロックの設定をおこなってください。

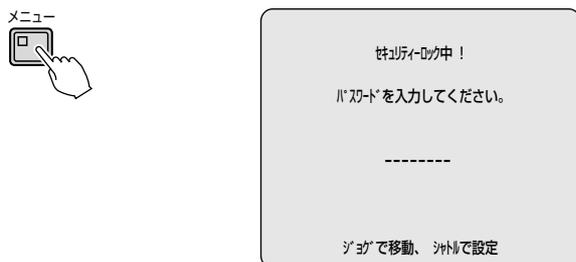
1 ライブ映像で、シャトル保持ボタンを約3秒間押す

前面部のロックランプが点灯して、ブザーが鳴り、セキュリティーロックが設定されました。



2 セキュリティーロックを確認するには、メニューボタンを押す

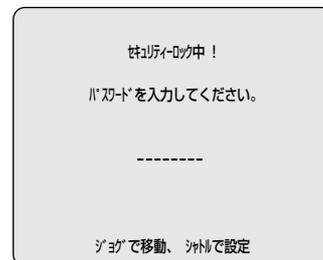
“セキュリティーロック中！”の画面が約5秒間表示後、ライブ映像に戻ります。



C-3 セキュリティーロックの解除

1 前面部のメニューボタンを押す

“セキュリティーロック中！”の画面が約5秒間表示されます。



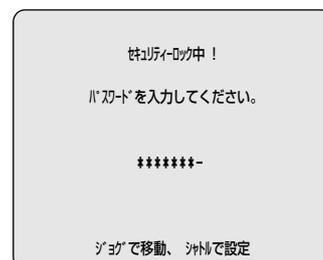
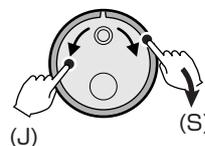
2 Jダイヤルを回して管理者または使用者レベルで設定したパスワードを入力し、Sダイヤルを右に回す

● 管理者：例12345AB

管理者のパスワードを入力した場合は、ロックランプが消え、セキュリティーロックが解除されます。画面は通常のライブ映像になります。

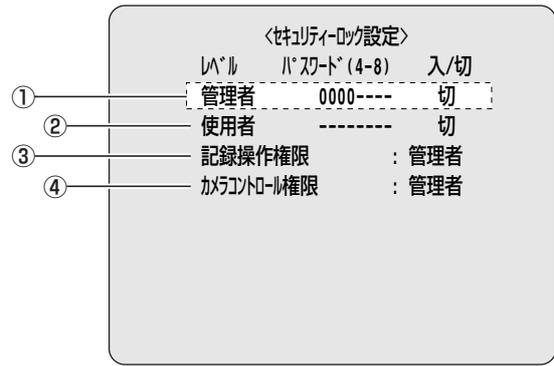
● 使用者：例AB12345

使用者のパスワードを入力した場合は、ロックランプが点灯のままで、セキュリティーロックは一部のみ解除されます。



一般設定

■ パスワード設定後の操作表



管理者、使用者が共に「入」の場合

- 入力するパスワードが管理者の場合は全操作可能
- パスワードが未入力の場合は全操作不可

設定項目	① 管理者	入			
	② 使用者	入			
	③ 記録操作権限	管理者	管理者	使用者	使用者
	④ カメラコントロール権限	管理者	使用者	管理者	使用者
入力するパスワード		使用者	使用者	使用者	使用者
操作内容	監視中 [カメラ選択]、[4画面表示]、[マルチ表示]、[モニタ2]、 [終了/画面表示]、[カメラ自動切換] ボタンの操作	○	○	○	○
	再生 [再生/停止]、[ズーム]、[サーチ]、[コピー]、[一時停止]、 [シャトル保持]、[アラーム] ボタンの操作 ジョグダイヤル/シャトルダイヤルの操作	○	○	○	○
	パンチルトズーム付カメラの操作	×	○	×	○
	記録 [録画/停止]、[タイマー録画] ボタンの操作	×	×	○	○
	メニュー [メニュー]、[メニューリセット] ボタンの操作	×	×	×	×

管理者「入」、使用者「切」の場合

- 入力するパスワードが管理者の場合は全操作可能
- 入力するパスワードが使用者は未入力（設定が切のため）

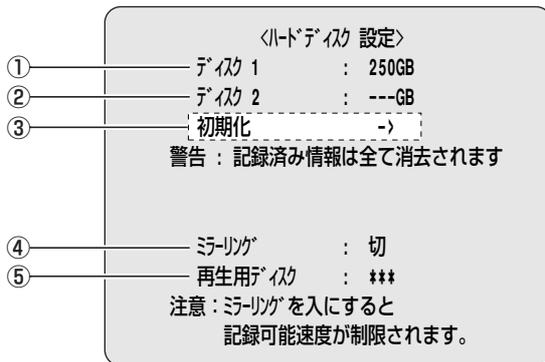
設定項目	① 管理者	入			
	② 使用者	切			
	③ 記録操作権限	管理者	管理者	使用者	使用者
	④ カメラコントロール権限	管理者	使用者	管理者	使用者
入力するパスワード		未入力	未入力	未入力	未入力
操作内容	監視中 [カメラ選択]、[4画面表示]、[マルチ表示]、[モニタ2]、 [終了/画面表示]、[カメラ自動切換] ボタンの操作	○	○	○	○
	再生 [再生/停止]、[ズーム]、[サーチ]、[コピー]、[一時停止]、 [シャトル保持]、[アラーム] ボタンの操作 ジョグダイヤル/シャトルダイヤルの操作	○	○	○	○
	パンチルトズーム付カメラの操作	×	○	×	○
	記録 [録画/停止]、[タイマー録画] ボタンの操作	×	×	○	○
	メニュー [メニュー]、[メニューリセット] ボタンの操作	×	×	×	×

■ パスワード設定例

パスワードは、管理者用と使用者用の2種類の設定ができます。

	設定例	操作内容
A	<p>＜セキュリティロック設定＞</p> <p>レベル パスワード (4-8) 入/切</p> <p>管理者 123456AB 入</p> <p>使用者 AB123456 入</p> <p>記録操作権限 : 管理者</p> <p>カメラコントロール権限 : 管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての操作がロック状態となります。 ● 使用者パスワードを入力すると、再生に関連する操作だけ使用できます。 ● 管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
B	<p>＜セキュリティロック設定＞</p> <p>レベル パスワード (4-8) 入/切</p> <p>管理者 123456AB 入</p> <p>使用者 AB123456 入</p> <p>記録操作権限 : 使用者</p> <p>カメラコントロール権限 : 管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての操作がロック状態となります。 ● 使用者パスワードを入力すると、再生と録画に関連する操作だけ使用できます。 ● 管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
C	<p>＜セキュリティロック設定＞</p> <p>レベル パスワード (4-8) 入/切</p> <p>管理者 123456AB 入</p> <p>使用者 ----- 切</p> <p>記録操作権限 : 管理者</p> <p>カメラコントロール権限 : 管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画とメニュー関係の操作がロックされます。再生関係の操作はロックされません。カメラコントロール権限もロックされます。 ● 管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
D	<p>＜セキュリティロック設定＞</p> <p>レベル パスワード (4-8) 入/切</p> <p>管理者 123456AB 入</p> <p>使用者 ----- 切</p> <p>記録操作権限 : 使用者</p> <p>カメラコントロール権限 : 管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● メニュー関係の操作がロックされます。録画と再生関係の操作はロックされません。カメラコントロール権限もロックされます。 ● 管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
E	<p>＜セキュリティロック設定＞</p> <p>レベル パスワード (4-8) 入/切</p> <p>管理者 0000---- 切</p> <p>使用者 ----- 切</p> <p>記録操作権限 : 管理者</p> <p>カメラコントロール権限 : 管理者</p>	<p>すべての操作が使用できます。</p> <p>セキュリティロックはかかりません(初期設定値)。</p>
F	<p>＜セキュリティロック設定＞</p> <p>レベル パスワード (4-8) 入/切</p> <p>管理者 0000---- 切</p> <p>使用者 ----- 入</p> <p>記録操作権限 : 管理者</p> <p>カメラコントロール権限 : 管理者</p>	<p>この設定はできません。</p>

D ハードディスク設定のメニュー説明



① ディスク1

搭載されているハードディスク容量を表示します。使用するハードディスクによって容量が変わります。

② ディスク2

本機に2台目のハードディスクを搭載すると、容量を表示します。

③ 初期化

本機に搭載されているハードディスクを初期化するときを選択します。ハードディスクを初期化すると、記録した内容はすべて消去されます。

初期化はディスク1、2を同時におこないます。

④ ミラーリング

ハードディスクをもう1台増設して、ミラーリングを“入”に設定すると、“再生用ディスク”の項でディスク選択が可能になり、同じ映像を2台のハードディスクに録画できます。もし、書き込み不良が発生しても“ディスク1”または“ディスク2”のどちらかを選択することで映像を読み出すことができます。

- ミラーリングを“入”にすると、記録レートの上限が自動的に制限(通常の半分)されますので注意してください。
- ミラーリングの設定後、再生画像に異常が発生した場合は、“再生用ディスク”の項でディスク1またはディスク2を選択してください。

⑤ 再生用ディスク

ミラーリング「入」を設定後、2台のハードディスクのどちらの映像を読み出すかを設定します。

選択項目：ディスク1/ディスク2

■ハードディスクの増設について

ハードディスクを増設する場合は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

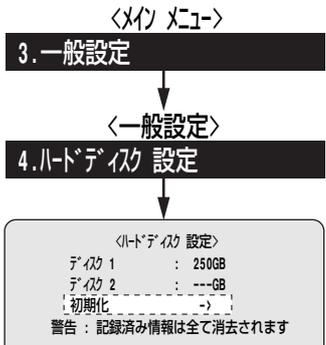
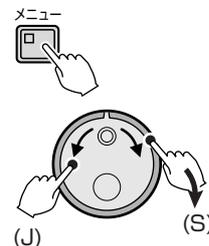
増設する際は、当社から供給の別売増設用ハードディスクのご使用をお勧めします。当社指定以外のハードディスクを増設する場合は、動作の保証はいたしません。

- 増設時は、必ず初期化してください。初期化は2台同時におこなわれます。必要な映像はコンパクトフラッシュカードなどのメディアにコピーしてください。

D-1 ハードディスクの初期化

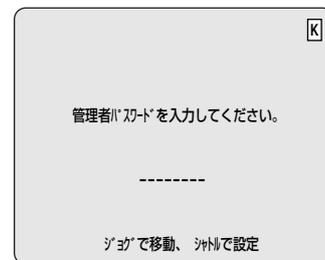
1 「一般設定画面の表示のしかた」で＜ハードディスク設定＞画面を表示させる (P60)

カーソルが「初期化」に移動しています。



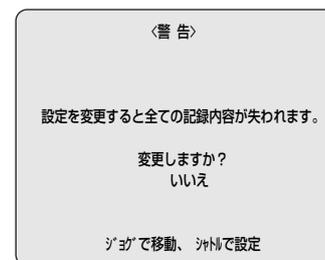
2 Sダイヤルを右に回す

パスワード入力画面が表示されます。



3 パスワードを入力する

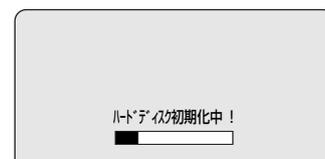
<警告>画面が表示され、“いいえ”が点滅します。



4 Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

“ハードディスク初期化中!”の画面になり、初期化をおこないます。

初期化が終了すると、＜ハードディスク設定＞画面に戻ります。



5 終了/画面表示ボタンを押す



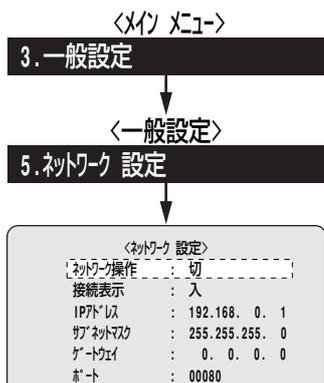
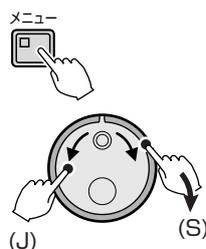
E ネットワーク設定

1 本機をネットワークに接続する

接続のしかたを参照ください。(P11)

2 「一般設定画面の表示のしかた」でネットワーク設定画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)

「ネットワーク操作」の“切”が点滅します。



3 Jダイヤルを回して“入(ネット優先)”を選択し、Sダイヤルを右に回す

ネットワーク操作 : 入(ネット優先)

カーソルが「接続表示」に移動します。

選択項目:

- 切: ネットワークから本機の操作をしない。
- 入(ネット優先): パソコン操作を優先する。
- 入(本体優先): 本機操作を優先する。

4 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「IPアドレス」に移動します。

接続表示 : 入

入: 画面に“ネットワーク接続中”と表示する。

切: 表示しない。

5 同じ手順で下記項目を設定する

ネットワークに接続するときには、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、ポートの設定をネットワーク管理者にご確認ください。

6 終了/画面表示ボタンを押す



E-1 ネットワークのパスワードを変更する

ネットワークへの接続は、3段階 (ID1、ID2、ID3) のアクセスレベルがあります。

初期のIDパスワードは下図のように設定されています。

ネットワーク設定	
ネットワーク操作	: 入(ネット優先)
接続表示	: 入
IPアドレス	: 192.168. 0. 1
サブネットマスク	: 255.255.255. 0
ゲートウェイ	: 0. 0. 0. 0
ポート	: 00080
ID	パスワード (4-8)
ID1	: 1111----
ID2	: 2222----
ID3	: 3333----

1 Jダイヤルを回して“ID1”を選択し、Sダイヤルを右に回す

ID1 : 1111----

パスワード入力の最初の“1”が点滅します。

● 設定区分

- ID1: ネットワーク経由で映像の監視が可能。
- ID2: ネットワーク経由で映像の監視および録画映像の再生や検索が可能。
- ID3: 本機および本機の各種設定のすべての操作が可能。

2 パスワードを変更する

例: ID1にパスワード“ABC123”を設定する

- ① Jダイヤルを回して“A”を選択し、Sダイヤルを右に回す
2番目の“1”が点滅します。
- ② Jダイヤルを回して“B”を選択し、Sダイヤルを右に回す
3番目の“1”が点滅します。
- ③ 同じ手順で、残りのパスワードを入力する
必要に応じて、ID2、ID3のパスワードも設定してください。

ID1 : ABC123--

3 終了/画面表示ボタンを押す

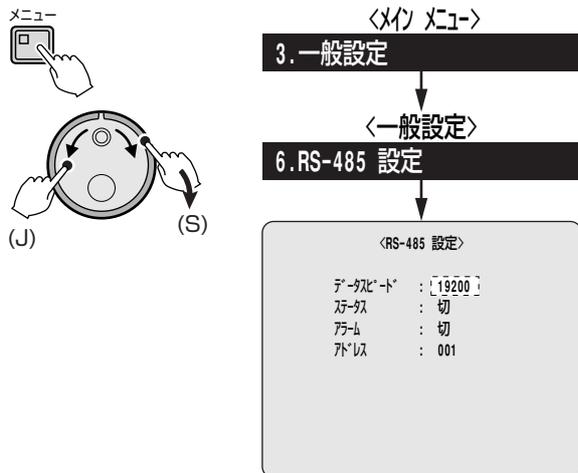


F RS-485設定

1 本機後面のRS-485端子とシステムコントローラー間を接続する (図1)

2 「一般設定画面の表示のしかた」で<RS-485設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)

「データスピード」の“19200”が点滅します。



3 Jダイヤルを回してデータスピード (例：9600) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

ステータス : 切

選択項目：2400/4800/9600/19200

「ステータス」の“切”が点滅します。

4 同じ手順で各項の設定をおこなう

●ステータス

- 切：ステータスの情報を送信しない
- 入：ステータスの情報を送信する

●アラーム

- 切：アラーム情報を送信しない
- 入：アラーム情報を送信する

●アドレス

アドレスは、000～127まで設定できます。
アドレスは固定されていますので、ご使用のパンチルトズーム付カメラのアドレスと設定するアドレスを合わせてください。詳しくは「カメラアドレス一覧表」を参照してください。(P89)

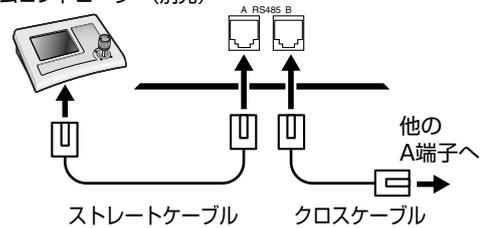
操作方法はシステムコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

5 終了/画面表示ボタンを押す



図1 (電話線は使用しないでください。)

システムコントローラー(別売)



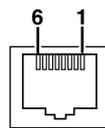
本機は、ストレートタイプとクロスタイプの接続ケーブルに対応しています。

●ストレートタイプ：

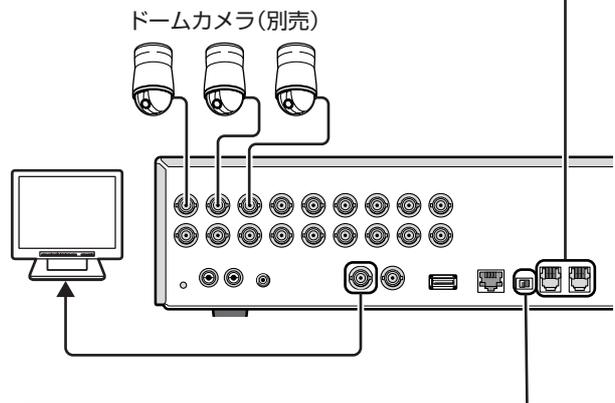
RS-485コネクターの“A” どうしまたは“B” どうしを接続する。

●クロスタイプ：

RS-485コネクターの“A” から“B” または“B” から“A” に接続する。



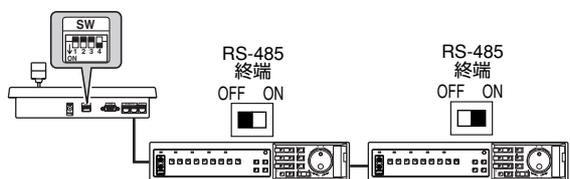
ピン番号	コネクター-A	コネクター-B
1	未使用	未使用
2	未使用	未使用
3	A	B
4	B	A
5	未使用	未使用
6	未使用	未使用



終端スイッチの設定

複数の機器を接続した場合は、両端の機器には終端設定が必要です。終端設定をおこなわないと、各機器に正しいデータが伝わりません。

- 両端 (始めの機器と終わりの機器) を“ON”、他の機器は“OFF”にする。

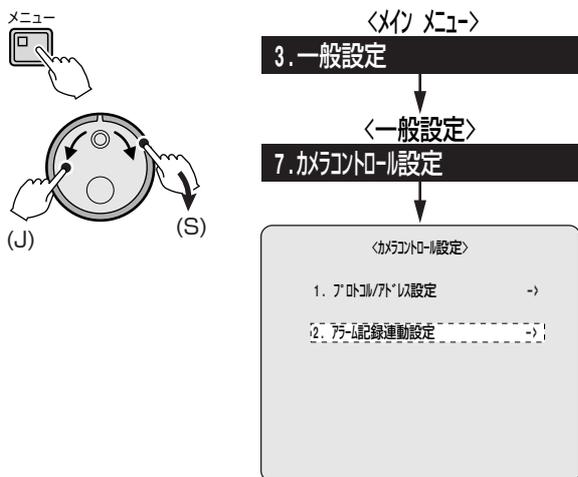


G カメラコントロールの Protokol 設定

同軸重畳のドームカメラを操作するときには、「プロトコル/アドレスの設定」と「外部アラーム連動制御設定」が必要です。
 “プロトコル/アドレスの設定”の各プロトコルが「切」の場合は、“アラーム記録連動設定”の設定はできません。

1 後面の映像入力端子に遠隔操作が可能なドームカメラを同軸ケーブルで接続する (図1)

2 「一般設定画面の表示のしかた」で<カメラコントロール設定>画面を表示させる (P60)



3 Jダイヤルを回して「1. プロトコル/アドレス設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す
 <プロトコル/アドレス設定>画面が表示します。

<プロトコル/アドレス設定>					
CH	プロトコル	アドレス	CH	プロトコル	アドレス
01	切	---	09	切	---
02	切	---	10	切	---
03	切	---	11	切	---
04	切	---	12	切	---
05	切	---	13	切	---
06	切	---	14	切	---
07	切	---	15	切	---
08	切	---	16	切	---

4 Jダイヤルを回して映像入力端子に接続しているチャンネル (例：06) にカーソルを移動させ、Sダイヤルを右に回す

“切” が点滅します。

06 切 ---

5 Jダイヤルを回してプロトコル (例：SANYO 同軸1) を選択し、Sダイヤルを右に回す

アドレスは固定されていますので変更できません。詳しくは「カメラアドレス一覧表」を参照ください。(P89)

選択項目：

切：カメラコントロールをおこなわない。

SANYO 同軸1：

SANYO(SSP)プロトコルを同軸重畳でカメラコントロールする。自動的にアドレスが表示されます。

SANYO RS485：

SANYO(SSP)プロトコルをRS485でカメラコントロールする。自動的にアドレスが表示されます。

SANYO 同軸2：

SANYO(SSP)プロトコルを高速同軸重畳でカメラコントロールする。

ELMO同軸：

エルモプロトコルを同軸重畳でカメラコントロール (機種：PTC-400C) する場合は、カメラ底面の4Pディップスイッチ1 (RSU-400使用モード) を「ON」に設定してください。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

06 SANYO 同軸1 006

6 終了/画面表示ボタンを押す



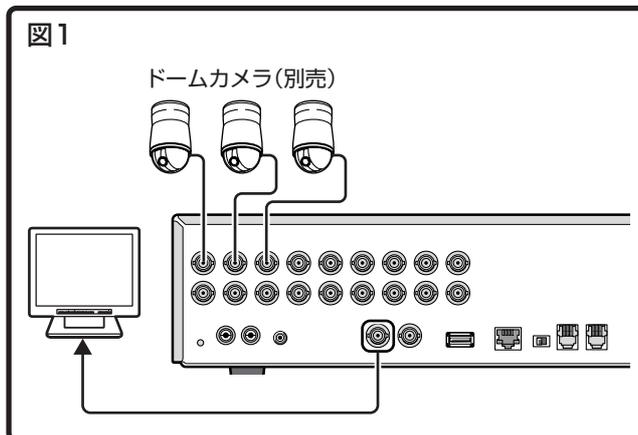
7 ファンクションボタンを押す

ファンクションボタンとドームカメラ操作に必要なランプが点灯します。

終了するときには、もう一度ファンクションボタンを押してください。(P72)



- 本機はRS485、RS422などでコントロール可能な他社カメラのプロトコルには対応していません。対応カメラについては、お買い上げの販売店に確認してください。
- 誤動作を防ぐために、同軸制御できないカメラや制御対象外のカメラを接続しているチャンネル (CH) は、プロトコルを“切”にしてください。

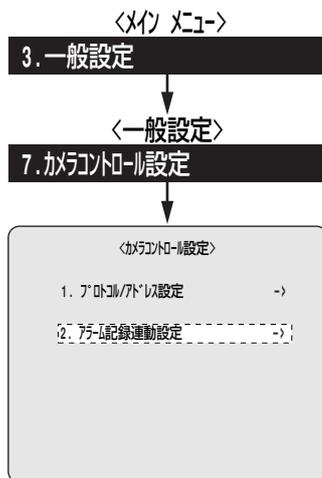
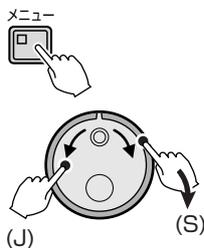


G-1 アラーム記録連動設定

アラーム記録設定の“アラーム記録”の項でアラーム検知時の録画方法を選択してください。(P54)
アラームを検知すると、プリセットやオートパンなどの動作状態でアラーム録画をおこなう設定ができます。



- 1** 「一般設定画面の表示のしかた」でカメラコントロール設定画面を表示させる (P60)



- 2** Jダイヤルを回して“2. アラーム記録連動設定”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<アラーム記録連動設定>画面が表示します。

アラーム記録連動設定	
CH 連動動作	CH 連動動作
01 切	09 切
02 切	10 切
03 切	11 切
04 切	12 切
05 切	13 切
06 切	14 切
07 切	15 切
08 切	16 切

アラーム/7.1で設定			
CH アラーム	7.1	CH アラーム	7.1
01 切	---	09 切	---
02 切	---	10 切	---
03 切	---	11 切	---
04 切	---	12 切	---
05 切	---	13 切	---
06 切	---	14 切	---
07 切	---	15 切	---
08 切	---	16 切	---

- 3** Jダイヤルを回してアラーム検出時に連動動作させるチャンネル (例：05 切) を選択し、Sダイヤルを右に回す

“切” が点滅します。

- 4** Jダイヤルを回して自動画面切換 (例：シーケンス) を選択し、Sダイヤルを右に回す

次のカメラの“切”にカーソルが移動しますので、必要に応じて他のカメラも設定してください。

05 シーケンス

選択項目：

切：連動動作をおこなわない。

プリセット (1~6/1~9)：

設定したプリセット番号に移動する。

オートパン：オートパンを開始する。

ツアー：ツアーを開始する

シーケンス：自動画面切換を開始する。

- 5** 終了/画面表示ボタンを押す



- 6** ファンクションボタンを押す (P72)

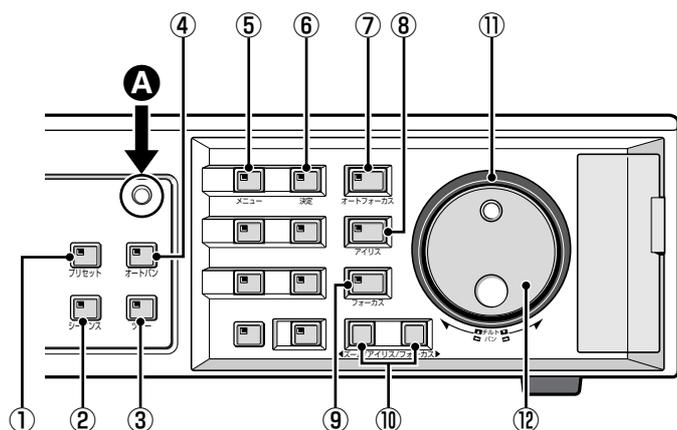
ファンクションボタンとドームカメラ操作に必要なランプが点灯します。

終了するときには、もう一度、ファンクションボタンを押します。



アラーム検知時に、動作するように設定されているカメラは、同時にアラームを検知した場合は正常にカメラコントロールができなくなる場合があります。

G-2 カメラコントロールの操作(ライブ映像の1画面のときのみ可能)



■以下の条件では、ファンクションボタンを押してもファンクション操作はできません。

- メニュー、サーチメニュー表示中
- 再生中(一時停止中、コピーメニュー表示中)
- 4画面、マルチ画面(6/9)、プラス画面を表示中
- ズーム、カメラ自動切換、モニター2表示中

A ファンクションボタンを押してください。

ファンクションランプの点灯中に①~⑫の操作ボタンなどを使用すると、ドームカメラを操作できます。

① プリセットボタン

プリセットボタンを約3秒間押すと、ブザーがなりプリセット位置の登録が可能状態となります。カメラ選択ボタンでプリセット位置を登録してください。登録後、プリセットボタンとカメラ選択ボタンを続けて押すと、登録した位置にカメラが移動します。

② シーケンスボタン

シーケンスボタンを押すと、ライブ映像の自動切換状態になりプリセット登録位置にカメラが無作為に移動します。他のボタンを押すと、自動切換操作は解除されます。

③ ツアーボタン

ツアーボタンを押すと、プリセット登録(パン、チルト、ズーム)した位置をくり返しカメラが移動します。他のボタンを押すと、ツアー動作は解除されます。

④ オートパンボタン

オートパンボタンを押すと、あらかじめ設定した開始点と終了点をカメラが移動します。他のボタンを押すと、オートパン動作は解除されます。

⑤ メニューボタン

メニューボタンを押すと、カメラ独自のメニューが画面に表示されます。操作に関しては、接続しているカメラの説明書を参照ください。

⑥ 決定ボタン

カメラのメニューで設定した内容を決定するときに押してください。

⑦ オートフォーカスボタン

オートフォーカスボタンを押すと、ピントを強制的に合わせます。

⑧ アイリスボタン

アイリスボタンを押すと、ランプが点滅しレンズの絞り調整が可能になります。

調整は「ズーム/アイリス/フォーカス」ボタンでおこなってください。

⑨ フォーカスボタン

フォーカスボタンを押すと、ランプが点滅しピント調整が可能になります。調整は「ズーム/アイリス/フォーカス」ボタンでおこなってください。

⑩ ズーム/アイリス/フォーカスボタン

ズーム/アイリス/フォーカスボタンの▶を押すと、画像が拡大(ズームイン)します。◀を押すと、画像が縮小(ズームアウト)されます。

■アイリスまたはフォーカスボタンを押した状態から、次の調整ができます。

●アイリス調整

ズーム/アイリス/フォーカスボタンの▶を押すと、レンズに入る光量が多くなります。◀を押すと、レンズに入る光量が少なくなります。

●フォーカス調整

ズーム/アイリス/フォーカスボタンの▶を押すと、遠くの被写体にピントを合わせます。◀を押すと、近くの被写体にピントを合わせます。

⑪ パンダイヤル(パン操作)

ダイヤルを右に回すと右方向へ、左に回すと左方向にカメラが動きます。回転角度が大きい場合は高速、小さい場合は低速に動きます。

⑫ チルトダイヤル(チルト操作)

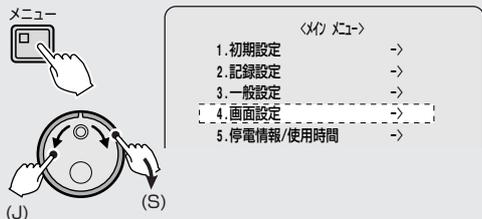
ダイヤルを右に回すと下方向へ、左に回すと上方向にカメラが動きます。

画面設定

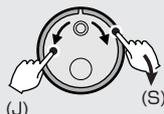
メニュー構成

■ 画面設定画面の表示のしかた

- 1** メニューボタンを押してJダイヤルで「4.画面設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す
 <画面設定>画面が表示します。



- 2** Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す
 選択した画面（**A**～**D**）が表示されますので、設定は各項のページを参照ください。



<画面設定>

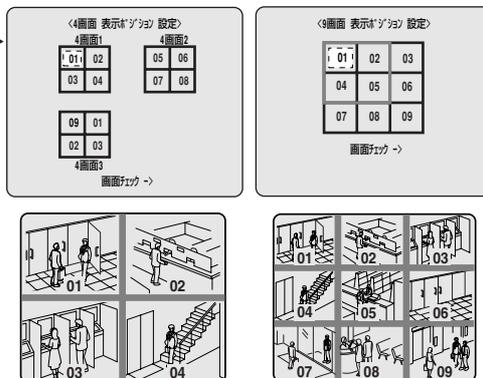
- 1. 分割画面表示ポジション : **ノーマル**
- 4画面表示ポジション設定 →
- 9画面表示ポジション設定 →
- 2. 自動切替 : 1秒
- 自動切替設定 →
- メインモニター/モニター2設定 →
- 3. マスク : 切
- マスク設定 →
- 4. カラー設定 →

(EDR-F920の場合)

EDR-F620は「9画面表示ポジション設定」が「6画面表示ポジション設定」表示となります。

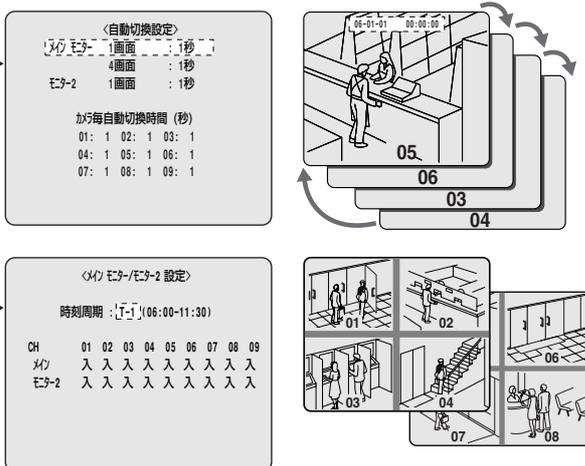
A 分割画面を並び換える (P74)

画面のライブ映像および再生画像の位置を並び換える



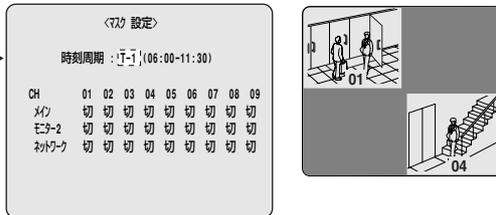
B 時間間隔で画面を切り換える (P75)

- すべてのライブ映像を設定した時間間隔で切り換える
- 時刻周期A/Bの設定の時間帯に、各ライブ映像を表示させるモニターを指定する



C 特定のライブ映像を見えなくする (P77)

画面に特定のライブ映像を表示させたくないときに、映像をグレーパターン(マスク)で覆う



D ライブ映像の色調を調整する (P78)

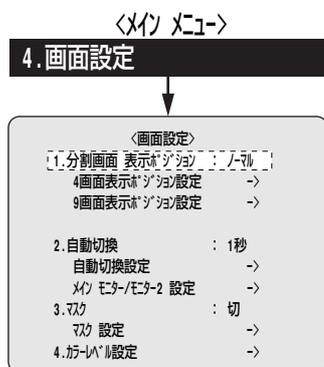
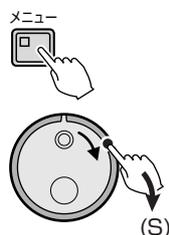
画面の色調を調整する



A 分割画面を並び換える

1 「画面設定画面の表示のしかた」で<画面設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P73)

「分割画面表示ポジション」の“ノーマル”が点滅します。



2 Jダイヤルを回して分割画面表示ポジション(例: 変更)を選択し、Sダイヤルを右に回す

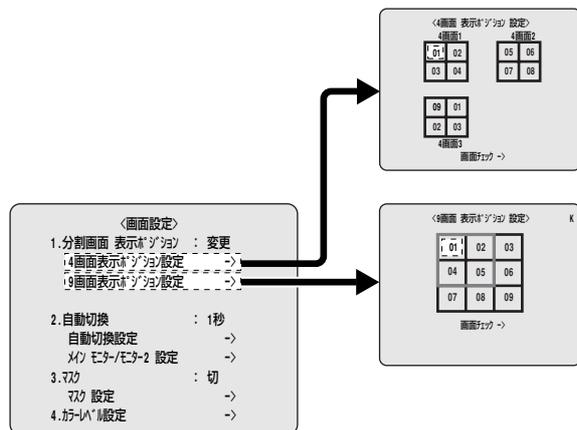
カーソルが「4画面表示ポジション設定」に移動します。

選択項目:

ノーマル: 分割画面表示ポジションを選択しない
カーソルは4画面、6画面、9画面表示ポジション設定へは移動できません。

変更: 画面表示ポジション設定を選択する

Jダイヤルを回して、次のように分割画面の並び換えを選択できます。



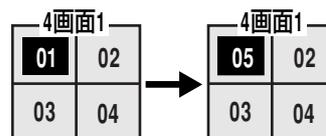
3 4分割画面のカメラ1とカメラ5のライブ映像を入れ換える

① Jダイヤルを回して「4画面表示ポジション設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す

<4画面表示ポジション設定>画面が表示します。

② Jダイヤルを回して[4画面1]の“01”を選択し、Sダイヤルを右に回す
“01”が点滅します。

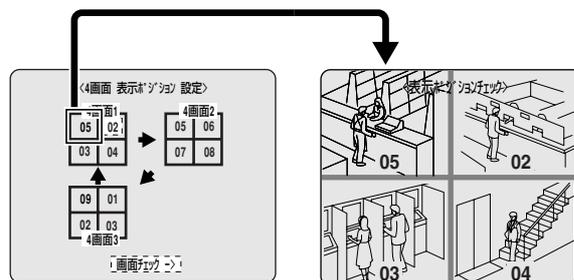
③ Jダイヤルを回して“05”を設定し、Sダイヤルを右に回す



④ Jダイヤルを回して「画面チェック」を選択し、Sダイヤルを右に回す

<表示ポジションチェック>のライブ映像を表示します。画面ではカメラ1から5に並び換わったことを確認できます。

[4画面2]以降の画面を確認するときは、4画面表示ボタンを押してください。



⑤ Sダイヤルを左に回す

<4画面表示ポジション設定>画面に戻ります。

9画面で画像を並び換える場合は、同じ手順で設定してください。

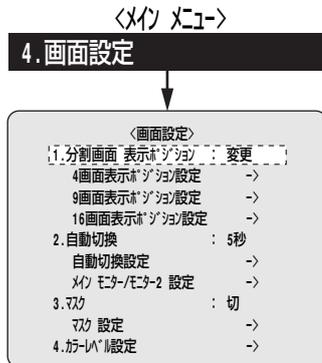
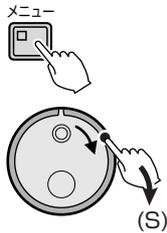
4 終了/画面表示ボタンを押す

並び換えた画面を見るときは、通常のライブ画面で「4画面表示」、「マルチ表示」ボタンを押します。



B メインモニターとモニター2のライブ映像を 同じ時間間隔 (例：5秒) で自動的に切り換える

- 1 「画面設定画面の表示のしかた」で<画面設定>画面を表示させる (P73)



- 2 Jダイヤルを回して「2.自動切換」を選択し、Sダイヤルを右に回す

“1秒”が点滅します。

2.自動切換 1秒

選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

秒を指定した場合は、カーソルが「自動切換設定」に移動しません。これはモニターの自動切換を同じ時間間隔にするためです。

- 3 Jダイヤルを回して自動切換 (例：5秒) を選択し、Sダイヤルを右に回す

2.自動切換 5秒

- 4 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す



B-1 メインモニターとモニター2のライブ映像を 個別の時間間隔で自動的に切り換える

- 1 「画面設定画面の表示のしかた」で<画面設定>画面を表示させる (P73)

- 2 Jダイヤルを回して「2.自動切換」を選択し、Sダイヤルを右に回す

“1秒”が点滅します。

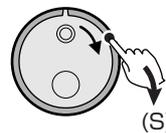
2.自動切換 1秒

選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

“1秒”が点滅します。

- 3 Jダイヤルを回して“カメラ毎”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

<自動切換設定>画面を表示します。



- 4 Sダイヤルを右に回す

「メインモニター 1画面」の“1秒”が点滅します。

- 5 メインモニターとモニター2の時間間隔を設定する

- ① Jダイヤルを回してメインモニターの1画面を5秒 (例) に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

- ② Jダイヤルを回してメインモニターの4画面を10秒 (例) に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
選択項目：1/2/～29/30秒

- ③ Jダイヤルを回してモニター2の1画面を15秒 (例) に選択し、Sダイヤルを右に回す
選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

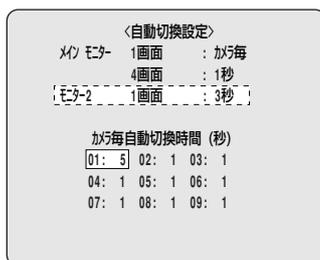
**メインモニター 1画面 : 5秒
4画面 : 10秒
モニター2 1画面 : 15秒**

- 6 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す



B-2 メインモニター(1画面)のライブ映像を個別の時間間隔、モニター2のライブ映像を同じ時間間隔(例:3秒)で自動的に切り換える

- 1 「画面設定画面の表示のしかた」で<画面設定>画面を表示させる(P73)
- 2 Jダイヤルを回して「2.自動切換」を選択し、Sダイヤルを右に回す
- 3 Jダイヤルを回して“カメラ毎”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
- 4 Sダイヤルを右に回す
- 5 Jダイヤルを回してメインモニター 1画面(例:カメラ毎)を選択し、Sダイヤルを右に回す
メインモニターの“4画面”は個別選択できません。
- 6 Jダイヤルを回してモニター2 1画面を選択し、Sダイヤルを右に回す
“1秒”が点滅します。
- 7 Jダイヤルを回してモニター2 1画面(例:3秒)を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「カメラ毎自動切換時間(秒)」のチャンネル1(01)の“1”が点滅します。
- 8 Jダイヤルを回してメインモニターのチャンネル1(01)の自動切換時間(例:5)を設定し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返し、他のチャンネルの自動切換時間を設定してください。



- 9 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す



B-3 時刻周期設定の時間帯でモニターを表示させないカメラを設定する

- 1 <時刻周期設定>の時刻周期Aと時刻周期Bを設定する(P36)
「時刻周期を選択」の自動切換の項で時刻周期AまたはBを選択しておいてください。
この設定では、“時刻周期A”を例に説明します。
 
- 2 <画面設定>画面でJダイヤルを回して“メインモニター/モニター2設定”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
<メインモニター/モニター2設定>画面になり、時刻周期の“T-1”が点滅します。

時刻周期 : T-1 (06:00-11:30)

- 3 Jダイヤルを回して時刻周期(例:T-2)を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「メイン」の「01」の“入”が点滅します。

カメラ/モニター2設定										
時刻周期 : T-2 (11:30-13:30)										
CH	01	02	03	04	05	06	07	08	09	
メイン	入	入	入	入	入	入	入	入	入	
モニター2	入	入	入	入	入	入	入	入	入	

- 4 Jダイヤルを回して“切”を選択し、Sダイヤルを回す
同じ手順をくり返して、表示させないカメラを“切”に設定してください。

(表示例)

カメラ/モニター2設定										
時刻周期 : T-2 (11:30-13:30)										
CH	01	02	03	04	05	06	07	08	09	
メイン	切	入	入	入	入	入	入	入	入	
モニター2	入	切	入	入	入	入	入	入	入	

- 5 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す



C 特定のライブ映像を見えなくする

1 <時刻周期設定>の時刻周期Aと時刻周期Bを設定する (P36)

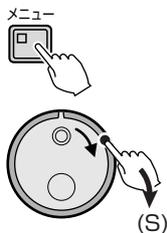
「時刻周期を選択」のマスクの項で時刻周期AまたはBを選択しておいてください。

この設定では、「時刻周期A」を例に説明します。

時刻周期設定				
時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	06:00	11:30	13:30	18:00
時刻周期 B	06:00	08:00	14:30	20:00

時刻周期を選択	
自動切換	時刻周期 A
マスク	時刻周期 A
モニタセンサ	時刻周期 A

2 「画面設定画面の表示のしかた」で<画面設定>画面を表示させる (P73)



メインメニュー	
4. 画面設定	

画面設定	
1. 分割画面 表示ボタン	: 変更
4画面表示ボタン設定	->
9画面表示ボタン設定	->
2. 自動切換	: 1秒
自動切換設定	->
メイン モニタ/モニタ-2 設定	->
3. マスク	: 切
マスク設定	->
4. カメラ設定	->

3 Jダイヤルを回して「3.マスク」を選択し、Sダイヤルを右に回す

“切”が点滅します。

3. マスク : 切

4 Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルがマスク設定に移動します。

マスク設定 ->

5 Sダイヤルを右に回す

<マスク設定>画面を表示し、カーソルが“T-1”に移動します。

マスク設定									
時刻周期 : T-1 (06:00-11:30)									
CH	01	02	03	04	05	06	07	08	09
メイン	切	切	切	切	切	切	切	切	切
モニタ-2	切	切	切	切	切	切	切	切	切
ネットワーク	切	切	切	切	切	切	切	切	切

6 Sダイヤルを回してJダイヤルで時刻周期(例:T-2)を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「メイン」01の“切”に移動します。

7 Jダイヤルを回してメインのカメラ番号(例:03)を選択し、Sダイヤルを右に回す

マスク設定									
時刻周期 : T-2 (06:00-11:30)									
CH	01	02	03	04	05	06	07	08	09
メイン	切	切	入	入	入	切	入	切	切

8 Jダイヤルを回してメイン03(例:入)を選択し、Sダイヤルを右に回す

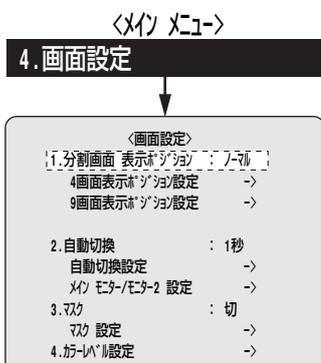
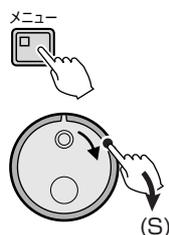
同じ手順をくり返して、モニター2またはネットワークの画面でマスクしたいカメラを“入”に設定してください。

9 終了/画面表示ボタンを押す



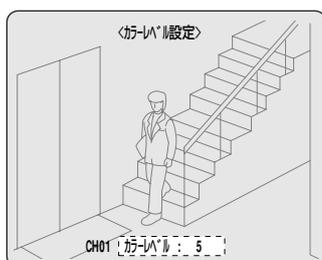
D ライブ映像の色調を調整する

- 1 「画面設定画面の表示のしかた」で<画面設定>画面を表示させる (P73)



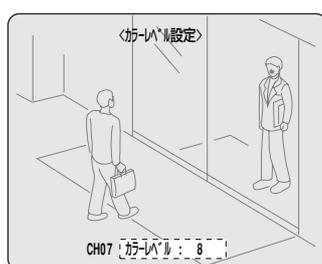
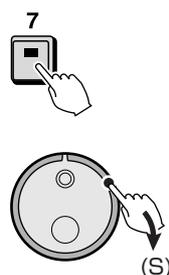
- 2 Jダイヤルを回して「4.カラーレベル設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す

チャンネル“CH01”の<カラーレベル調整>画面を表示し、カーソルが「カラーレベル」に移動します。



- 3 色調を調整するカメラ選択ボタン (例：7) を押し、Sダイヤルを右に回す

チャンネルが“CH07”に切り換わり、「カラーレベル」“5”が点滅します。



- 4 Jダイヤルを回してカラーレベル (例：8) を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目：1/2・・・/8/9/10 (濃くなる)

ライブ映像の色調が変わります。

- 5 終了/画面表示ボタンを押す



停電情報／使用時間

A 停電情報／使用時間画面のメニュー説明

停電の日時、ハードディスクの使用時間や本機の通電時間を確認できます。

〈停電情報/使用時間〉		
停電情報	発生日時	復旧日時
① 011回	01-14 19:15	01-15 09:55
	01-13 21:13	01-14 09:21
②	01-03 18:48	01-05 08:56
	01-01 09:49	01-03 10:32
③ 使用時間	ディスク1 : 00096H	
	ディスク2 : -----H	
	通電時間 : 00096H	

F/W:M 1.00-00 / S 1.00-0

① 停電情報

停電回数を表示します。

停電回数の最大表示は999回です。999以上を表示することはできません。

② 発生日時と復旧日時

最新の停電情報（発生日時、復旧日時）を新しい順に最大4件まで表示します。過去の情報は確認できません。

③ 使用時間

● ディスク1

ハードディスク1の総使用時間を表示します。

● ディスク2

ハードディスク2の総使用時間を表示します。

ハードディスクを増設していない場合は、“-----”と表示します。

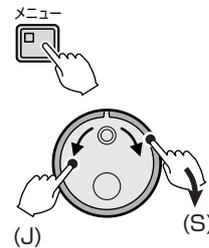
● 通電時間

本機の総通電時間を表示します。

A-1 情報を確認する

- 1 メニューボタンを押し、Jダイヤルを回して「5.停電情報/使用時間」を選択し、Sダイヤルを右に回す

〈停電情報／使用時間〉画面を表示します。



〈M〉メニュー	
1.初期設定	->
2.記録設定	->
3.一般設定	->
4.画面設定	->
5.停電情報/使用時間	->
6.初期化履歴	->
7.メニュー設定北	->

ジョグで移動、押しで選択



〈停電情報/使用時間〉		
停電情報	発生日時	復旧日時
011回	01-14 19:15	01-15 09:55
	01-13 21:13	01-14 09:21
	01-03 18:48	01-05 08:56
	01-01 09:49	01-03 10:32
使用時間	ディスク1 : 00096H	
	ディスク2 : -----H	
	通電時間 : 00096H	

F/W:M 1.00-00 / S 1.00-0

- 2 終了するとき、終了／画面表示ボタンを押す



初期化履歴

A 初期化履歴画面のメニュー説明

ハードディスクの初期化と記録再開履歴を確認することができます。履歴は最後に実施したときから8件まで表示します。

①	②	③
月-日	時:分	領域
----	--:--	----- (-----)
----	--:--	----- (-----)
----	--:--	----- (-----)
----	--:--	----- (-----)
----	--:--	----- (-----)
----	--:--	----- (-----)
----	--:--	----- (-----)
----	--:--	----- (-----)

① 日時

初期化や記録再開許可をおこなった日時を表示します。最新の履歴情報を新しい順に8件まで表示します。それ以前の情報は確認できません。

② 領域

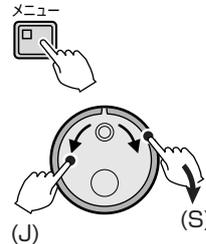
対象となったハードディスクの記録領域を表示します。
表示内容：全領域／通常領域／バックアップ領域／アラーム領域

③ 操作内容

実施した初期化または記録再開を表示します。記録領域を変更した場合は、“初期化”と表示します。

A-1 履歴を確認する

- 1 メニューボタンを押し、Jダイヤルを回して、「6.初期化履歴」を選択し、Sダイヤルを右に回す<初期化履歴>画面を表示します。



<メニュー>	
1. 初期設定	->
2. 記録設定	->
3. 一般設定	->
4. 画面設定	->
5. 停電情報/使用時間	->
6. 初期化履歴	->
7. メニュー設定	->

ジョグで移動、ジョグで選択

<初期化履歴>			
月-日	時:分	領域	
10-26	24:00	全領域	(初期化)
10-26	23:18	全領域	(初期化)
10-26	23:18	バックアップ領域	(記録再開)
10-26	23:18	アラーム領域	(記録再開)
10-26	23:18	通常領域	(記録再開)
10-26	23:16	全領域	(初期化)
10-26	23:15	全領域	(初期化)
----	--:--	-----	(-----)

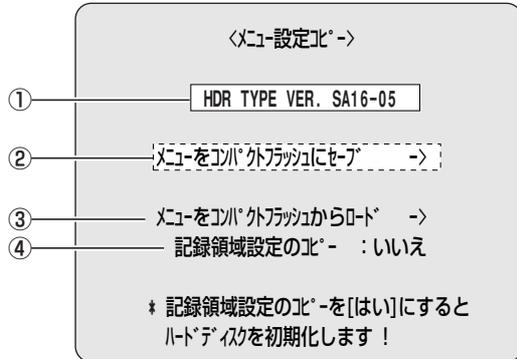
- 2 終了するときは、終了/画面表示ボタンを押す



メニューコピー

A メニュー設定コピーの説明

設定したメニューをコンパクトフラッシュ (CF) カードに保存し、保存したメニューと同じものを他の同機に読み込ませます。複数の機器を同じメニューで操作することができます。



録画した映像のコピー中は、メニューのセーブ及びロードは実行できません。

- ① 本機のバージョン番号を表示する
- ② 設定したメニュー内容をCFカードに保存するときに選択する
- ③ CFカードに保存したメニュー内容を他の同機に読み込むときに選択する
- ④ 記録領域の領域割合を選択する

③の「メニューをコンパクトフラッシュからロード」を実行する前に、下記を選択してください。

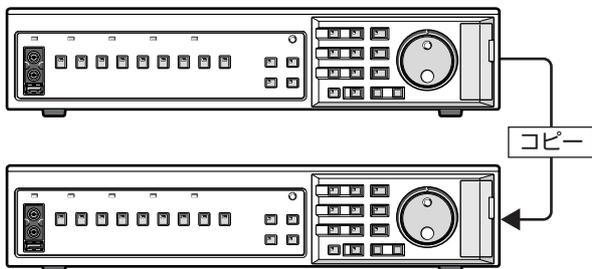
選択項目：

いいえ：

ハードディスクの各領域（通常記録、アラーム記録、バックアップ）を変更せずにCFカードからメニュー内容を読み込みます

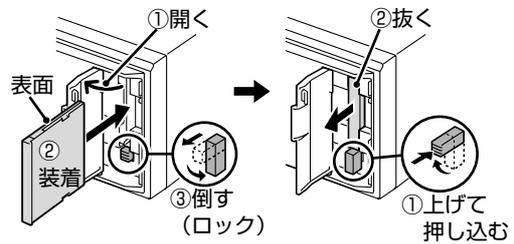
はい：

ハードディスクの各領域（通常記録、アラーム記録、バックアップ）を変更してメニュー内容を読み込みます



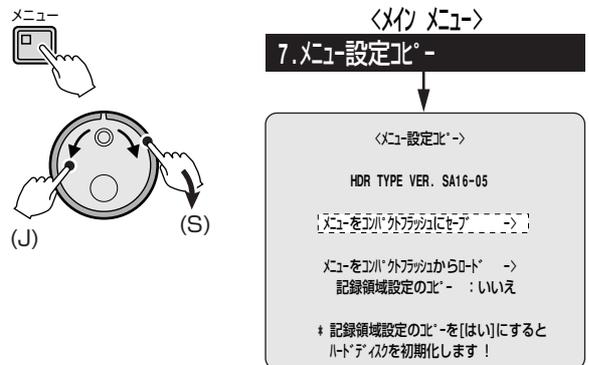
A-1 CFカードにメニュー内容を保存する

- 1 コンパクトフラッシュカードスロットにCFカードを装着する



- 2 メニューボタンを押し、Jダイヤルを回して「7.メニュー設定コピー」を選択し、Sダイヤルを右に回す

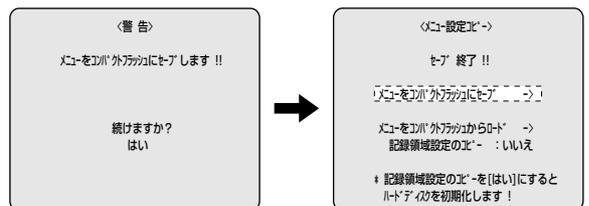
<メニュー設定コピー>画面を表示します。



- 3 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

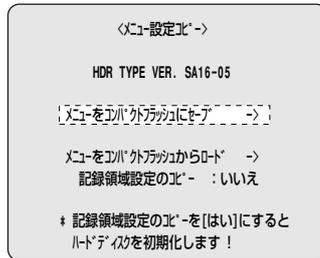
CFカードにメニューを保存します。

保存が終了すると、“セーブ終了!!”と表示します。



A-2 CFカードに保存されたメニュー内容を他の同機に読み込む

- 1 メニューボタンを押して、<メニュー設定コピー>画面を表示させる



- 2 Jダイヤルを回して「記録領域設定のコピー」へカーソルを移動する

記録領域設定の北 - : いいえ

- 3 Sダイヤルを回してJダイヤルで“いいえ”または“はい”を選択する

- 4 Sダイヤルを右に回す

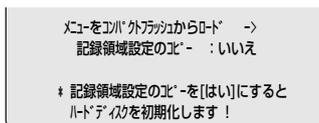
カーソルが「メニューをコンパクトフラッシュにセーブ」に移動します。

メニューをコンパクトフラッシュにセーブ ->

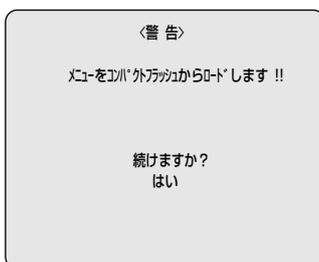
- 5 Jダイヤルを回して「メニューをコンパクトフラッシュからロード」にカーソルを移動させ、Sダイヤルを右に回す

メニューをコンパクトフラッシュからロード ->

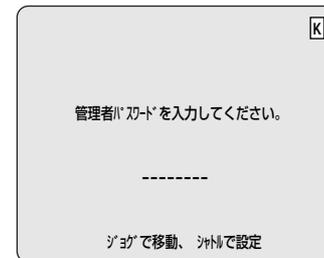
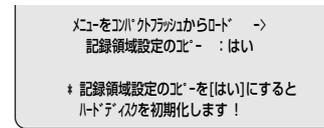
A) 記録領域設定のコピーを“いいえ”に選択した場合



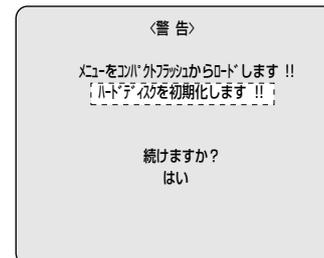
<警告>画面を表示し、“いいえ”が点滅しますので、Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す。記録領域の領域割合を変更せずにCFカードから読み込みます。



B) 記録領域設定のコピーを“はい”に選択した場合 (初期化されます)



パスワード入力画面が表示しますので、パスワードを入力してください。
<警告>画面を表示し、“いいえ”が点滅しますので、Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す。記録領域の領域割合を変更してCFカードから読み込みます。



- 6 読み込みが完了すると、画面に“SYSTEM INITIALIZING”と表示後、ライブ映像になる

インターフェース (RS-485) 仕様

■ データ形式

モード	非同期
キャラクター長	8ビット
データ転送速度	2400、4800、9600、19200bps
パリティチェック	なし
ストップビット	1ビット

■ 通信プロトコル

三洋のプロトコル (SANYOプロトコル) を使用していますので、専用コントローラーで操作することをお勧めします。専用コントローラーについては、サービスセンターにご相談ください。

■ プロトコルコマンドテーブル

本機を介して使用できるコマンドは下表のとおりです。

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0				0			TIMER ON/OFF	
1				1				
2				2				
3				3		SHIFT←	SHIFT→	
4				4		SHIFT↑	SHIFT↓	MENU
5				5			SET+ /RP UP	
6				6			SET- /RP DOWN	
7				7				
8				8				
9				9			SECURITY LOCK ON	
A	ACK			PLAY	SEARCH			
B	NAK							
C								
D								
E								
F				STOP	STILL			

上位 下位	8	9	A	B	C	D	E	F
0		FULL1					CLOCK ADJUST	
1		FULL2					MENU RESET	
2	MULTI	FULL3						
3	QUAD	FULL4						
4	PLUS1	FULL5						
5	ZOOM	FULL6						
6		FULL7						
7	SEQUENCE	FULL8						
8	MONITOR2	FULL9						
9								
A	ALARM RESET				REC			REC/DUB REQUEST
B			ALARM F					
C			ALARM R					
D	COPY							RS-485 SEND START
E	EXIT/OSD							RS-485 RCV CMF.
F	MAIN MONITOR MODE			STATUS LOG	REC STOP			

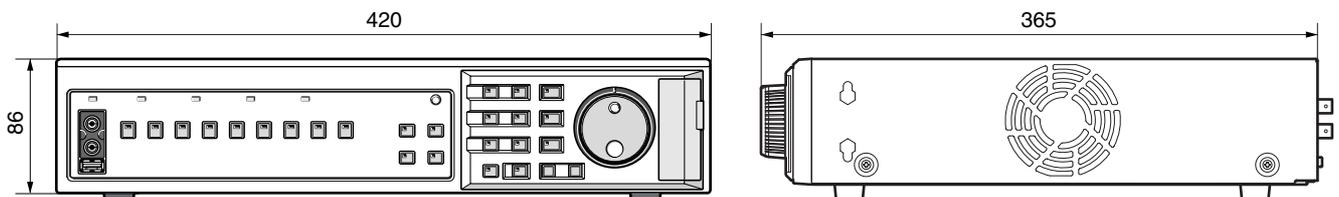
仕様

信号方式	NTSC方式準拠
ハードディスク容量	EDR-F920:250GB EDR-F620:160GB
圧縮方式	映像:M-JPEG、音声:WAVE
画素数	720×240(フィールド)
記録タイプ	フィールド記録
記録画質	5段階[Basic(ラフ画質)/Normal(標準画質)/Enhanced(準高画質)/Fine(高画質)/SuperFine(最高画質)]
記録レート	27段階(60~0.033FPS)
記録領域	通常記録領域/アラーム記録領域/ バックアップ領域
ズーム	ズームボタンによる2倍デジタルズーム可
サーチモード	日時サーチ、アラームサーチ、 アラームサムネイルサーチ、 バックアップ領域サーチ、モーション検出サーチ
日付・時刻表示	年、月、日、時、分、秒
日付・時刻表示位置	上下2ポジション移動可能(表示の入/切が可能)
カメラタイトル表示	各チャンネル最大10文字まで表示の 入/切が可能(下記を参照)
メモリーバックアップ	約30日間(48時間通電時)
映像入力	1.0V(p-p) 75Ω BNC (EDR-F920:×9, EDR-F620:×6)
映像出力	各映像入力のスルー出力 BNC (EDR-F920:×9, EDR-F620:×6)
メインモニター出力	1.0V(p-p) 75Ω BNC×1
モニター2出力	1.0V(p-p) 75Ω BNC×1
音声入力	-8dBs 27kΩ 不平衡 RCA×1
音声出力	-8dBs 600Ω 不平衡 RCA×1
マイク入力	-60dBs 10kΩ 不平衡 3.5mm モノラルミニジャック×1
フロントAV出力	映像出力 1.0Vp-p 75Ω 不平衡 RCA×1 音声出力 -8dBs 600Ω 不平衡 RCA×1
フロントUSB端子	USB1.1相当内蔵×1(前面優先)

コンパクトフラッシュスロット	コンパクトフラッシュ Type2(前面パネル)×1
端子	
LAN	10BASE-T/100BASE-TX、RJ-45×1、 対応プロトコル:UDP、TCP/IP、HTTPサーバ
RS-485	RJ-11×2(終端スイッチあり)
USB端子	USB1.1相当内蔵×1
アラーム入力	無電圧メイク接点(パルス幅100m秒以上) (EDR-F920:×9, EDR-F620:×6)
センサーアラーム出力	オープンコレクタ/1kΩ、Lowレベルアクティブ (最大 10mA (1/10W)) (EDR-F920:×9, EDR-F620:×6)
リモートコントロール入力	2線式電圧制御方式×2
時計合わせ入力	無電圧メイク接点(パルス幅100m秒以上)×1
時計合わせ出力	オープンコレクタ/1kΩ、Lowレベルアクティブ
アラーム総合出力	オープンコレクタ/Lowレベルアクティブ (最大 500mA)×1
アラームリセット入力	無電圧メイク接点(パルス幅100m秒以上)×1
異常警告出力	通常DC5V、Lowレベルアクティブ×1
通常領域残量警告出力	通常DC5V、Lowレベルアクティブ×1
アラーム残量警告出力	通常DC5V、Lowレベルアクティブ×1
タイマー録画出力	DC5V/5.7kΩ、Lowレベルアクティブ×1
外部タイマー入力	無電圧メイク接点(パルス幅100m秒以上)×1
VIDEO LOSS/ 録画停止出力	DC5V/5.7kΩ、Lowレベルアクティブ×1
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	EDR-F920:37W EDR-F620:35W
使用可能周囲温度	5~40℃
使用可能周囲湿度	10~80%
外形寸法	420(W)×86(H)×365(D)mm (突起部、ゴム足含まず)
質量	約6.3kg

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

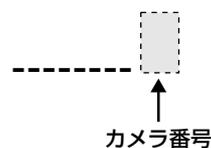
■外形寸法図(単位: mm)



■カメラタイトル表示一覧

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	:	.	/	*	_	A	B	C	D
E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
Y	Z	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ
テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	°		

カタカナでタイトルを設定した場合は、モニター2画面では次のように表示されます。



記録レートと録画時間一覧表

本機は、記録レートと記録画質を変更すると自動的に録画時間が変更されます。

下表は、ハードディスクの通常記録領域に映像を記録する場合の記録レートと画質を示した参考値です。

- 通常記録領域およびアラーム記録領域の録画可能時間は、下記の録画時間にメニューの記録領域設定で設定した通常記録領域、およびアラーム記録領域のパーセント表示値を掛けた時間になります。
- 録画時間は、録画する画質によって変動することがあります。

■ 300GBのハードディスクに記録した場合（領域を100%使用した場合）

記録レート (フィールド/秒)	録画時間				
	BASIC 15kB	NORMAL 22kB	ENHANCED 30kB	FINE 42kB	SUPER FINE 50kB
60	75H	53H	40H	29H	24H
30	151H	107H	80H	58H	49H
20	227H	161H	120H	87H	74H
15	303H	215H	161H	117H	99H
10	455H	322H	241H	175H	148H
7.5	607H	430H	322H	234H	198H
6	758H	537H	403H	293H	248H
5	910H	645H	483H	351H	297H
4.286	1061H	751H	563H	410H	347H
3.75	1214H	860H	645H	469H	397H
3.333	1367H	968H	726H	528H	447H
3	1517H	1075H	806H	586H	496H
2.727	1668H	1181H	886H	644H	545H
2.308	1971H	1396H	1047H	761H	644H
2	2276H	1612H	1209H	879H	744H
1.667	2726H	1931H	1448H	1053H	891H
1.429	3184H	2255H	1691H	1230H	1041H
1.25	3643H	2580H	1935H	1407H	1191H
1.111	4102H	2905H	2179H	1585H	1341H
1	4553H	3225H	2419H	1759H	1488H
0.5	9107H	6451H	4838H	3518H	2977H
0.333	13799H	9774H	7330H	5331H	4511H
0.25	18215H	12902H	9676H	7037H	5955H
0.2	22769H	16128H	12096H	8797H	7443H
0.1	45538H	32256H	24192H	17594H	14887H
0.05	91076H	64512H	48384H	35188H	29775H
0.033	136751H	96865H	72649H	52835H	44707H

■ 250GBのハードディスクに記録した場合（領域を100%使用した場合）

記録レート (フィールド/秒)	録画時間				
	BASIC 15kB	NORMAL 22kB	ENHANCED 30kB	FINE 42kB	SUPER FINE 50kB
60	63H	44H	33H	24H	20H
30	126H	89H	67H	48H	41H
20	189H	134H	100H	73H	61H
15	252H	178H	134H	97H	82H
10	378H	268H	201H	146H	123H
7.5	505H	357H	268H	195H	165H
6	631H	447H	335H	243H	206H
5	757H	536H	402H	292H	247H
4.286	882H	625H	469H	341H	288H
3.75	1010H	715H	536H	390H	330H
3.333	1137H	805H	604H	439H	371H
3	1262H	894H	670H	487H	412H
2.727	1387H	982H	737H	536H	453H
2.308	1639H	1161H	871H	633H	536H
2	1893H	1341H	1006H	731H	619H
1.667	2268H	1606H	1204H	876H	741H
1.429	2648H	1876H	1407H	1023H	865H
1.25	3030H	2146H	1609H	1170H	990H
1.111	3412H	2417H	1812H	1318H	1115H
1	3787H	2683H	2012H	1463H	1238H
0.5	7575H	5366H	4024H	2927H	2476H
0.333	11478H	8130H	6097H	4434H	3752H
0.25	15151H	10732H	8049H	5854H	4953H
0.2	18939H	13415H	10061H	7317H	6191H
0.1	37878H	26830H	20123H	14635H	12383H
0.05	75757H	53661H	40246H	29270H	24766H
0.033	113750H	80573H	60429H	43949H	37187H

□ 音声記録可能領域（音声を記録した場合は、上記の値より記録時間が短くなります。）

■ 160GBのハードディスクに記録した場合（領域を100%使用した場合）

記録レート (フィールド/秒)	録画時間				
	BASIC	NORMAL	ENHANCED	FINE	SUPER FINE
	15kB	22kB	30kB	42kB	50kB
60	40H	28H	21H	15H	13H
30	80H	56H	42H	31H	26H
20	120H	85H	63H	46H	39H
15	160H	113H	85H	62H	52H
10	240H	170H	127H	93H	78H
7.5	321H	227H	170H	124H	105H
6	401H	284H	213H	155H	131H
5	481H	341H	255H	186H	157H
4.286	561H	397H	298H	216H	183H
3.75	642H	455H	341H	248H	210H
3.333	723H	512H	384H	279H	236H
3	803H	568H	426H	310H	262H
2.727	882H	625H	468H	340H	288H
2.308	1042H	738H	554H	402H	340H
2	1204H	853H	639H	465H	393H
1.667	1442H	1021H	766H	557H	471H
1.429	1684H	1193H	895H	650H	550H
1.25	1927H	1365H	1023H	744H	630H
1.111	2170H	1537H	1153H	838H	709H
1	2409H	1706H	1279H	930H	787H
0.5	4818H	3413H	2559H	1861H	1575H
0.333	7300H	5171H	3878H	2820H	2386H
0.25	9636H	6826H	5119H	3723H	3150H
0.2	12046H	8532H	6399H	4654H	3938H
0.1	24092H	17065H	12798H	9308H	7876H
0.05	48184H	34130H	25597H	18616H	15752H
0.033	72348H	51247H	38435H	27952H	23652H

□ 音声記録可能領域（音声を記録した場合は、上記の値より記録時間が短くなります。）

記録レート設定／プリアラーム録画時間一覧表

■ 記録レート設定

記録レート (FPS)	通常記録 (注1)	アラーム記録	プリアラーム記録 (注2)	プログラム記録 (注1)
60	○ (注3)	×	×	×
30	○	○	○	○
20	○	○	○	×
15	○	○	○	○
10	○	○	○	×
7.5	○	○	○	○
6	○	○	○	×
5	○	○	○	×
4.286	○	○	○	×
3.75	○	○	○	○
3.333	○	○	○	×
3	○	○	○	×
2.727	○	○	○	×
2.308	○	○	○	×
2	○	○	○	×
1.875	×	×	×	○
1.667	○	○	○	×
1.429	○	○	○	×
1.25	○	○	○	×
1.111	○	○	○	×
1	○	○	○	○
0.5	○	○	×	○
0.333	○	○	×	○
0.25	○	○	×	○
0.2	○	○	×	○
0.1	○	○	×	○
0.05	○	○	×	○
0.033	○	○	×	○
切	×	×	×	○

(注1) ミラーリング“入”やプリアラーム記録“入”に設定している場合は、設定可能なレートが制限されます。

(注2) ミラーリング“入”に設定している場合は、設定可能なレートが制限されます。

(注3) カメラ1台を接続したときは、記録レートの設定はできませんが表示は30FPSとなります。

● プログラム記録では、各チャンネル (CH) 毎の記録レートを設定します。各CHで設定可能なレートは、自動計算されます。

■ プリアラーム録画時間

プリアラーム録画時の録画時間一覧表です。プリアラーム録画をするときにご覧ください。

記録レート (フィールド/秒)	記録時間 (メニュー画面上での時間表示 sec : 秒 m : 分)											
	3s (3s)	5s (5s)	10s (10s)	20s (20s)	40s (40s)	60s (1m)	120s (2m)	180s (3m)	240s (4m)	300s (5m)	600s (10m)	900s (15m)
30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.5			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5				○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.286				○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.75				○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.333				○	○	○	○	○	○	○	○	○
3				○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.727				○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.308					○	○	○	○	○	○	○	○
2					○	○	○	○	○	○	○	○
1.667						○	○	○	○	○	○	○
1.429						○	○	○	○	○	○	○
1.25						○	○	○	○	○	○	○
1.111						○	○	○	○	○	○	○
1						○	○	○	○	○	○	○

□ 初期設定値、記録レート：15FPS、記録時間：1分とします。

メニューでのアラーム持続時間の設定では、設定された記録レートで可能な持続時間しか設定できません。

また、記録レートを設定する場合には、設定された持続時間で可能な範囲でしか設定できません。たとえば、アラーム持続時間を3秒に設定した場合、記録レートは、30FPSしか選択できません。

速い記録レートを設定する場合は、一旦アラーム持続時間の設定を変更しないと設定できません。

プッシュロック端子仕様

入出力端子	信号レベル	入出力回路
<アラーム入力> [無電圧メーク接点]	<p>オープン 接地入力 0V 100ms 以上</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ $\oplus 5V$ $100k\Omega$ $10k\Omega$ IC 74HC597</p>
<モーションセンサー出力> [オープンコレクタ/ 1kΩ、Lowレベルアクティブ (最大10mA (1/10W))]	<p>オープン 0V モーション センサー検知 アラーム 記録停止 100ms 以上</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ IC BU2090</p>
<コントロール端子>	(P12参照)	<p>端子 ○ $4.7k\Omega$ $\oplus 5V$ $1k\Omega$ ○ マイコン</p>
リモート入力 (R1、R2) [2線式電圧制御方式]		
時計合わせ入力 [無電圧メーク接点]	<p>オープン 接地入力 0V 100ms 以上</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ $\oplus 5V$ $100k\Omega$ $10k\Omega$ IC 74HC597</p>
時計合わせ出力 [オープンコレクタ/1kΩ Lowレベルアクティブ]	<p>オープン 0V 約 1s</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ IC BU2090</p>
アラーム総合出力 [オープンコレクタ/ Lowレベルアクティブ (最大500mA)]	<p>オープン 0V アラーム 記録開始 アラーム 記録終了 100ms 以上</p>	<p>端子 ○ $2SD1801$ $2SA1576$ $4.7k\Omega$ IC BU2090</p>
アラームリセット [無電圧メーク接点]	<p>オープン 接地入力 0V 100ms 以上</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ $\oplus 5V$ $100k\Omega$ $10k\Omega$ IC 74HC597</p>
警告出力 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]	<p>5V 0V 警告条件成立 (HDDエラー、FANエラー検出)</p>	
残量 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]	<p>5V 0V 警告条件成立 (通常記録領域残量なし)</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ $\oplus 5V$ $4.7k\Omega$ IC BU2090</p>
アラーム残量 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]	<p>5V 0V 警告条件成立 (アラーム記録領域残量なし)</p>	
タイマー録画出力 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]	<p>5V 0V タイマー録画中</p>	
外部タイマー入力 [無電圧メーク接点]	<p>オープン 接地入力 0V 100ms 以上</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ $\oplus 5V$ $100k\Omega$ $10k\Omega$ IC 74HC597</p>
出力選択 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]	<p>5V 0V VIDEO LOSSまたは録画停止</p>	<p>端子 ○ $1k\Omega$ $\oplus 5V$ $4.7k\Omega$ IC BU2090</p>

カメラアドレス一覧表

RS-485設定で設定するレコーダーアドレスに基づいて、カメラコントロール設定のカメラアドレスが固定されます。例えば、レコーダーアドレスの“004”の場合は、カメラ(CH)1のアドレスは049になります。

CH	レコーダーアドレス								
	001	002	003	004	005	006	007	008	000, 009~127
1	001	017	033	049	065	081	097	113	----
2	002	018	034	050	066	082	098	114	----
3	003	019	035	051	067	083	099	115	----
4	004	020	036	052	068	084	100	116	----
5	005	021	037	053	069	085	101	117	----
6	006	022	038	054	070	086	102	118	----
7	007	023	039	055	071	087	103	119	----
8	008	024	040	056	072	088	104	120	----
9	009	025	041	057	073	089	105	121	----

└(B)┐

*システムコントローラー (VSP-9000) の場合は、レコーダーアドレスの000の設定は可能ですが指定できないため、操作することはできません。

EDR-F620はCH1~CH6までのチャンネル範囲でカメラアドレスが固定されます。



レコーダーに接続したカメラをシステムコントローラーVSP-9000のSSP (SANYO's security serial protocol) で操作する場合は、“(A) カメラを接続するレコーダーアドレス”と“(B) レコーダーのチャンネル”と“(C) カメラのSSPアドレス”を合わせてください。カメラのアドレスとレコーダーのチャンネルが異なる場合は操作できません。

保証と修理サービスについて

- 保証書について

保証書は販売店からお渡しします。

必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。

保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買上げ日から1年

- 保証期間中に修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご連絡ください。

保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

- 補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

- 〈ご連絡していただきたい内容〉

- ・ご住所・ご氏名・電話番号

- ・製品名・型名

- ・ご購入日(保証書をご覧ください)

- ・故障内容

- ・異常の状況(できるだけ詳しく)

- 保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の機器の点検をぜひ！		熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。		
	<p>このような症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れても映像が出ない。 ●コードを動かすと通電しないことがある。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 	<p style="text-align: center;">➔</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="997 1276 1125 1400"> <p style="text-align: center;">ご使用中</p> </td> <td data-bbox="1133 1276 1428 1400"> <p>故障や事故防止のため、コンセントからACアダプタをはずして必ず販売店にご相談下さい。</p> </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">ご使用中</p>	<p>故障や事故防止のため、コンセントからACアダプタをはずして必ず販売店にご相談下さい。</p>
<p style="text-align: center;">ご使用中</p>	<p>故障や事故防止のため、コンセントからACアダプタをはずして必ず販売店にご相談下さい。</p>				

株式会社 エルモ社



製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

本 社	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)811-5131	〒467-8567
本社第1営業部	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)824-1571	〒467-8567
本社第2営業部	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)811-5261	〒467-8567
東京支店	東京都港区三田3丁目12番16号 山光ビル4階	☎(03)3453-6471	〒108-0073
大阪支店	大阪府中央区東高麗橋2番4号	☎(06)6942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ祇園2階	☎(092)281-4131	〒812-0039
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル2階	☎(022)266-3255	〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号 ドルチェ2階	☎(082)248-4800	〒730-0041

URL:<http://www.elmo.co.jp>

この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。



品質保証書

お名前

殿

品名 EDR-F920

型名 EDR-F620

機体番号

ご住所

ご購入日

年

月

日

本保証書は弊社の品質管理のもとに製造され
諸検査に合格して出荷されたものであること
を証明するものであります。

保証期間 : 1ヶ年

株式会社 エルモ社

名古屋市瑞穂区明前町 6-14 ☎ 052-811-5131

販売店名及び住所

※保証内容につきましては裏面をごらんください

【保証規定】

- 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理を致しますので、お買い上げ店か取扱説明書に記載されている当社サービス機関にお申し出ください。尚、お買い上げ店または当社サービス機関にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。また、お買い上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって一部ご負担いただく場合があります。
- 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
 - 使用上の誤まり（取扱説明書以外の誤操作等）により生じた故障
 - 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
 - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、異状電圧およびその他の天災地変等による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下保管上の不備等による故障および損傷
 - 本保証書の添付のない場合
 - 販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正された場合
- 本製品の故障に起因する付随的損害については補償致しかねます。

※ ご注意

- 本保証書は、以上の保証規定により無料修理を

お約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

- 本保証書の表示について、ご不明な点は取扱説明書に記載されている当社サービス機関にお問い合わせください。

【保証書取扱い上のご注意】

- 本保証書をお受け取りの際は、販売店名及び購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入もれがあった場合は、ただちに買い上げ店へお申し出ください。
- 本保証書は紛失されましても再発行致しませんので、大切に保存してください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

【アフターサービスについて】

- 修理完了品には、当社より修理明細書（修理伝票）が発行されますので、修理品をお受け取りの際ご確認ください。
- 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、取扱説明書に詳しく記載されておりますのでご覧ください。又は最寄の弊社営業所へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、取扱説明書に記載されているお近くの当社サービス機関をご利用ください。